



TITLE:

表紙ほか

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙ほか. 日本外科宝函 1959, 28(1)

ISSUE DATE:

1959-01-01

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/206756>

RIGHT:

ARCHIV
Für
Japanische Chirurgie

XXVIII. BAND, 1959.

日本外科宝函

第28卷

昭和34年

CHIRURGISCHE UNIVERSITÄTSKLINIK
KYOTO JAPAN

(Arch. Jap. Chir.)

京都大学医学部外科整形外科学教室内
日本外科宝函編輯室

(日.外.宝)

at.

第 28 卷 総 目 次

原 著

猫に於ける脳の種々の部位を（特に微量ニコチン注入による）刺戟した際に起る

昏睡の神経生理学的研究	松 永 守 雄 (1)
下部脳幹と意識障害	守 安 久 (25)
頭部外傷による昏睡の実験的研究	松 村 浩 (56)

ヨード油脳室造影により惹起された ACUTE NECROTIZING

ENCEPHALOMYELOPATHY	小 島 稔 豊 (82)
経口的ロイシン大量投与マウスに於ける内分泌臓器並びに骨の組織学的検索	今 井 昭 和 (113)
冷蔵保存下垂体前葉の性腺刺激ホルモン効果	吉 川 恵 庸 (137)
絨毛性 Gonadotropin による雄性 Pubertas praecox の実験的研究	吉 川 昭 治 (158)
各種脂肪の栄養学的効果についての実験的吟味	戸 部 隆 吉 (184)
放射性ヨードカゼイン使用に依る胃腸手術後の胃腸運動と蛋白吸収との関係に	

就いての実験的研究	内 藤 芳 徳 (205)
ペニシリンと各種免疫元との併用効果に関する実験的研究	江 左 皓 一 (227)
中脳中心灰白質と大脳皮質との電気生理学的結合について	中 村 昂 (325)
吉田肉腫に於ける神経病理学的研究	箱 田 允 昭 (345)
直視下心内手術に於ける任意心搏停止の応用に関する実験的研究	川 島 貞 昭 (371)
頭部外傷後の初期ショック	林 敏 彦 (394)
脳内食喰細胞、特にミクログリアのカルミン食喰の態度について	井 戸 信 一 (416)
脳内食喰細胞、特にミクログリアの脂肪食喰の態度について	井 戸 信 一 (426)
松果体と下垂体前葉との内分泌の関係	横 田 友 二 (432)
実験的心筋梗塞に因る血清の生化学的変化、特に血清トランスアミナーゼの変動	

とその診断的意義	八 牧 力 雄 他 (455)
合成樹脂注入法による胃腸吻合部の脈管の研究、特に漿膜筋層の 1 層縫合	

(Karlinger 法) による胃腸吻合法について	池 上 潔 (467)
外科的侵襲によるプラスミン及び抑制因子の変動についての臨床的研究	高 木 寛 (487)
悪性腫瘍患者の血液並びに腫瘍組織中の亜鉛量に関する研究	緒 林 健 治 (499)
吉田肉腫生・煮両浸出液の各種免疫現象に及ぼす作用に関する実験的研究	堀 照 太 良 (516)
バター黄 Butter yellow 投与による白鼠肝癌のイムベヂン現象に関する実験的研究	猪 木 弘 三 (560)
乳腺腫瘍の発生と脳下垂体前葉の関係	羽根田 豊 (721)
冠不全の作成に関する実験的研究	中 村 和 夫 (736)
総胆管空腸吻合後 胆嚢の態度に関する実験的研究	吉 田 俊 明 (759)
肝腸吻合の実験的研究	柴 垣 進 (777)
腹膜腔の異物小粒子吸収に関する実験的研究	井 谷 幹 一 (802)
膀胱上皮の再生に関する研究	原 田 直 彦 他 (825)
経静脈性脂質輸入	日 笠 頼 則 他 (835)
中枢神経系変性軸索の Nauta 氏選択的鍍銀法について	北 宏 伸 (855)
身体並びに性器の發育に対する頭部外傷の影響についての実験的研究	藤 田 竜五郎 (877)
顔面神経又は舌下神経と迷走神経との吻合に関する実験的研究	吉 松 修 (904)
血清脂質成分と血清脂蛋白の相関性に関する実験的研究	大 西 弘 (920)
実験的糖尿病発症に及ぼす脂質投与の影響	里 村 紀 作 (937)
アルミナクリームによる橋性癲癇の実験的研究	森 和 夫 (1047)

冠不全の外科的療法に関する実験的研究	武内敦郎 (1067)
実験的糖尿病家兎に於ける血管神経末梢の組織学的研究	飯原啓吾 (1091)
末梢神経系の発達過程に関する組織学的研究	飯原啓吾 (1099)
肝動脈血流遮断の実験的研究	占部英彦 (1112)
肝硬変症の実験的研究	細野幸吾 (1127)
肝硬変症の実験的研究 第1篇, 第2篇	土屋涼一 (1147)
脂酸ベーククロマトグラフィーを応用した脂質代謝の分析化学的研究	丹信敏 (1178)
多発性筋炎ならびに多発性骨髄炎の成因に関する実験的研究	前田敏郎 (1197)
レ線照射マウス胎仔の奇形脳に於ける組織異常	山添善朗 (1221)
奇形胎児及び自然流産児の脳各部位に於けるグリア系細胞の发育異常	山添善朗 (1237)
大脳半球囊腫性グリオームの手術法に関する組織学的吟味	金田一男 (1264)
法医解剖頭部外傷例の外科的観察	滝幸久 (1278)
髄液移行性サルファ剤の長期静脈内投与による脳室・髄膜系の病理組織学的変化	内田盛夫 (1292)
腹水肝癌の総頸動脈内移植による頭蓋内転移について	蔡東隆 (1313)
胃壁と十二指腸壁の交通性に関する研究	清水春彦 (1334)
経静脈性並びに経腸性脂質乳剤輸入の栄養学的効果に関する臨床的研究	花房節哉 (1356)
多発性筋炎および多発性骨髄炎の発生原因に関する酵素化学的研究	土倉一郎 (1384)
末梢神経二次変性の電子顕微鏡的研究	近江達 (1396)
中脳中心灰白質の電気刺激及び化学刺激によつて痙攣を伴わない昏睡を来す可能性	小田忠良 (1511)
ウレタン処置畸形マウス脳の組織学的変化	山崎徳雄 (1520)
多趾症マウスの脊髓前角細胞の数的変化に就いて	山崎徳雄 (1551)
腹腔大血管の神経支配に関する組織学的研究	喜多幅知郎 (1560)
悪性腫瘍の臓器親和性に関する神経病理学的研究	井上俊明 (1580)
体外培養マウス乳癌に対する性ホルモンの作用	大谷博 (1595)
脾臓全切除後の後期脂肪肝に関する研究	山本善和 (1613)
α -ケトグルタル酸を中心としてみた生体内脂質代謝過程の実験的研究	深田斉迪 (1631)
栄養学的効果に及ぼす脂質の質的組成の影響に関する実験的並びに臨床的研究	島田泰男 (1645)
収縮性心膜炎に於ける実験的並びに臨床的研究	毛受武重 (1666)
視床及びその周辺より起る arrest reaction の実験的研究	小亀清孝 (1696)
頭部外傷後の視床下部下垂体神経分泌の消長に就いて	南部正敏 (1719)
脊髓損傷による麻痺に対する治療法としての末梢神経縫合の実験的研究	琢磨照夫 (1734)
末梢動脈の内膜刺激によつて起る血管反射に関する実験的研究	清水資明 (1743)
感染性肝腎障害症の成因に関する実験的研究	片岡善一 (1751)
胸郭前食道・胃または食道・空腸吻合創の治療機転の研究	間嶋正徳 (1766)
乳腺腫瘍患者の尿中エストロン, エストラチオール分劃の消長について	栗田昌治 (1784)
脂酸ベーククロマトグラフィーを以てした人乳並に牛乳の含有脂酸の分析結果について	丹信敏他 (1807)
血中オプソニン値の変動からみた肺臓の脂肪代謝機能に関する実験的研究	菊池厚 (1811)
Walker 氏腫瘍生・煮而液の各種免疫作用に及ぼす影響に関する実験的研究	藤田隼夫 (1826)
腫瘍組織乳剤のモルモット脳通過時の反応に就いて	高山文三 (1867)
酸素欠乏の家兎胎児脳及び成熟脳に及ぼす影響	小川省吾 (1991)
逆流性食道炎の成因に関する実験的研究	松尾裕 (2002)
脾臓全切除後の早期脂肪肝	押谷貞亮 (2028)
脾臓全切除後の抗利尿物質「ADH」の変動	押谷貞亮 (2042)

抗生剤の腸吻合に対する保護作用	梅 林 司 (2050)
腸管動脈遮断に於ける抗生剤の効果	梅 林 司 (2075)
逆流性食道炎の成因に関する実験的研究	高 槻 春 樹 (2087)
Pinealoma と Teratoma との関係に就いて	高 三 秀 成 (2108)
Argyll-Robertson 瞳孔の実験的作成	島 川 勝 文 (2128)
実験的尿崩症の神経分泌的研究	北 島 伸 (2157)
脳膜性反射に関する実験的研究	野 川 徳 二 (2181)
合成樹脂液を浸した Gelatine Sponge による実験的中脳水道閉塞	井 上 昌 則 (2193)
急性肺水腫の発生と迷走神経切断との関係に関する実験的研究	木 村 正 也 (2204)
胸郭前食道再建術に関する研究	佃 光 雄 (2222)
人工食道による食道再建術に関する実験的研究	松 尾 裕 (2246)
虫様突起の平滑筋細胞とその支配自律神経末梢との関係についての 電子顕微鏡による追究	山 本 輝 雄 (2258)
筋紡錘の神経支配に関する実験的研究	桜 井 達 良 (2279)
骨格筋の神経支配に関する実験的研究	柳 井 悦 嘉 (2296)
下肢筋を支配する末梢神経に於ける自律神経線維に就いて	小 寺 寿 治 他 (2314)
多発性筋炎の成因に関する実験的研究	藤 原 憲 和 (2325)
制癌剤による腹腔内吸収路の組織学的変化に関する実験的研究	松 岡 昇 三 (2351)
上皮小体に於ける神経支配の組織学的研究	杉 浦 慶 男 (2481)
心臓から起る心臓血管反射に関する実験的研究	河 端 修 一 (2498)
実験的収縮性心膜炎に於ける心筋の病理組織学的所見と心電図の変化について	斎 藤 隆 司 (2527)
Polyvinyl Formal Sponge による胸壁欠損補填の実験的研究	木 下 辰 男 (2560)
手術胃病理所見と胃液内蛋白像の関係について	篠 原 秀 幸 (2582)
胃液内蛋白の研究 (第1報)	寛 守 (2603)
胃液内蛋白の研究 (第2報)	寛 守 (2621)
パチニー氏小体に於けるコリンエステラーゼの組織化学的研究	鈴 木 克 義 (2643)
ガス代謝の面からする経静脈性脂質輸入の意義についての実験的研究	野 田 文 男 (2653)
放射性磷 P^{32} を以てする脂質代謝の研究	藤 野 昭 三 (2668)
運動皮質切除後の麻痺に対する麻酔剤及び痙攣毒の増悪作用について	山 本 竜 蔵 (2687)
長期意識障害を伴える脳腫瘍剖検脳に於ける間脳の組織学的変化	大 谷 圭 三 (2697)
実験的脳脈盪に於ける中枢神経系軸索変性の Nauta 鍍銀法による追求	長 崎 寿 志 (2718)
剥出下垂体の自家トルコ鞍附近再移植の内分泌学的研究	芳 鐘 淳 (2733)
延髄錐体切断後における対応運動皮質部の脳波及び組織学的変化	越 智 幸 雄 (2748)
各種造影剤の髄液腔内注入が髄膜並に中枢神経系に及ぼす影響	大 津 義 彦 (2761)
Polyvinyl Formal Sponge による横隔膜欠損補填の実験的研究	木 下 辰 男 他 (2778)
マウス乳腺腫瘍における放射性同位元素 P^{32} によるミクロラジオオートグラフの研究	三 瀬 真 一 (2782)
乳腺腫瘍患者の尿中 Estriol 分刻排泄の消長について	松 井 章 (2803)
血中オプソニン値の消長からみた肝臓の脂質代謝機能についての実験的研究	西 村 耕 作 (2820)
尿中カテコールアミンの蛍光定量法について	杉 谷 章 他 (2834)
腎 移 植	佐々木 敬 二 (2844)
放射性ヨード標識オリーブ油使用による胃腸手術後の胃腸運動と脂肪吸収との 関係に就ての実験的研究	増 田 耕 作 (2897)
家兔横隔膜篩状斑の神経支配に関する研究	牧 文 彦 (2920)
血管知覚に関する生理学的研究	恒 川 謙 吾 (2932)

内臓運動反射の筋電図学的研究	恒川謙吾	(2949)
犬に於ける肝動脈遮断と動脈性副血行路の問題	石黒稔	(2964)
群全剔犬に於けるインシュリン感性と肝糖原量との関係について	八尾英一郎	(2992)
肝糖原量を中心としてみた脂質の栄養学的意義に関する実験的研究	松田晋	(3008)
経静脈性ゴマ油乳剤注入の生体内水分分布に及ぼす影響	玉置光徳	(3028)
脂酸ペーパークロマトグラフィーによる各種組織の分析化学的研究	牧安孝	(3043)
脾臓の知覚神経に関する組織学的研究	藤井浄	(3073)
回盲部リンパ節炎の病理学的研究	牧文彦	(3085)
間脳に Laminaria を挿入せられたる雄家鶏雛の性発育	田中実	(3097)
脳浮腫に関する実験的研究	堺浩一	(3121)
迷走神経切離縫合後の機能的回復に関する実験的研究	田中稔	(3139)
頸椎部骨軟骨症 (OSTEOCHONDROSIS CERVICALIS)	安藤啓三	(3157)
乳腺腫瘍と甲状腺の関係に関する実験的研究	嘉海和男	(3179)
尿中 Pregnanediol 排泄状態よりみた乳腺腫瘍の内分泌学的研究	西部仰二	(3199)
近交系マウスにおける乳腺腫瘍と性ホルモンに関する実験的研究	横山敏	(3215)
乳腺腫瘍中の性ホルモン測定法について	三原蒸治	(3243)
マウス乳腺腫瘍の組織化学的研究	戸谷源由	(3259)
尿中 17-Ketosteroids 分画成績からみた乳腺腫瘍の内分泌学的研究	黒田大典	(3279)
脂質代謝に及ぼす下垂体前葉ホルモンの影響	松本浩生	(3298)
経静脈性脂質輸入の創傷治癒に及ぼす影響	倉田昌彦	(3313)
猫腸間膜パチニー小体の発育に関する電子顕微鏡的研究	本出真三	(3330)
閃光、音響刺激を胃疾患患者（主に潰瘍、癌）に与えた際の胃運動曲線及び 皮膚電気反射の変化に就いて	林章樑	(3348)
正常及び病態に於ける甲状腺の神経組織学的研究	岡本正信	(3411)
胸部下大静脈狭窄その他の方法による腹水犬に対する肝動脈遮断の門脈血酸素 含有量に及ぼす影響について	足立和保	(3430)
正常副腎、アルドステロン症及び褐色細胞腫の副腎神経組織学的研究	青木崇	(3449)
脾臓に於ける神経組織学的並に神経病理学的研究	大島整	(3471)
アウエルバッハ氏神経叢の膀胱及び卵巣への移植並びに移植神経叢の消長に關 する組織学的研究	野村源蔵	(3488)
皮膚電気抵抗と皮温の測定による内臓・皮膚相互作用にかんする臨床的および 実験的研究	中野進	(3503)
内臓運動反射の筋電図学的研究	古迫清三	(3545)
位相差顕微鏡及び鍍銀法による神経線維の比較研究	大川弘	(3564)
良性腫瘍の神経組織学的研究	吉野位	(3590)
乳腺腫瘍発生マウスの肝機能及び其の組織化学的变化に関する実験的研究	林弘	(3613)
乳腺腫瘍患者の尿中 17-hydroxycorticoids 排泄値に関する内分泌学的研究	副島均	(3633)
骨格筋終板及びその核について	井上嘉橋	(3654)
骨格筋における運動神経終末の再生に関する実験的研究	井上嘉橋	(3661)
非経口的脂質輸入時に於けるアスコルビン酸の意義に関する実験的研究	徐積鑑	(3682)
肝性反射に関する実験的研究	沖野純	(3694)
全割切片標本による乳腺腫瘍の病理組織学的研究	佐藤照夫	(3727)
腹腔内癒着防止に関する実験的研究	間狩孝	(3757)
腸閉塞時の吸収に就いてのアイソトープによる研究	宮田登	(3777)

Weil-Malherde and Bone 法による血清中 Catecholamine 定量法及びその

3, 4 の応用について……………杉 谷 章 (3793)

臨 床

脳性小児麻痺の脳病変……………高 橋 哲 良 (248)

全身熱湯治験例……………大 矢 英次郎 (257)

冠不全症に対する Cardio-pneumonopexy の経験……………荻 野 舜 亮 他 (262)

僧帽弁狭窄に対する交連切開前後の心内圧変動……………荻 野 舜 亮 他 (607)

全身熱傷治験例……………大 矢 英次郎 (614)

悪性黒色腫の 7 例……………中 村 昂 他 (638)

放射性同位元素 P³² の臨床的応用経験 第 I 編, 第 II 編……………九間 外喜雄 他 (966)

輸血後のいわゆる血清肝炎について……………鈴 木 昭 二 他 (979)

硬膜内ミエログラフィーの臨床的意義の検討……………吉 峰 泰 夫 他 (1429)

急性虫垂炎に於ける右側鼠蹊部知覚過敏帯に就いて……………沖 野 純 他 (1887)

正常日本人 Elsberg-Dyke 曲線とその臨床的価値……………土 田 精 一 (1890)

乳児期先天股脱の治療成績に就いて……………太 田 吾 朗 (1899)

上腕骨小頭核に見た無菌性骨壊死症のレ線学的追求所見……………小 寺 寿 治 他 (2375)

脳グリオームの手術成績……………安 藤 協 三 他 (2381)

胃液 Ninhydrine 反応(田崎)の本態に関する 2, 3 の知見……………寛 守 (2868)

食道再建術における Heimlich-Gavriliu 術式に関する 2, 3 の検討……………松 尾 裕 他 (3376)

症 例

前脊髄動脈閉塞症候群の 2 例……………小 島 稔 豊 他 (274)

橋本氏病の 1 例……………渡 辺 昭 一 他 (280)

肺化膿症の 1 例……………天 沼 史 他 (285)

開胸術後に大量の消化管出血を見た 1 例……………隠 岐 和 彦 他 (288)

胃線維筋腫の 1 例……………井 谷 幹 一 他 (291)

腸閉塞様症状を呈した迷入腺の 1 例……………荒 井 英 他 (294)

直腸肉腫を疑わせた未分化直腸癌の 1 例……………恒 川 謙 吾 他 (297)

晩期直腸癌に対する骨盤臓器全剔除の 1 例……………西 本 勝 美 他 (301)

鼠径ヘルニア及び子宮附属器腫瘍と誤診せる子宮円靱帯静脈瘤の 1 例……………伊勢田 幸彦 他 (306)

ペニシリン・ショックの 1 症例について……………安 井 満 他 (308)

脊椎棘突起カリエスの 1 例……………太 田 吾 朗 (313)

長期間観察得た血友病性関節症の 2 例……………今 井 靖 博 他 (317)

馬尾神経腫瘍(真珠腫)の 1 治験例……………伊 藤 孝 他 (645)

交感神経再手術によつて好転した Bürger 氏病の 2 症例……………請 田 安 夫 (649)

唾液腺混合腫瘍の 3 例……………恒 川 謙 吾 他 (652)

皮脂腺々腫の 1 例……………池 上 潔 (657)

乳房美容成形後の再手術 2 例……………佐 藤 照 夫 他 (660)

陳旧性心筋梗塞に対する Cardiopericardiopexy の 1 例……………武 内 敦 郎 他 (664)

閉鎖的経心室的弁膜切開術を行なつた純型肺動脈弁狭窄の 1 例……………川 島 貞 昭 他 (670)

解離性大動脈瘤の 1 例……………高 山 晴 夫 他 (676)

肺葉切除による悪性絨毛上皮腫肺転移の治験例……………杉 浦 純 宣 他 (680)

存在稀有なる肝腺腫の 1 治験例……………坂 本 敬 三 他 (684)

腸管囊腫様気腫の 1 例……………金 沢 百 合 子 他 (687)

胎生的腎臓混合腫瘍(所謂 Wilms 腫瘍)の 3 例……………佐 々 木 和 昭 他 (690)

巨大卵巣嚢腫の1例	堀尾資郎他(697)
先天性膀胱外翻症の1例	吉川恵庸(700)
女性水腫の3例	杉本雄三他(702)
病的骨折を初徴とした脊椎癆性関節症例	谷田部貞男(706)
Payr氏病, 移動性長S字状結腸症を伴った腸間膜動脈性十二指腸狭窄症の1例	世良敏行他(987)
耳下腺粘表皮癌の1例	恒川謙吾他(994)
僧帽弁交連切開後過高熱を来した1例	佐々木和昭他(997)
胃に穿通した脾臓嚢腫の1例	野々山明他(1002)
胃潰瘍大量吐血9例の考察	杉本雄三他(1006)
アボット・ローソン二重管挿入に起因すると思われる胃切除後空腸重積症の2例	端野博康他(1011)
十二指腸閉塞をきたす1つの要因	塚崎義人他(1016)
広範な丹毒の1例	杉本雄三他(1020)
回盲部肉芽腫の1例	池上潔(1023)
避妊術後に於ける卵巣妊娠の1例	西田茂樹(1026)
真性半陰陽	武田惇他(1029)
肛門括約筋を利用した直腸切断術の1成功例	高山晴夫他(1035)
頻発性両側性巨大腎結石の1治験例	西村和夫他(1039)
僧帽弁狭窄に於ける肺及び左心耳のBiopsy所見	八牧力雄他(1435)
頭部外傷後の頭蓋内石灰化嚢	池上潔(1443)
交連切開術後の心電図変化	緒方武他(1447)
慶大整形外科27年間における脊椎腫瘍	武井廉平(1456)
重篤なるペニシリンアナフィラキシー性ショックの1治験例	菊池厚(1461)
癌性化を思わせた Kissing Ulcer の1例について	海本世浩他(1465)
胃蜂窩織炎の2例	西村和夫他(1470)
細網肉腫症の部分現象として発生した胃細網肉腫の1例	内田幸夫(1475)
十二指腸潰瘍を初発症状とせる多発性骨髄腫の1例	西村和夫他(1480)
下行脚および下方膝部外側に発生した十二指腸憩室の1例	江左皓一(1487)
肺壊疽の穿破による腐敗性膿胸の1治験例	伊勢田幸彦他(1492)
稀有なる胆嚢捻転の1治験例	関谷慎(1495)
生後9ヵ月の乳児の腸重積症に穿孔性虫垂炎を合併した1例	吉野位他(1497)
S状結腸捻転症のレ線像について	御荘基信他(1501)
インフンディブローマ	石井昌三他(1903)
Primary Aldosteronism の手術治験例	木村忠司他(1911)
膀胱全剝出後, 膀胱の再生を認められた1例	原田直彦他(1917)
広汎な硬膜, 頭蓋骨及び頭皮の全欠損に対する筋膜及び皮膚の遊離移植	土倉一郎(1923)
脊髄液瘻の処置	上石英明(1925)
脊髄神経鞘腫の1例	杉浦純寛他(1929)
橋本氏病の1例	伊達政照他(1932)
中斜角筋々膜から発生した線維肉腫の1例	土倉一郎他(1936)
胃ポリプの4手術例	辻秀哉他(1939)
胃筋腫の1例	緒方武他(1947)
胃細網肉腫の1例	池上潔他(1951)
新生児胃穿孔の1手術例	宅間皓(1955)
胃線維腫の1例	武田温雄他(1959)

十二指腸結核症の1治験例	吉野位他 (1962)
大網の炎症性腫瘤について	御莊基信他 (1966)
腸間膜腫瘤の2例	前田敏郎他 (1973)
極めて複雑な経過を辿った興味のある肝硬変症の1剖検例	瀬藤晃一他 (1976)
肝臓膿瘍と誤認した興味ある原発性肝臓癌の1例	吉野位他 (1980)
睪丸腫瘍の3例	井谷幹一他 (1983)
ペニシリン注射後に発生した接種結核の1例	土倉一郎 (1987)
頭部に於ける巨大な異所形成骨腫の1例	満田久和他 (2391)
5才女兒に見られた気管支柱囊腫の切除治験例	鈴木昭二他 (2394)
19才女子に見られたいわゆる Alveolarzellenkarzinom の1例	入江義明他 (2398)
肺葉切除後、術側の乳房の肥大を来した2例	世良敏行他 (2403)
晩期乳癌に対するテストステロン療法の1症例	野田文男 (2410)
柿胃石の1例	喜多幅知郎他 (2414)
腸管膜懐包裏の1例	岸本秀雄他 (2417)
後腹膜重瘍の4例	恒川謙吾他 (2421)
穿孔を来した迷入副瘻に由来する原発性十二指腸乳頭下部癌の1剖検例	杉本雄三他 (2429)
悪性種瘍と合併した虫垂卵管瘻肉芽腫の1例	沖野純他 (2434)
直腸内皮細胞腫の1例	松尾裕他 (2438)
虫垂炎と誤られ易い卵巣出血について	足立道五郎他 (2442)
長期大出血の続いた所謂特発性腎出血の検討	近江達他 (2446)
虫垂手術後に於ける尿路結石の自然排出	栗田昌治他 (2452)
腹壁腫瘤と誤られた卵管破裂による後腹膜血腫	近江達 (2455)
毛巣疾患 pilonidal disease について	河村雄一他 (2458)
右大腿より発見されたマンソン条虫症の1例	阿部弘毅 (2462)
連続三椎に関節突起間分離をみた症例	小林祥悟 (2465)
非典型的 Hand-Schüller-Christian 病の1例	野々山明他 (2872)
先天性胆道不通症の1例	小川益雄他 (2876)
穿孔を来せる空腸細網肉腫の1例	小田忠良 (2880)
嚢下義歯による直腸膀胱の1例	清家澄保他 (2883)
先天性水腎症の1例	佐々木敬二他 (2886)
外科疾患の外観を呈したフィラリヤ症の2例	村山保雄 (2889)
Glomus Tumor と之に似た指尖 Granuloma	田原浩明他 (2893)
中脳水道の非腫瘍性閉塞症の2例	高三秀成 (3386)
腹痛を前兆とする癰瘤	野川徳二 (3391)
所謂モンドール氏病の4例	三瀬真一他 (3395)
外傷性腸管破裂と術後性低蛋白症	野川徳二 (3399)
腸間膜動脈栓塞による盲腸壊死の1例について	佃光雄他 (3401)
唾石症の1例	芳鐘淳 (3808)
葉状囊肉腫 (Cystosarcoma phyllodes) の1例	木下総一郎他 (3810)
巨大な孤立性大網リンパ節結核の1例	武内謙三他 (3816)
盲腸捻転の1例	岸本秀雄他 (3820)
両側尿管回腸膀胱吻合術の経験	近江達他 (3826)

第 351 回例会.....	(714)
第 352 回例会.....	(716)
第 353 回例会.....	(1043)
第 354 回例会.....	(1505)
第 355 回例会.....	(2469)
第 356 回例会.....	(2475)
第 357 回例会.....	(3406)
第 358 回例会.....	(3408)
岐阜外科集談会	
第 1 回例会.....	(1044)
第 2 回例会.....	(1506)

第 28 卷 索引 人名及び事物

ア

アーガイル・ロバートソン瞳孔	2128
アイソトープ	3777
アウエルバッハ氏神経叢	3488
亜鉛量, 腫瘍組織中	499
青木 崇	3449
青柳 安誠	2473
悪性黒色腫	638
悪性絨毛上皮腫	680
悪性腫瘍	499, 1580, 2434
アクトネグロタジングエンツェファロミエ ロパティ	82
麻田 栄	718, 2470, 2471
足立 和保	3430
足立道五郎	2442
阿部 弘毅	711, 2462
アボット・ローソン二重管	1011
天沼 史	285
荒井 英	294
荒木 千里	2472, 2473
α-ケトグルタル酸	1631
アルベオラールツェレンカルチノーム	2398
アルミナクリーム	1047
アレスト・リアクション	1696
安藤 協三	2381
安藤 啓三	2473, 2474, 3157

イ

胃, 穿通	1002
胃, 病理	2582
胃運動由線	3348
胃液蛋白	2469
胃液内蛋白	2582, 2603, 2621
胃液ニンヒドリン反応 (田崎)	2868
胃潰瘍	1006
胃癌胃液ペプタイド	2469
胃筋腫	715, 1947
胃憩室	712

胃疾患々者	3348
胃出血	1507
胃細網肉腫	1475, 1951
胃石, 柿	2414
胃切除	1011, 1046
胃線維筋腫	291
胃線維腫	1959
胃穿孔, 新生児	1955
胃噴門部癌	718
胃蜂窩織炎	1470
胃腸運動	205, 2897
胃腸手術	205, 2897
胃腸吻合部	467
胃腸吻合法	467
胃 壁	1334
胃ポリープ	712, 1939, 2479
異物小粒子吸収, 腹膜腔	802
飯原 啓吾	1091, 1099
石井 昌三	1903, 2473, 2476
意識障害	25, 2470, 2697
石黒 渥	1505
石黒 稔	2469, 2964
石上 浩一	2472
池上 潔	467, 651, 1023, 1443, 1951
インシュリン感性	2470, 2992
石山 勝蔵	1507
伊勢田幸彦	306, 1492
位相差顕微鏡	3564
板谷 博之	2471
伊藤 孝	645
伊藤 信行	1043
移動性血栓性静脈炎	715
移動性長S字状結腸症	987
意図振顫	716
井谷 幹一	291, 802, 1983
井戸 信一	416, 426
井波 健一	718, 1508
井上 嘉橘	3654, 3661
井上 俊明	1580
井上 昌則	2193
井上 律子	2478

猪木 弘三	560, 712
今井 昭和	113
今井 靖博	317
イムペヂン現象	560
入江 義明	2398
陰 莖	715
インフンディブローマ	1903

ウ

ウイルス腫瘍	690
上田 茂夫	1044
Walker 氏腫瘍	1826
請田 安夫	649
内田 幸夫	1475
内田 盛夫	1292
梅林 司	2050, 2075
海本 世浩	1465
占部 英彦	1112
ウレタン処置, 脳奇型	1520
運動皮質切除	2687

エ

栄養学, 脂質	1356, 1645, 3008
江左 皓一	227, 718, 1487
エストリオール	2803
エルスベルク・ダイク曲線	1890
嚙下義歯	2883
延髄錐体切断	2748
炎症性腫瘍	1966
エンツェファロミエロパティ	82

オ

横隔膜欠損	2778
横隔篩状斑	2920
大川 弘	3564
横行結腸憩室	717
大島 整	3471
太田 吾朗	313, 1899
大谷 圭三	2470, 2697
大谷 博	1595

大西 弘	920
近江 達	1396, 2446, 2455, 3826
大矢英次郎	257, 614
緒方 武	715, 1447, 1947, 2476
岡本 忠雄	2478
岡本 正信	3411
小川 省吾	1991
小川 益雄	2876
隠岐 和彦	288
沖野 純	1887, 2434, 3694
荻野 舜亮	261, 607
押谷 貞亮	2028, 2042
小田 忠良	1511, 2880
越智 幸雄	2748
大津 義彦	2748
大塚 哲也	716, 1041, 2477
緒林 健治	499
オビスコ静注	711

カ

開胸術	288
解離性大動脈瘤	676
廻盲部肉芽腫	1023
廻盲部リンパ節炎	3085
廻盲部レ線検査	1045
笠 守	2469, 2603, 2621, 2868
笠井 実人	2473, 2474
下垂体	2469, 2733
下垂体前葉	432
下垂体前葉, 冷蔵保存	137
下垂体前葉ホルモン	3297
ガス代謝	2653
片岡 善一	1751
滑液膜炎	2478
褐色細胞腫	3449
勝岡 正明	2469
カテコラミン	2472, 3793
過高熱	997
加藤 忠雄	1507
加藤 宏	2474
カナマイシン	714, 2475
金沢百合子	687
金田 一男	1264

嘉海 和男	3179
下部脳幹	25
上石 英明	1925
川島 貞昭	371, 670
川端 修一	2498
河村 義博	1508, 2479
河村 雄一	2458
カリエス	313
カーリング法	467
カルデオブノイモベキシー	261
カルデオベリカルデオベキシー	664
カルミン喰	416
肝壊死	2469
肝癌, 白鼠	560
肝機能, コウス乳腺腫瘍	3613
肝硬変症	1127, 1147, 1976
肝腎障害症, 感染性	1751
肝性反射	3694
関節突起間分離	2465
肝線腫	684
肝 臓	2820
肝臓膿瘍	1980
肝臓癌	1980
肝腸吻合	777
肝糖原量	2470, 2992, 3008
肝動脈	2469
肝動脈, 血流遮断	1112, 2469, 3430
肝動脈遮断	2472, 2964
冠動脈狭窄	2470
間 脳	2470, 2697, 3097
冠不全	736, 1067, 2471
冠不全症	261
顔面神経	904

キ

気管支線維腫	717
気管支性囊腫	2394
偽関節	1505
菊地 厚	1461, 1811
奇形胎児	1237
奇形脳	1221, 1520
岸 智	718
岸本 秀雄	2417, 3820

北島 伸	2157
北 宏伸	855
喜多福知郎	1560, 2414
キッシング・ウルサー	1465
木下 辰男	2560, 2778
木下総一郎	3810
木村 忠司	711, 712, 713, 714, 715, 716, 1506, 1911, 2472, 2473, 2475, 2476
木村 正也	2204
逆流性食道炎	2002, 2087
急性腹膜炎	718
橋性癰瘤	1047
胸椎カリエス	2473
胸部外傷	1506
胸部下大静脈狭窄	3430
胸壁欠損	2560
胸廓前食道再建術	2222
強直性脊椎関節炎	716
桐田 良人	2473, 3474
筋, 末梢神経	2314
筋炎, 多発性	1197, 1384
筋神経終末	2473
筋, 電図	2949, 3545
筋ヘルニア	1043
筋紡錘	2279

ク

空腸細網肉腫	2880
空腸重積症	1011
国枝 篤郎	1507
九間外喜雄	717, 966
久山 健	717
倉田 昌彦	3313
黒田 大典	3279
グラスローム, 指尖	2893
グリア系細胞	1237
グリオーム, 大脳半球囊腫性	1264
グリオーム, 脳	2381
栗田 昌治	1784, 2452
グロームス・ツモール	2893

ケ

慶応大学, 脊椎腫瘍	1456
蛍光定量法	2834
経静脈性脂質輸入	835, 3313
頸椎部骨軟骨症	2473
頸椎部骨軟骨症	3157
形成異常, 中枢神経	2472
結核性腹膜炎	1505
血管撮影	2476
血管神経	1091
結核性乳腺炎	1506
血管知覚	2932
血管反射	1743
血清	455
血清肝炎	979
血清脂質成分	920
血清脂蛋白	920
血栓性静脈炎, 移動性	715
血栓性静脈炎	717
血中オプソニン	1811, 2820
血友症性関節症	317
結腸切除, 右半	1507
ゲラチン・スポンヂ	2193
痙攣毒	2687

コ

交感神経, 手術	649
睾丸腫瘍	1983
睾丸破裂	711
抗生剤	2050, 2075
合成樹脂	467, 2193
甲状腺	3179, 3411
酵素化学, 筋炎・骨髄炎	1384
硬膜下出血	1041, 2476
硬膜, 頭蓋骨, 骨皮全欠損	1923
肛門括約筋	1035
後膀胱腫瘍	1506
後腹膜腫瘍	2421
後腹膜血腫	2455
抗利尿物質 (AOS)	2042
交連切開	607, 997, 1447
股関節結核	2745
股動脈瘤, 外傷性	2476
小亀 清孝	1696

黒色腫, 悪性	638
古迫 清三	3545
小島 稔豊	82, 274
骨萎縮	713
骨格筋	2296, 3654
骨関節結核	714, 2475
骨腫, 移所形成	2391
骨肉腫	1045
骨囊腫	1505
骨の組織学的検索	113
骨盤部外傷	1505
骨盤臓器全剔除	301
骨腫瘍	1505
骨髄炎	1197, 1384
骨折治癒	713, 716, 2477
骨折, 遷延治癒	1505
コーチゾン	2476
小寺 寿治	2314, 2375
後藤 明彦	2478
小林 善美	1046
小林 祥悟	2465
ゴマ油乳剤, 経静脈性注入	3028
昏睡	56, 1511
昏睡の神経生理学	1
近藤 鋭矢	2473
近藤 茂	713, 714, 1505, 2475
近藤 祐之	712, 717, 1043
権藤 勇	717
コリンエステラーゼ	2643

サ

斎藤 晃	1044, 1507
斎藤 隆司	2527
細網肉腫症	715, 1475, 2880
堺 浩一	3121
酒井 淳	1507, 2478
坂本 敬三	684
坂口 昭五	1046
桜井 達良	2279
佐々木和昭	690, 997
佐々木敬二	2844, 2886
佐藤 照夫	660, 3727
里村 紀作	937

サルファ剤, 髄液移動性	1292
サンドマイヤー犬	2469
酸素欠乏, 脳	1991

シ

脂 酸	1807, 2469, 2472
脂質投与	937
脂質乳剤輸入	1356
脂質, 栄養学	1356, 1645, 3008
脂質投与	2470
脂質輸入	2653, 3682
脂酸ペーパークロマトグラフィー	1178, 1807, 3043
脂肪代謝, 肺臓	1811
脂肪吸収	2897
脂肪肝	1613, 2028
脂質代謝	1631, 2668, 2820, 3298
脂 肪	184
脂肪貪食	426
耳下線粘表皮癌	711, 994
子宮附属器腫瘍	301
子宮円靱帯静脈瘤	306
島田 脩	1045
島川 勝文	2128
島田 泰男	1645
清水 資明	1743
清水 春彦	1334
篠田 孝	1045
篠原 秀幸	2582
視 床	1696
柴垣 進	777
縦隔洞奇形腫	717
縦隔腫瘍	1044
十二指腸潰瘍	1480
十二指腸結核症	1962
十二指腸狭窄症, 腸間膜動脈性	993
十二指腸憩室	718, 1487
十二指腸乳頭下部癌	2429
十二指腸閉塞	1016
十二指腸壁	1334
種子骨障害	2477
絨毛結節性滑液膜炎	2478
絨毛性ゴナドトロピン	158
上皮小体, 神経支配	2481

静脈内投与, サルファ剤	1292
上腕骨小頭核	2375
上腕神経叢麻痺, 外傷性	714
出血, 大量	718
腫瘍組織中の亜鉛量	499
腫瘍組織乳剤	1867
消化管出血	288
松果体	432
食道・胃吻合創	1766
食道・空腸吻合創	1766
食道炎・逆流性	200, 2087
食道癌	1044
食道憩室	718
食道再建術	2222, 2246, 3376
女性水腫	702
徐 積鑑	3682
ショック, 初期	394
神経支配, 大血管	1560
神経支配, 横隔膜篩状斑	2920
神経叢移植	3488
神経組織	3449
神経組織, 脾臓	3471
神経組織, 腫瘍	3590
神経組織, 甲状腺	3411
神経線維	3564
神経終末, 筋	2473
神経生理学	1
神経分泌	1719, 2157
神経病理学	345
神経縫合	1734
心 筋	2527
心筋梗塞, 陳旧性	664
心筋梗塞, 実験的	455
人工骨頭置換術	1044
人工食道	2246
真性半陰陽	1029
真珠腫	645
心臓血管反射	2498
振 顫	716
心電図	1447, 2527
心内手術, 直視下	371
心膜炎, 収縮性	1666, 2527
心 膜	2481
自律神経	2258, 2314

腎移植	2844
腎出血，特発性	2446
腎臓混合腫瘍，胎生の	690
腎結石	1039

ス

脾臓，神経	3471
脾臓炎	2479
脾臓全別	1613, 2028
脾臓囊腫	713, 1002
脾臓全別犬	2470, 2992
脾頭癌	2479
髄膜	2761
髄液腔内注入	2761
水腎症，先天性	2886
水分分布，生体内	3028
杉浦 慶男	2481
杉浦 純官	680, 1929
杉谷 章	2834, 3793
杉本 雄三	702, 711, 712, 713, 1006, 1020, 1505, 1506, 2429
鈴木 克義	2643
鈴木 敏	1505
鈴木 昭二	976, 2394
ストレプトマイシン濃度	714, 2475

セ

制癌剤	2351
清家 澄保	2883
清家 隆介	1044
性腺刺激ホルモン	137
性発育	3097
性ホルモン	1595, 2470, 3215, 3243
生理学的研究，血管知覚	2932
脊椎関節突起内分離	2465
脊髄液瘻	1925
脊椎棘突起カリエス	313
脊椎腫瘍	1456
脊髄神経鞘腫	1929
脊髄瘍性関節症	706
脊髄損傷	1734
関谷 慎	1495

接種結核	1987
瀬藤 晃一	1976
世良 敏行	993, 2403
仙・尾骨縦裂像	1505
線維筋腫	1506
線維肉腫	1936
前脊髄動脈閉塞症候群	274
先天性水腎症	2886
先天性胆道不通症	2876
先天股脱	1899
先天性膀胱外翻症	700
舌下神経	904

ソ

造影剤	2761
総頸動脈内移植，腹水肝癌	1313
組織化学的研究，マウス乳腺腫瘍	3259, 3613
創傷治癒	3313
僧帽弁交連切開	997
総胆管空腸吻合	759
足関節変形	716
臓器親和性，悪性腫瘍	1580
鼠蹊部知覚過敏帯	1887
鼠径ヘルニア	306, 1045

タ

体外培養（マウス乳癌）	1595
胎生の腎臓混合腫瘍	690
第2ケーラー氏病	1045
対応運動皮質部	2748
大脳皮質	325
大網	1966
大網リンパ節結核	3816
大量吐血	1006
大量出血	718
高木 寛	487
高三 秀成	2108, 3386
高橋 哲良	248
高槻 春樹	2087
高山 晴夫	676, 1035
高山 久三	1867
武井 康平	1456

竜田 憲和	717
滝 幸久	1278
宅間 咄	1955
琢磨 照夫	1734
武田 惇	1029
武田 温雄	1959
武内 謙三	3816
武内 敦郎	664, 717, 1067
伊達 政昭	1932
田坂 兼郎	2476
多趾症 (マウス)	1551
田中 実	3097
田中 稔	3139
田辺 賀路	711
谷田部貞男	706
多発性骨髄腫	1480
多発性筋炎	1197, 1384, 2325
多発性骨髄炎	1197, 1384
田原 浩明	2893
玉置 光徳	3028
田村 哲男	2477
唾石症	3808
男子乳癌	1506
蛋白吸収	205
弾髯頸	716
弾髯指	2479
胆 囊	759
胆囊剔出	1506
胆囊捻転	1495
丹 信敏	1178, 1807
丹 毒	1020
胆道不通症 (先天性)	2876
唾液腺混合腫瘍	652

子

虫垂炎	1497, 1887, 2412
虫垂切除	1043
虫垂手術	2452
虫垂卵管内芽腫	2434
虫様突起	2258
腸管破裂 (外傷性)	3399
腸管動脈遮断	2075
腸管囊腫様気腫	687

腸管膜様包囊	2417
腸間膜血管閉塞症	1507
腸間膜腫瘤	1973
腸間膜動脈閉塞症	1507, 3401
腸吻合	2050
腸重積症	1497
腸捻転症 (S状結腸)	1501
中脳中心灰白質	325
中枢神経 (形成異常)	2472
中脳水道	3386
中脳中心灰白質	1511
長 靖磨	716
直視下心内手術	371
直間膜パチニー氏小体	3330
直腸癌	397, 301
直腸切断術	1035
直腸肉腫	297
直腸膀胱	2883
直腸内皮細胞腫	2438
中斜角筋々膜	1936
中枢神経系変性軸索	855, 2718
中枢神経	2761
知覚神経 (脾臓)	3073
チストザルコーマ・フィロデス	1043
腸閉塞	294, 3777

ツ

蔡 東隆	1313
椎間板ヘルニア	2473
頭蓋内気腫	1508
頭蓋内石灰化竈	1443
頭蓋内転移	1313
塚崎 義人	1016
塚田 朗	711
佃 光雄	2222, 3401
土田 精一	1090
辻 秀哉	1939
土屋 涼一	1147
恒川 謙吾	297, 652, 712, 991, 2421, 2932, 2949
頭部 (骨腫)	3391
頭部外傷	56, 391, 716, 877, 1278, 1413, 1719
鶴海 寛治	716, 1041, 1505

テ

テストステロン	2410
低蛋白症（術後性）	3399
デーニス・ブラウン氏手術	1045
テラトーマ	2108
てんかん	2472
	339
頸癰（橋性）	1047
電気生理学	325
電子顕微鏡	1396, 2258, 3330

ト

動脈切術	2476
動脈性副血行路（肝）	2964
特発性筋ヘルニア	1043
土倉 一郎	1384, 1923, 1936, 1987
吐血（大量）	1006
戸谷 源由	3259
糖尿症（実験的）	937, 1091, 2470
戸部 隆吉	184
トルコ鞍	2733
食喰（脂肪）	426
食喰（カルミン）	416
食喰細胞（脳内）	416, 426

ナ

内臓運動反射	2949, 3503
内臓・皮膚相互作用	3503
内藤 芳徳	205
内皮細胞腫，直腸	2438
内分泌臓器	113
内分泌の研究	2733, 3199, 3279, 3633
内膜刺激，血管反射	1743
ナウタ氏選択的鍍銀法	855, 2718
長石 忠三	2472
長尾 道雄	1507
長崎 寿志	2718
中瀬 明	2469
中野 進	3503
中村 和夫	736

中村 史郎	1043
中村 昂	325, 638
中村 正則	715
南部 正敏	1719

ニ

肉芽腫	2434
西田 茂樹	1026
西部 仰二	3199
西村 耕作	2820
西村 和夫	1039, 1470, 1480
西本 勝美	301
日本住血吸虫症	1043
乳 癌	1506, 1595, 2410
乳腺炎，結核性	1506
乳腺腫瘍	721, 1784, 2470, 2803, 3179, 3199, 3215, 3243, 3259, 3279, 3613, 3633, 3727
乳腺肉腫	2478
乳房肥大	2403
乳房美容成形術	660
尿管廻腸膀胱吻合術，両側	3826
尿中エストロン・エストラジオール	1784
尿中カテコールアミン	2834
尿中17ケテストステロイド	3279
尿中17・ヒドロキシコルチコイド	3633
尿中プレグナネジオール	3199
尿道下裂	1045
尿崩症	2157
尿路結石	2452
任意心搏停止	371
ニンヒドリン反応	2469

ネ

熱 傷	257, 614
-----	----------

ノ

ノイロプラストーム	2478
脳下垂体前葉	721
脳 幹	25
脳 胸	1492
脳グリオーム	2381, 2472

脳血管通	2471
脳室髄膜炎, 病理	1292
脳室造影	82, 2478
脳性小児麻痺, 脳病変	248
脳脊髄液瘻	1508
脳腫瘍	2470, 2697
脳振盪	2718
脳動脈瘤	2471
脳内貪喰細胞	416, 426
脳波	2748
脳浮腫	3121
脳膜性反射	2181
囊腫腎	713
野川 徳二	2181, 3391, 3399
野田 文男	2410, 2653
野々山 明	713, 1002, 1043, 2872
野村 源蔵	3488

ハ

バイオブシー, 肺, 左心耳	1435
ハイドロコチゾン・アセテート	2479
ハイムリッヒ・カブリリユー術式	3376
バイヤー氏病	987
肺嚢疽	1492
肺化膿症	285
肺虚脱症	2475
肺結核外科的療法	2473
肺永腫	2204, 2472
肺全切除術	2478
肺臓, 脂肪代謝	1811
肺葉切除	680, 1046, 2403
肺動脈弁狭窄	670
白血病	1507
箱田 充昭	345
端野 博康	1011
橋本氏病	280, 1932
破傷風	1043, 2478
バター黄	560
パチニー氏小体	2643
花島 得二	1043
花房 節哉	1356
羽根田 豊	721
馬尾神経腫瘍	645

林 一彦	1506
林 敏彦	394
林 弘	3613
原田 直彦	825, 1917
半陰陽, 真性	1029
半田 謙二	712
半田 肇	2471
ハンド・シュレル・クリスチアン病	1043, 2872

ヒ

P32	966, 2668
皮 温	3503
日笠頼則	835, 2470, 2472
膝関節前交叉靱帯形成術	1044
皮脂腺々腫	657
脾 臓	3073
避妊術	1026
ビネアローマ	2108
皮膚電気抵抗	3503
皮膚電気反射	3348
ビュルゲル氏病	649
病的骨折	706, 1505
広瀬 光男	1506
広谷 速人	711, 713
ビロニダール・デイジーズ	1044, 2458

フ

フィラリア症	2889
不可欠脂酸	2469, 2472
深田 斉迪	1631
腹腔大血管	1560
腹腔内吸収路	2351
腹腔内癒着防止	3757
腹水肝癌	1313
腹水犬	3430
腹 痛	3391
腹壁腫瘍	2451
腹膜炎, 結核性	1505
腹膜外膀胱破裂	1506
腹膜腔	802
副腎神経組織	3449
藤井 浄	3073

藤田 隼夫	1826
藤田竜五郎	877
藤野 昭三	2668
藤原 憲和	2325
ブペルタスプレコックス	158
プライマリ アルドステロニズム	714, 1911
プラスミン	487
古家 正年	1506
分裂第1中足骨種子骨障害	2477

へ

平滑筋, 虫様突起	2258
閉鎖孔ヘルニア	2476
ページェット氏病	1505
ペニシリン	227, 1987
ペニシリン, ショック	308, 1461
ペーパー・エレクトロフォレーシス・ ボラログラム	2469
ペーパークロマトグラフィー, 脂酸	1178, 1807, 3043
ヘルニア	1043
ヘルニア門閉鎖法	1045
弁膜切開術	670

ホ

膀胱, 神経叢移植	3488
膀胱癌全剝出	1917
膀胱上皮	825
膀胱破裂	1506
放射性同位元素 P ³²	966, 2668
放射性ヨードカゼイン	205
放射性ヨード標識オレオフ油	2897
放射線治療	1507
細野 幸吾	1127
病態生理, 肝動脈遮断	2472
堀尾 資郎	697
堀 照太良	516
ポリビニル・ホームル・スポンジ	2560, 2778
本庄 一夫	2471, 2472
本出 真三	3330

マ

前田 敏郎	1197, 1973
間狩 孝	3757
牧 文形	2920, 3085
牧 安孝	3043
牧野 文雄	1505
間島 正徳	1766
麻酔剤	2687
増田 耕作	2897
松井 章	2803
松尾 裕	2002, 2246, 3376
松岡 昇三	2351
松田 晋	2469, 3008
松永 隆信	1045
松永 守雄	1, 714
松村 友昭	2475
松村 浩	56
松本 浩生	3298
末梢神経	1099, 1396, 2314
末梢動脈	1743
マンソン条虫	711, 2462

ミ

ミエログラフィー	716, 1429, 2473, 2473, 2476
ミエロパーク	2476
ミクログリア	416, 426
三沢 郁夫	713
三瀬 真一	3395
三原 丞治	2470, 3243
御荘 基信	1501, 1966
満田 久保	2391

ム

無菌性骨壊死症	2375
村上 治朗	1045, 1507
村瀬 晃朔	1044
村山 保雄	2889
室賀 竜夫	715

メ

迷走神経	904, 2204
迷走神経切離縫合	3139

迷入腺	294
迷入副腺	2429
免疫作用	1826
免疫元	227
免疫現像	516
毛受 武重	1666

モ

毛巢疾患	2458
盲腸	3401
盲腸軸捻転症	1507, 3820
森 和夫	1047
森 益太	2473, 2475
守 安久	25
モルヨドール	2478
門 脈	2472
門脈血酸素含有量	3430
門脈再建	2471
モンドール氏病 (所謂)	3395

ヤ

八尾英一郎	2470, 2992
八牧 力雄	455, 1435
安井 満	308
安江 幸洋	1506, 2478
柳井 悦嘉	2296
山崎 徹雄	1520, 1551
山添 善朗	1221, 1237
山本 庄司	2478
山本 忠治	716, 2474
山本 輝雄	2258
山本 喜和	1613
山本 竜蔵	2687

ユ

輸 血	979
癒着性髄膜炎	716
遊離移植, 筋膜・皮膚	1923

ヨ

芽鐘 淳	2733, 3808
吉川 恵庸	137, 700
吉川 昭治	158
吉沢 孝夫	1506
吉田 俊明	758
吉田肉腫	345, 516
吉田 良行	2475
吉武 泰男	2476
吉野 位	1497, 1962, 1980, 3590
吉松 修	904
吉峰 泰夫	1429
葉状囊肉腫	3810
ヨード油脳室造影	82
横田 友二	432
横山 敏	3215

ラ

卵管破裂	2455
卵巣, 神経叢移植	3488
卵巣出血	2442
卵巣妊娠	1026
卵巣囊腫	697
ラブドミオサルコーム	1043

リ

流産児, 自然	1237
リウマチ様関節炎	2475
良性腫瘍	3590
林 章 樑	3348
リンパ節炎, 回盲部	3085

ル

類肉腫症	1505
------	------

レ

冷蔵保存, 下垂体前葉	137
レ線照射マウス	1221
レ線像, 腸捻転	1501

ロ

ロイシン大量投与.....	113
肋膜炎.....	1044

ワ

渡辺 浩策.....	712
渡辺 昭一.....	280
渡辺 克.....	1044, 2479
渡部 三郎.....	1045
渡部正三郎.....	2479

CONTENTS OF VOLUME 28

NEUROPHYSIOLOGICAL STUDIES ON COMA INDUCED BY STIMULATION OF (ESPECIALLY BY MINIMAL NICOTINIZATION INTO) VARIOUS PARTS OF THE BRAIN IN CATS.....	MORIO MATSUNAGA(1)
THE LOWER BRAIN STEM AND CONSCIOUSNESS	HISASHI MORIYASU(25)
EXPERIMENTAL STUDIES ON COMA DUE TO HEAD INJURY	HIROSHI MATSUMURA(56)
ACUTE NECROTIZING ENCEPHALOMYELOPATHY FOLLOWING IODIZED-OIL- VENTRICULOGRAPHY.....	TOSHIATSU KOJIMA(82)
HISTOLOGICAL CHANGES OF THE HYPOPHYSIS, OTHER ENDOCRINE ORGANS AND BONES OF MICE CAUSED BY ORAL ADMINISTRATION OF A LARGE QUANTITY OF LEUCIN.....	TERUKAZU IMAI(113)
THE GONADOTROPIC EFFECTS OF REFRIGERATOR PRESERVED ANTERIOR PITUITARY	SHIGENOBU YOSHIKAWA(137)
EXPERIMENTAL STUDY OF MALE PRECOCIOUS PUBERTY CAUSED BY CHORIONIC GONADOTROPIN.....	SHIYOZI YOSIKAWA(158)
EXPERIMENTAL INVESTIGATION OF VARIOUS FATS AS TO THEIR NUTRITIONAL VALUE	TAKAYOSHI TOBE(184)
THE EXPERIMENTAL STUDY ON THE RELATION BETWEEN THE GASTRO- INTESTINAL MOVEMENTS AND THE ABSORPTION OF THE PROTEIN AFTER GASTROINTESTINAL SURGERY, USING THE RADIOACTIVE IODOCASEIN	YOSHINORI NAITO(205)
EXPERIMENTAL STUDIES ON THE EFFECT OF COMBINED USE OF PENICILLIN WITH VARIOUS IMMUNOGENS	KOICHI ESA(227)
PATHOLOGICAL CHANGES IN THE BRAIN IN CEREBRAL PALSY.....	TETSURO TAKAHASHI(248)
SUCCESSFUL CASE OF A FULL BURN	HIDEJIRO OYA(257)
CARDIO-PNEUMONOPEXY FOR CORONARY INSUFFICIENCY, A CASE REPORT	SHUNSUKE OGINO et al.(261)
DAS SYNDROM DES VERSCHLUSSES DER VORDEREN SPINALARTERIE.....	TOSHIATSU KOJIMA et al.(274)
A CASE REPORT OF HASHIMOTO' DISEASE.....	SHOICHI WATANABE et al.(280)
A CASE OF LUNGABSCCESS.....	FUMIHITO AMANUMA et al.(285)
A CASE OF MASSIVE GASTROINTESTINAL HEMORRHAGE AFTER THORACOTOMY	KAZUHIKO OKI et al.(288)
FIBROMYOMA OF THE STOMACH, REPORT OF A CASE	KANICHI ITANI et al.(291)
A CASE OF ANULAR PANCREAS.....	SUGURU ARAI et al.(294)
IMMATURE CARCINOMA OF THE RECTUM RESEMBLING TO SARCOMA.....	KENGO TSUNEKAWA et al.(297)
A CASE OF TOTAL EXCISION OF ALL PELVIC VISCERA EN MASSE FOR ADVANCED CARCINOMA OF THE RECTUM.....	KATSUMI NISHIMOTO et al.(301)
A CASE OF VARICOCELE OF ROUND LIGAMENT OF THE UTERUS MISDIAGNOSED TO BE INGUINAL HERNIA AND TUMOR OF THE APPENDAGE	YUKIHIKO ISEDA et al.(306)
ON A CASE OF PENICILLIN SHOCK	MITSURU YASUI et al.(308)
POSTERIOR SPINAL CARIES, REPORT OF A CASE	GORO OTA(313)
TWO CASES OF HEMOPHILIC JOINTS, OBSERVED FOR A EIGHT-YEAR PERIOD	YASUHIRO IMAI et al.(317)
ELECTROPHYSIOLOGICAL CONNECTIONS BETWEEN MESENCEPHALIC CENTRAL GRAY MATTER AND CEREBRAL CORTEX.....	TAKASHI NAKAMURA(325)
A NEUROPATHOLOGICAL STUDY OF "YOSHIDA SARCOMA".....	MITSUAKI HAKODA(345)
EXPERIMENTAL STUDIES ON ELECTIVE CARDIAC ARREST FOR OPEN HEART	

SURGERY.....	SADA AKI KAWASHIMA(371)
INITIAL SHOCK FOLLOWING HEAD INJURIES.....	TOSHIHIKO HAYASHI(394)
PHAGOCYTES OF THE BRAIN WITH SPECIAL REFERENCE TO THE ATTITUDE OF PHAGOCYTOSING CARMINES BY MICROGLIAS.....	NOBUICHI IDO(416)
PHAGOCYTES OF THE BRAIN WITH SPECIAL REFERENCE TO THE ATTITUDE OF PHAGOCYTOSING FAT BY MICROGLIAS.....	NOBUICHI IDO(426)
AN ENDOCRINOLOGICAL RELATIONSHIP BETWEEN THE PINEAL BODY AND THE ANTERIOR LOBE OF HYPOPHYSIS.....	TOMOJI YOKOTA(432)
CHANGES OF SERUM TRANSAMINASE ACTIVITY FOLLOWING EXPERIMENTAL MYOCARDIAL INFARCTION; DIAGNOSTIC EVALUATION.....	RIKIO YAMAKI et al.(455)
THE VASOLOGICAL STUDY ON THE GASTRO-ENTEROSTOMY BY MEANS OF PLASTIC INJECTION METHOD.....	KIYOSHI IKEGAMI(467)
STUDIES ON THE INFLUENCE OF OPERATIVE PROCEDURE UPON THE PLASMIN AND PLASMIN INHIBITOR ACTIVITY.....	HIROSHI TAKAGI(487)
STUDIES ON THE ZINC METABOLISM IN PATIENTS WITH MALIGNANT TUMORS: AMOUNTS OF ZINC IN TUMOR TISSUE, BLOOD AND URINE.....	KENJI OBAYASHI(499)
AN EXPERIMENTAL STUDY OF THE INFLUENCE OF FILTRATES OF THE YOSHIDA'S SARCOMA ON DIFFERENT IMMUNOLOGIC EFFECTS.....	SHOTARO HORI(516)
AN EXPERIMENTAL STUDY OF THE IMPEDIN PHENOMENON OF HEPATOMA IN WHITE RATS RESULTING FROM THE ADMINISTRATION OF BUTTER YELLOW.....	KOZO INOKI(560)
STUDIES ON HEMODYNAMICS OF THE LEFT SIDE OF THE HEART IN PATIENTS WITH MITRAL STENOSIS.....	SHUNSUKE OGINO et al.(607)
SUCCESSFUL CASE OF A FULL BURN.....	HIDEJIRO OYA(614)
MALIGNANT MELANOMAS, REPORT OF SEVEN CASES.....	TAKASHI NAKAMURA et al.(638)
A CASE OF TUMOR IN CAUDA EQUINA (CHOLESTEATOMA).....	TAKASHI ITO et al.(645)
ON 2 CASES OF BÜRGER'S DISEASE UPON WHOM THE LUMBAL SYMPATHECTOMY WAS PERFORMED TWO TIMES.....	YASUO UKEDA(649)
SALIVARY GLAND TUMORS, REPORT OF THREE CASES.....	KENGO TSUNEKAWA et al.(652)
A CASE OF CUTIS ADENOMA.....	KIYOSHI IKEGAMI(657)
ILL EFFECTS OF COSMETIC OPERATION OF THE BREAST, REPORT OF TWO CASES	TERUO SATO et al.(660)
CARDIOPERICARDIOPEXY IN A CASE OF OLD MYOCARDIAL INFARCTION	ATSURO TAKEUCHI et al.(664)
CLOSED TRANSVENTRICULAR VALVULOTOMY FOR PULMONARY STENOSIS, REPORT OF A CASE.....	SADA AKI KAWASHIMA et al.(670)
EIN FALL VON ANEURYSMA DISSECANANS.....	HARUO TAKAYAMA et al.(676)
A CASE OF PULMONARY METASTASIS OF CHORIONEPITHELIOMA TREATED BY LOBECTOMY.....	YOSHINOBU SUGIURA et al.(680)
A RARE CASE OF LIVER ADENOMA.....	KEIZO SAKAMOTO et al.(684)
A CASE OF INTESTINAL CYSTIC EMPHYSEMA.....	YURIKO KANAZAWA(687)
WILMS' TUMOR, REPORT OF THREE CASES.....	KAZUAKI SASAKI et al.(690)
A CASE OF GIANT LEFT OVARIAL CYST.....	SHIRO HORIO et al.(697)
A CASE OF EXSTROPHY OF THE BLADDER.....	SHIGENOBU YOSHIKAWA(700)
FEMALE HYDROCELE, A REPORT OF THREE CASES.....	YUZO SUGIMOTO et al.(702)
A CASE OF TABETIC ARTHROPATHY WITH PATHOLOGIC FRACTURE AS A FIRST SIGN.....	SADAO YATABE(706)
EXPERIMENTAL STUDIES ON THE RELATIONSHIP BETWEEN THE MAMMARY TUMORS AND THE ANTERIOR LOBE OF THE PITUITARY GLAND.....	YUTAKA HANEDA(721)
THE EXPERIMENTAL PRODUCTION OF CORONARY INSUFFICIENCY IN DOGS	KAZUO NAKAMURA(736)
EXPERIMENTAL STUDIES ON THE BEHAVIOR OF THE GALLBLADDER AFTER CHOLEDOCHOEJUNOSTOMY	TOSHIAKI YOSHIDA(759)
EXPERIMENTAL STUDY ON HEPATO-ENTEROSTOMY	SUSUMU SHIBAGAKI(777)

STUDIES ON THE PERITONEAL ABSORPTION OF PARTICULATE MATTER	KANICHI ITANI(802)
REGENERATION OF THE BLADDER EPITHELIUM.....	NAOHIKO HARADA et al.(825)
PARENTERAL ADMINISTRATION OF FATS.....	YORINORI HIGASA et al.(835)
STUDIES ON Nauta's SELECTIVE SILVER IMPREGNATION OF DEGENERATING AXONS IN THE CENTRAL NERVOUS SYSTEM	HIRONOBU KITA(855)
EXPERIMENTAL STUDIES ON THE EFFECTS OF HEAD INJURY ON THE SOMATOSEXUAL DEVELOPMENT.....	RYUGORO FUJITA(877)
EXPERIMENTAL STUDIES ON THE ANASTOMOSIS BETWEEN THE VAGUS AND THE FACIAL NERVE OR THE HYPOGLOSSAL NERVE	OSAMU YOSHIMATSU(904)
EXPERIMENTAL STUDIES ON THE CORRELATION BETWEEN BLOOD LIPID COMPONENTS AND LIPOPROTEINS OF SERUM	HIROMU ONISHI(920)
EFFECT OF DIETARY FAT ON THE INCIDENCE OF EXPERIMENTAL DIABETES	KISAKU SATOMURA(937)
THE CLINICAL USE OF RADIOACTIVE PHOSPHORUS (P ³²).....	TOKIO KUMA et al.(966)
SERUM HEPATITIS DUE TO BLOOD TRANSFUSION.....	SHOJI SUZUKI et al.(979)
SUPERIOR ARTERIOMESENTERIAL DUODENAL STENOSIS ACCOMPANIED BY THE PAYR'S DISEASE AND THE MOVABLE ELONGATED SIGMOID COLON	TOSHIYUKI SERA et al.(987)
A CASE OF MUCOEPIDERMOID CARCINOMA OF THE PAROTID GLAND.....	KENGO TSUNEKAWA et al.(994)
HYPERPYREXIA FOLLOWING MITRAL COMMISSUROTOMY, REPORT OF A CASE	KAZUAKI SASAKI et al.(997)
A CASE OF PANCREATIC CYST WHICH PENETRATED THE STOMACH.....	AKIRA NONOYAMA et al.(1002)
OBSERVATION FOR THE 9 CASES OF ACUTE HEMORRHAGE FROM THE STOMACH.....	YUZO SUGIMOTO et al.(1006)
JEJUNAL INTUSSUSCEPTION FOLLOWING GASTRECTOMY; UNUSUAL COMPLICATION OF THE USE OF THE ABBOTT-ROWSON TUBE.....	HIROYASU HASHINO et al.(1011)
ONE CAUSE FOR DUODENAL STENOSIS	YOSITO TSUKAZAKI et al.(1016)
A CASE OF AN EXTENSIVE ROSE.....	YUZO SUGIMOTO et al.(1020)
A CASE OF ILEOCECAL GRANULOMAS	KIYOSHI Ikegami(1023)
A CASE OF OVARIAN PREGNANCY DEVELOPED AFTER MADLÉN'S OPERATION	SHIGEKI NISHIDA(1026)
TRUE HERMAPHRODITISM, ESPECIALLY ENDOCRINOLOGICAL STUDIES IN A CASE OF OVOTESTIS	JUN TAKEDA et al.(1029)
A CASE OF AMPUTATIO RECTI UTILIZING THE ANAL SPHINCTER.....	HARUO TAKAYAMA et al.(1035)
A CASE OF FREQUENT RECURRENT BILATERAL GIANT RENAL CALCULI...	KAZUO NISHIMURA et al.(1039)
EXPERIMENTAL STUDIES ON PONTINE EPILEPSY PRODUCED BY INJECTION OF ALUMINA CREAM IN CATS.....	KAZUO MORI(1047)
EXPERIMENTAL STUDIES ON THE SURGICAL TREATMENT FOR CORONARY INSUFFICIENCY.....	ATSURO TAKEUCHI(1067)
HISTOLOGICAL STUDY ON THE VASCULAR NERVE IN DIABETIC RABBITS	KEIGO IIHARA(1091)
HISTOLOGICAL STUDY ON THE EVOLUTION OF THE PERIPHERAL NERVOUS SYSTEM IN RABBITS.....	KEIGO IIHARA(1099)
THE INTERRUPTION OF THE ARTERIAL FLOW TO THE LIVER.....	HIDEHIKO URABE(1112)
EXPERIMENTAL STUDY ON CIRRHOSIS OF THE LIVER	KOGO HOSONO(1127)
EXPERIMENTAL STUDY OF CIRRHOSIS OF THE LIVER PART I, PART II	

- RYOICHI TSUCHIYA(1147)
- ANALYTIC CHEMICAL STUDIES ON FAT METABOLISM BY APPLICATION
OF PAPER CHROMATOGRAPHY OF FATTY ACIDS..... NOBUTOSHI TAN(1178)
- EXPERIMENTAL STUDIES ON THE PATHOGENESIS OF POLYMYOSITIS
AND POLYOSTEOMYELITIS TOSHIRO MAEDA(1197)
- GLIAL ANOMALY IN MALFORMED BRAIN OF FETUS OF MOUSE CAUSED
BY IRRADIATION..... YOSHIRO YAMAZOE(1221)
- DEVELOPMENTAL ANOMALY OF GLIAL CELLS IN VARIOUS PARTS OF THE BRAIN
OF MALFORMED HUMAN FETUSES AND ABORTIVE FETUSES... YOSHIRO YAMAZOE(1237)
- HISTOPATHOLOGICAL STUDY OF CYSTIC TUMORS IN THE CEREBRAL
HEMISPHERE FROM THE STANDPOINT OF SURGERY..... KAZUO KANEDA(1264)
- HEAD INJURIES SUBJECTED TO MEDICO-LEGAL AUTOPSY AS SEEN FROM
THE STANDPOINT OF NEUROSURGERY..... YUKIHISA TAKI(1278)
- ON THE HISTOLOGICAL CHANGES OF MENINGO-VENTRICULAR SYSTEM,
BY LONG TERM INTRA VENOUS ADMINISTRATION OF SULFONAMIDE
WITH HIGH PERMEABILITY THROUGH BLOOD LIQUOR BARRIER ... MORIO UCHIDA(1292)
- DISTRIBUTION OF INTRACRANIAL METASTASES FOLLOWING TRANSPLANTATION OF THE
ASCITES HEPATOMA INTO THE COMMON CAROTID ARTERY..... TUNG LUNG TSAI(1313)
- COMMUNICATION BETWEEN THE STOMACH WALL AND THE DUODENAL WALL
..... HARUHIKO SHIMIZU(1334)
- CLINICAL STUDIES ON THE NUTRITIONAL EFFECTS OF FAT EMULSION
ADMINISTERED INTRAVENOUSLY AND BY NASAL TUBE FEEDING
..... SETSUYA HANAFUSA(1356)
- ENZYMOLOGICAL STUDIES ON THE PATHOGENESIS OF POLYMYOSITIS AND
POLYOSTEOMYELITIS..... ICHIRO DOGURA(1384)
- ELECTRON MICROSCOPIC STUDY OF WALLERIAN DEGENERATION OF THE
PERIPHERAL NERVE..... SUSUMU OHMI(1396)
- MYELOGRAPHIC ACCURACY OF INTERVERTEBRAL DISC HERNIATIONS
..... YASUO YOSHIMINE et al.(1429)
- BIOPSIES OF THE LUNG AND THE LEFT AURICLE IN MITRAL STENOSIS
..... RIKIO YAMAKI et al.(1435)
- TRUMATIC INTRACRANIAL CALCIFICATION..... KIYOSHI IkeGAMI(1443)
- ELECTROCARDIOGRAPHIC FINDINGS AFTER MITRAL VALVE SURGERY
..... TAKESHI OGATA et al.(1447)
- TUMORS OF THE SPINAL COLUMN, EXPERIENCED DURING PAST 27 YEARS
AT ORTHOPEDIC DEPARTMENT OF KEIO UNIVERSITY..... RENPEE TAKEI(1456)
- A CASE OF SERIOUS PENICILLIN SHOCK SUCCESSFULLY TREATED
..... ATSUSHI KIKUCHI et al.(1461)
- ON A CASE OF KISSING UICER WITH SIGN OF MALIGNANT..... SEKO UMIMOTO et al.(1465)
- THE CASES OF THE GASTRIC PHLEGMON..... KAZUO NISHIMURA et al.(1470)
- RETICULOSARCOMA OF THE STOMACH AS ONE OF THE LESIONS OF
RETICULOSARCOMATOSIS : REPORT OF A CASE..... YUKIO UCHIDA(1475)
- A CASE OF MULTIPLE MYELOMA (PLASMOCYSTOMA) COMBINED WITH
DUODENAL ULCER..... KAZUO NISHIMURA et al.(1480)
- A CASE OF DUODENAL DIVERTICULA..... KOICHI ESA(1487)
- A CASE OF PUTRID PYOTHORAX CAUSED BY THE PERFORATION OF A
PULMONARY GANGRAEN..... YUKIHIKO ISEDA et al.(1492)
- A SUCCESSFUL OPERATIVE TREATMENT OF A RARE CASE OF THE GALL
BLADDER TORSION SHIN SEKIYA(1495)
- A CASE OF THE OCCURENCE OF PERFORATED APPENDICITIS COEXISTENT
WITH INVAGINATION IN A 9 MONTHS OLD BABY..... YOSHINO TADASHI et al.(1497)
- ON ROENTGENOLOGIC DIAGNOSIS OF VOLVULUS OF THE SIGMOID COLON
..... MOTONOBU MISHO et al.(1501)

- POSSIBILITY OF INDUCTION OF COMA WITHOUT ACCOMPANING CONVULSION
BY ELECTRICAL AND CHEMICAL STIMULATION IN THE CENTRAL GRAY
MATTER OF THE MIDBRAIN.....TADAYOSHI ODA(1511)
- HISTOLOGICAL CHANGES IN THE BRAINS OF MALFORMED FETUSES FROM
THE URETHANE TREATED MOTHER MOUSE AND THEIR POSSIBLE
RELATION TO OCCURRENCE OF GLIOMAS IN CHILDREN.....NORIO YAMAZAKI(1520)
- ON CHANGES IN NUMBER OF THE ANTERIOR HORN CELLS OF THE SPINAL
CORD IN THE POLYDACTYLISM MICE.....NORIO YAMAZAKI(1551)
- A HISTOLOGICAL STUDY ON THE INNERVATION OF THE LARGE BLOOD
VESSELS OF THE ABDOMEN.....TOMOO KITAHABA(1560)
- NEUROPATHOLOGISCHE VERSUCHE ÜBER DIE ORGANAFFINITÄT DER
BÖSARTIGEN GESCHWULSTTOSHIAKI INOUE(1580)
- EFFECTS OF SEX HORMONES ON MOUSE MAMMARY CANCER CELLS
IN VITRO.....HIROSHI OTANI(1595)
- STUDIES ON THE LATER TYPE OF FATTY LIVER OF THE INSULIN-
TREATED COMPLETELY DEPANCREATIZED DOG.....YOSHIKAZU YAMAMOTO(1613)
- EXPERIMENTAL STUDIES ON FAT METABOLISM IN VIVO WITH SPECIAL
REFERENCE TO DETERMINATION OF ALPHA-KETOGLUTARIC ACID
.....TOSHIMICHI FUKATA(1631)
- CHOLESTEROL METABOLISM STUDIED WITH FAT EMULSIONYASUO SHIMADA(1645)
- EXPERIMENTAL STUDIES AND CLINICAL EXPERIENCE IN CONSTRICTIVE
PERICARDITIS: VENOUS PRESSURE AND LIVER FUNCTION.....TAKESHIGE MENJO(1666)
- EXPERIMENTAL STUDIES ON THE ARREST REACTION ELICITED FROM THE
THALAMUS AND ITS NEIGHBORING REGIONS.....KIYOTAKA KOGAME(1696)
- THE DELAYED NEUROSECRETORY RESPONSE TO HEAD INJURY IN THE RATS
.....MASATOSHI NUMBU(1719)
- EXPERIMENTAL STUDY ON ANASTOMOSIS BETWEEN THE LOWER THORACAL
AND THE LUMBAR OR SACRAL NERVES FOR THE TREATMENT OF
PARAPLEGIA DUE TO SPINAL CORD LESIONTERUO TAKUMA(1734)
- EXPERIMENTAL STUDIES ON PERIPHERAL VASCULAR REFLEX CAUSED BY
INTRAARTERIAL INJECTION OF SOME STIMULANTS.....SUKEAKI SHIMIZU(1743)
- EXPERIMENTAL STUDIES ON THE PATHOGENESIS OF INFECTIOUS HEPATORENAL
SYMPTOM-COMPLEX.....ZENICHI KATAOKA(1751)
- EXPERIMENTAL STUDIES ON THE HEALING MECHANISM AT THE SUTURE
PORTION OF ANTETHORACIC ESOPHAGO-GASTROSTOMY OR -JEJUNOSTOMY
.....MASANORI MAJIMA(1766)
- STUDIES ON THE EXCRETION OF URINARY ESTRONE AND ESTRADIOL FRACTION
IN PATIENTS WITH NEOPLASTIC DISEASES OF THE BREAST.....SHOJI KURITA(1784)
- ANALYSIS OF COMPONENT FATTY ACIDS IN HUMAN AND COW MILKS BY
PAPER CHROMATOGRAPHY OF FATTY ACIDS.....NOBUTOSHI TAN et al.(1807)
- EXPERIMENTAL STUDIES ON FAT METABOLISM OF THE LUNG IN THE
LIGHT OF THE PROCESS OF PRODUCTION OF THE OPSONINE IN
THE BLOOD.....ATSUSHI KIKUCHI(1811)
- AN EXPERIMENTAL STUDY ON THE INFLUENCE OF FILTRATES OF THE
WALKER'S TUMOR ON DIFFERENT IMMUNOLOGIC EFFECTSHAYAO FUJITA(1826)
- REACTION OF TUMOR-TISSUE EMULSION WHEN PASSING THROUGH GUINEA-
PIGS' BRAINS.....BUNZO TAKAYAMA(1867)
- THE HYPERAESTHETIC ZONE IN THE RIGHT INGUINAL REGION ON ACUTE
APPENDICITISJYUN OKINO et al.(1887)
- ELSBURG-DYKE'S CURVE AND ITS CLINICAL VALUE IN NORMAL JAPANESE
.....SEIICHI TSUCHIDA(1890)
- RESULTS OF THE TREATMENT OF LUXATIO COXAE CONGENITA IN SUCKLINGS

-GORO OTA(1899)
- INFUNDIBULOMA.....SHOZO ISHII et al.(1903)
- A SUCCESSFUL CASE OF ADRENALECTOMY FOR PRIMARY ALDOSTERONISM
.....CHUJI KIMURA et al.(1911)
- ON A CASE ACCOMPLISHED WITH A REGENERATED BLADDER...NAOHICO HARADA et al.(1917)
- A FREE FASCIA AND SKIN GRAFTING FOR A LARGE DURA-SKULL-
SCALP DEFECT ICHIRO DOGURA(1923)
- THE TREATMENT OF THE LIQUOR FISTULA AFTER LAMINECTOMY...HIDEAKI KAMIISHI(1925)
- A CASE OF SPINAL NEURINOMA..... YOSHINOBU SUGIURA(1929)
- A CASE REPORT OF HASHIMOTO'S DISEASE..... MASATERU DATE et al.(1932)
- A CASE OF FIBROSARCOMA ARISING FROM THE FASCIA OF LEFT MEDIAL
SCALENE MUSCLE.....ICHIRO DOGURA et al.(1936)
- FOUR CASES OF STOMACH POLYP..... HIDEYA TSUJI et al.(1939)
- A CASE OF LEIOMYOM OF THE STOMACH..... TAKESHI OGATA et al.(1947)
- A CASE OF SARCOMA OF THE STOMACH..... KIYOSHI IkeGAMI et al.(1951)
- ONE OPERATED CASE OF PERFORATION OF STOMACH IN INFANT.....Ko TAKUMA(1955)
- A CASE OF FIBROMA OF THE STOMACH..... HARUO TAKEDA et al.(1959)
- A CASE OF DUODENAL TUBERCULOSIS TREATED SURGICALLY AND CHEMICALLY
..... TADASHI YOSHINO et al.(1962)
- ON INFLAMMATORY TUMOR OF THE GREATER OMENTUM.....MOTONOBU MISHO et al.(1966)
- TWO CASES OF MESENTERIAL TUMORS.....TOSHIRO MAEDA et al.(1973)
- A CASE OF LIVER CIRRHOSIS WHICH SHOWED COMPLICATED COURSE
FOR 10 YEARS..... KOICHI Seto et al.(1976)
- A CASE OF AN INTERESTING PRIMARY LIVER CANCER DIAGNOSED
WRONGLY AS LIVER ABSCESS.....TADASHI YOSHINO et al.(1980)
- THREE CASES OF TESTICULAR TUMOR..... KANICHI ITANI et al.(1983)
- A CASE OF INOCULATION TUBERCULOSIS FOLLOWING PENICILLIN-INJECTION
..... ICHIRO DOGURA(1987)
- INFLUENCE OF PROLONGED ANOXIA UPON THE BRAIN OF THE FETAL AND
ADULT RABBIT SHOGO OGAWA(1991)
- EXPERIMENTAL STUDIES ON THE CAUSES OF REFLUX ESOPHAGITIS, WITH
ESPECIAL EMPHASIS ON THE SIGNIFICANCE OF ESOPHAGEAL CATHEPTASE,
BILE AND BACTERIAL INFECTIONYUTAKA MATSUO(2002)
- STUDIES ON THE EARLY TYPE OF FATTY LIVER DEVELOPED IMMEDIATELY
AFTER TOTAL PANCREATECTOMY: ESPECIALLY ON THE AMOUNT OF
INSULIN ADMINISTEREDTEINOSUKE OSHITANI(2028)
- CHANGES IN ANTI-DIURETIC SUBSTANCE AFTER TOTAL PANCREATECTOMY
..... TEINOSUKE OSHITANI(2042)
- PROTECTIVE EFFECTS OF ANTIBIOTICS ON COLON ANASTOMOSIS...TSUKASA UMEBAYASHI(2050)
- EFFECT OF ANTIBIOTICS ON INTERRUPTION OF INTESTINAL ARTERIAL
FLOW TSUKASA UMEBAYASHI(2075)
- EXPERIMENTAL STUDIES ON THE PATHOGENESIS OF REFLUX ESOPHAGITIS
..... HARUKI TAKATSUKI(2087)
- THE RELATIONSHIP BETWEEN THE PINEALOMA AND THE PINEAL TERATOMA
..... HIDENARI TAKASAN(2108)
- THE EXPERIMENTAL PRODUCTION ON THE ARGYLL-ROBERTSON PUPIL
..... KATSUFUMI SHIMAKAWA(2128)
- NEUROSECRETORY STUDIES ON EXPERIMENTAL DIABETES INSIPIDUS IN
THE CAT: ESPECIALLY ON THE ROLE OF THE PARAVENTRICULAR
NUCLEUS IN ITS PRODUCTIONSHIN KITAJIMA(2157)

- AN EXPERIMENTAL STUDY OF MENINGEAL REFLEX.....TOKUJI NOGAWA (2181)
- EXPERIMENTAL OBSTRUCTION OF AQUEDUCTUS MESENCEPHALI BY MEANS
OF A GELATINE SPONGE SOAKED WITH POLYMER-METHYLMETA-
ACRYLATE SOLUTION.....MASANORI INOUE (2193)
- EXPERIMENTAL STUDIES ON THE PATHOGENESIS OF ACUTE PULMONARY
EDEMA, WITH SPECIAL REFERENCE TO THE ROLE OF VAGOTOMY
..... MASAYA KIMURA (2204)
- EXPERIMENTAL STUDIES ON THE ANTETHORACIC ESOPHAGEAL RECONSTRUCTION
..... MITSUO TSUKUDA (2222)
- EXPERIMENTAL STUDIES ON THE ESOPHAGEAL REPLACEMENT BY A
POLYVINYL FORMAL SPONGE TUBE (1st Report)YUTAKA MATSUO (2246)
- ELECTRON MICROSCOPE RESEARCH ON THE RELATIONSHIP BETWEEN THE
CELLS IN SMOOTH MUSCLE TISSUE OF THE PROC. VERMIFORMIS
AND THE AUTONOMIC PERIPHERY INNERVATING THEM.....TERUO YAMAMOTO (2258)
- EXPERIMENTAL STUDIES ON INNERVATION OF MUSCLE-SPINDLES...TATSURO SAKURAI (2279)
- EXPERIMENTAL STUDIES ON INNERVATION OF SKELETAL MUSCLES, ESPECIALLY
CONCERNED WITH AUTONOMIC NERVESNOBUYOSHI YANAI (2296)
- ON AUTONOMIC FIBERS IN PERIPHERAL NERVES INNERVATING POSTERIOR
LEG MUSCLES.....TOSHIHARU KOTERA et al. (2314)
- EXPERIMENTAL STUDIES ON THE PATHOGENESIS OF ACUTE SUPPURATIVE
POLYMYOSITIS, ESPECIALLY ENZYMOLOGICAL SUPPLEMENTARY
INVESTIGATION CONCERNING VITAMIN B₁-DEFICIENCY THEORY (OZAWA)
.....NORIKAZU FUJIWARA (2325)
- EXPERIMENTAL STUDY ON HISTOLOGICAL CHANGES OF THE ABSORPTION
SYSTEM THROUGH THE PERITONEAL CAVITY INDUCED BY ANTICANCER
AGENTS..... SHOZO MATSUOKA (2351)
- A ROENTGENOLOGICAL OBSERVATION OF AN ASEPTIC BONE NECROSIS
IN THE BONY NUCLEUS OF CAPITULUM HUMERI.....TOSHIHARU KOTERA (2375)
- FOLLOW-UP STUDIES OF THE RESULTS OF OPERATIONS FOR THE GLIOMAS
OF THE BRAIN.....KYOZO ANDO et al. (2381)
- A CASE OF LARGE HETEROPLASTIC OSTEOMA IN THE OCCIPITAL REGION
.....HISAKAZU MITSUDA et al. (2391)
- A CASE OF LARGE BRONCHOGENIC CYST IN A 5-YEAR-OLD FEMALE WITH
SUCCESSFUL REMOVAL.....SHOJI SUZUKI et al. (2394)
- ALVEOLARZELLKREBS BEI EINEM 19 JÄHRIGEN MÄDCHEN.....YOSHIAKI IRIE et al. (2398)
- HYPERTROPHY OF THE MAMMA OBSERVED IN TWO CASES AFTER RESECTION
OF THE UPPER-LOBE OF THE LUNG ON THE SAME SIDE...TOSHIYUKI SERA et al. (2403)
- TREATMENT WITH TESTOSTERONE IN A CASE OF ADVANCED CANCER OF
THE BREAST..... FUMIO NODA (2410)
- A CASE OF PHYTOBEZOAR.....TOMOO KITAHARA et al. (2414)
- A CASE OF PERITONITIS CHRONICA FIBROSA INCAPSULATA...HIDEO KISHIMOTO et al. (2417)
- FOUR CASES OF RETROPERITONEAL TUMORS.....KENGO TSUNEKAWA et al. (2421)
- AUTOPSY CASE OF PRIMARY DUODENAL CANCER AT THE LOWER PART
OF THE PAPILLA ORIGINATING IN AN ABERRANT ACCESSORY PANCREAS
WHICH CAUSED PERFORATION.....YUZO SUGIMOTO et al. (2429)
- A LARGE GRANULOMA AND MALIGNANT TUMOUR DEVELOPED IN THE
APPENDICO-TUBAL FISTULA.....JYUN OKINO et al. (2434)
- A CASE OF ENDOTHELIOMA OF THE RECTUM.....YUTAKA MATSUO et al. (2438)
- OVARIAN HEMORRHAGE LEADING TO DIFFICULTY IN DIFFERENTIATING

FROM APPENDICITIS.....	MICHIGORO ADACHI et al. (2412)
A CASE OF PROFUSE RENAL HEMATURIA BELONGING TO THE SO-CALLED ESSENTIAL TYPE.....	SUSUMU OHMI et al. (2446)
SPONTANEOUS ELIMINATION OF A URINARY STONE AFTER APPENDECTOMY REPORT OF TWO CASES.....	SHOJI KURITA et al. (2452)
THE RETROPERITONEAL HEMATOMA MISDIAGNOSED AS A SCHLOFFER TUMOR	SUSUMU OHMI (2455)
PILONIDAL DISEASE, A BRIEF REVIEW OF LITERATURE.....	YUICHI KAWAMURA (2458)
A CASE OF LIGULA MANSONI FOUND IN THE RIGHT THIGH.....	KOKI ABE (2462)
A CASE OF THE SEPARATE NEURAL ARCH INVOLVING CONTINUED THREE LUMBAR VERTEBRAE.....	YOSHINORI KOBAYASHI (2465)
A HISTOLOGICAL STUDY ON THE INNERVATION OF THE PARATHYROID GLAND	YOSHIO SUGIURA (2481)
EXPERIMENTAL STUDIES ON THE CARDIOVASCULAR REFLEX FROM THE PERICARDIUM.....	SHUICHI KAWABATA (2498)
EXPERIMENTAL STUDIES ON CONSTRICTIVE PERICARDITIS: ELECTROCAR- DIODIAGRAMS AND MYOCARDIAL HISTOLOGIC CHANGES.....	RYUJI SAITO (2527)
THE EXPERIMENTAL STUDIES ON THE CHEST WALL REPLACEMENT WITH POLYVINYL FORMAL SPONGE	TATSUO KINOSHITA (2560)
STUDIES OF THE RELATIONSHIP BETWEEN MUCOSAL CHANGES OF SURGI- CALLY RESECTED STOMACHS AND THE POLAROGRAPHIC PROTEIN WAVE IN GASTRIC JUICE.....	HIDEYUKI SHINOHARA (2582)
STUDIES ON THE GASTRIC JUICE PROTEIN (PART I)	MAMORU KAKEI (2603)
STUDIES ON THE GASTRIC JUICE PROTEIN (PART II)	MAMORU KAKEI (2621)
HISTOCHEMICAL STUDIES ON CHOLINESTERASE IN PACINIAN CORPUSCLES	KASUYOSHI SUZUKI (2643)
EVALUATION BY MEANS OF GAS ANALYSIS, ON THE MEANING OF INTRA- VENOUS LIPID INTAKE.....	FUMIO NODA (2653)
EXPERIMENTAL STUDIES ON THE FAT METABOLISM BY THE USE OF RADIOACTIVE PHOSPHORUS	SHOZO FUJINO (2668)
ILL EFFECTS OF NARCOTICS AND CONVULSIVE DRUGS ON THE PARESIS RESULTANT FROM REMOVAL OF THE CEREBRAL MOTOR CORTEX...	RYUZO YAMAMOTO (2687)
HISTOLOGICAL CHANGES OF THE DIENCEPHALON IN CASES OF BRAIN TUMORS ASSOCIATED WITH THE PROLONGED UNCONSCIOUSNESS.....	KEIZO OTANI (2697)
STUDIES BY Nauta's SELECTIVE SILVER IMPREGNATION METHOD ON DEGENERATING AXONS IN THE CENTRAL NERVOUS SYSTEM IN THE EXPERIMENTAL CONCUSSION.....	HISASHI NAGASAKI (2718)
THE ENDOCRINOLOGICAL EFFECT OF THE AUTO-GRAFT OF THE HYPOPHYSIS INTO THE NEIGHBORHOOD OF THE SELLA TURCICA ON HYPOPHYSEC- TOMIZED RATS.....	ATSUSHI YOSHIKANE (2733)
ON ELECTROENCEPHALOGRAPHICAL AND HISTOLOGICAL CHANGES OF THE MOTOR COTEX AFTER THE MEDULLARY PYRAMIDOTOMY	YUKIO OCHI (2748)
ILL-EFFECTS OF INTRATHECAL INJECTION OF CERTAIN IODINE CONTRAST MEDIA ON THE MENINGES AND NERVOUS TISSUE.....	YOSHIHIKO OTSU (2761)
THE EXPERIMENTAL STUDIES ON THE DIAPHRAGMATIC REPLACEMENT WITH POLYVINYL FORMAL SPONGE	TATSUO KINOSHITA et al. (2778)
EXPERIMENTAL STUDIES ON MICRORADIOAUTOGRAPHY USING RADIOACTIVE PHOSPHORUS (P^{32}) IN NEOPLASTIC DISEASES OF THE BREAST IN	

MICE.....	SHIN-ICHI MISE (2782)
STUDIES ON URINARY EXCRETION IN PATIENTS WITH NEOPLASTIC	
DISEASES OF THE BREAST.....	AKIRA MATSUI (2803)
EXPERIMENTAL STUDIES ON FAT METABOLISM FROM THE VIEWPOINT OF	
OPSONIN PRODUCTION IN THE BLOOD	KOSAKU NISHIMURA (2820)
FLUORIMETRIC DETERMINATION OF CATECHOLAMINES IN URINE.....	
.....	AKIRA SUGITANI et al. (2834)
STUDIES ON THE OBSTACLE IN THE HOMOTRANSPLANTATION OF THE	
KIDNEY.....	KEIJI SASAKI (2844)
STUDIES ON THE NINHYDRINE REACTION OF GASTRIC JUICE	MAMORU KAKEI (2868)
A ATYPICAL CASE OF THE HAND-SCHULLER-CHRISTIAN'S DISEASE.....	
.....	AKIRA NONOYAMA et al. (2872)
A CASE OF CONGENITAL ATRESIA OF THE BILE DUCT.....	MASUO OGAWA et al. (2876)
A CASE OF PERFORATION CAUSED BY JEJUNAL RETICULOSARCOMA.....	TADAYOSHI ODA (2880)
A CASE OF RECTOVESICAL FISTULA CAUSED BY AN INGESTED DENTURE	
.....	SUMIYASU SEIKE et al. (2883)
A CASE OF CONGENITAL HYDRONEPHROSIS.....	KEIJI SASAKI et al. (2886)
TWO CASES OF FILARIASIS IN APPEARANCE OF ANOTHER SURGICAL	
DISEASES	YASUO MURAYAMA (2889)
GLOMUS TUMOR AND GRANULOMA OF THE FINGER TIP.....	HIROAKI TAHARA et al. (2893)
THE EXPERIMENTAL STUDY ON THE RELATIONSHIP BETWEEN THE GAS-	
TRIOINTESTINAL MOTILITY AND THE ABSORPTION OF FAT AFTER	
GASTROINTESTINAL SURGERY, USING I ³¹ LABELED OLIVE OIL.....	KOSAKU MASUDA (2897)
A STUDY ON THE INNERVATION OF THE MACULA CRIBRIFORMIS IN THE	
DIAPHRAGMATIC PERITONEUM OF THE RABBIT.....	FUMIHIKO MAKI (2920)
PHYSIOLOGIC STUDIES ON THE VASCULAR SENSIBILITY.....	KENGO TSUNEKAWA (2932)
ELECTROMYOGRAPHIC STUDIES ON THE VISCERO-MOTOR REFLEXES.....	
.....	KENGO TSUNEKAWA (2949)
LIGATION OF HEPATIC ARTERIES AND COLLATERAL ARTERIAL CIRCULA-	
TION IN DOGS.....	MINORU ISHIGURO (2964)
STUDIES ON RELATIONS BETWEEN INSULIN SENSITIVITY AND LIVER GLY-	
COGEN IN TOTALLY DEPANCREATIZED DOGS.....	EIICHIRO YAO (2992)
EXPERIMENTAL STUDY ON THE NUTRITIONAL SIGNIFICANCE OF FAT FROM	
THE VIEW-POINT OF ITS EFFECTS ON THE LIVER GLYCOGEN CON-	
TENT	SUSUMU MATSUDA (3008)
INFLUENCE OF INTRAVENOUS INFUSION OF SESAME OIL EMULSION ON	
FLUID DISTRIBUTION.....	AKINORI TAMAKI (3028)
CHEMOANALYTICAL INVESTIGATION BY FATTY ACID PAPER CHROMATO-	
GRAPHY IN SOME TISSUES.....	YASUTAKA MAKI (3043)
A HISTOLOGICAL STUDY OF SENSORY NERVES IN THE SPLEEN.....	KIYOSHI FUJII (3073)
A PATHOLOGICAL STUDY ON THE ILEOCECAL LYMPHADENITIS, ESPECI-	
ALLY ON THE CHANGE OF NERVES.....	FUMIHIKO MAKI (3085)
THE SEXUAL DEVELOPMENT OF MALE CHICKENS WITH A PIECE OF LAMI-	
NARIA INSERTED IN THE DIENCEPHALON.....	MINORU TANAKA (3097)
EXPERIMENTAL STUDY ON THE FUNCTIONAL DISTURBANCES DUE TO CERE-	
BRAL EDEMA	KOICHI SAKAI (3121)
EXPERIMENTAL STUDIES ON THE FUNCTIONAL RECOVERY AFTER THE	
ANASTOMOSIS OF THE SEVERED VAGUS.....	MINORU TANAKA (3139)
CLINICAL STUDIES ON OSTEOCHONDROSIS CERVICALIS.....	KEIZO ANDO (3157)

- EXPERIMENTAL STUDIES ON THE RELATIONSHIP BETWEEN MAMMARY
TUMORS AND THE THYROID GLAND.....KAZUO KANOMI (3197)
- ENDOCRINOLOGICAL STUDIES ON NEOPLASTIC DISEASE OF THE BREAST IN
THE LIGHT OF THE EXCRETION OF URINARY PREGNANEDIOL.....KOJI NISHIBE (3199)
- EXPERIMENTAL STUDY ON THE RELATIONSHIP BETWEEN THE NEOPLASTIC
DISEASES OF THE BREAST AND THE SEXUAL HORMONES IN INBRED
MICE SATOSHI YOKOYAMA (3215)
- A CONTRIBUTION TO THE CHEMICAL ASSAY METHOD OF SEXUAL HOR-
MONES IN THE BREAST TISSUEJOJI MIHARA (3243)
- A HISTOCHEMICAL STUDY ON THE TUMORS OF THE MAMMARY GLAND
OF MICE GENYU TOTANI (3259)
- ENDOCRINOLOGICAL STUDIES ON NEOPLASTIC DISEASES OF THE BREAST
IN THE LIGHT OF THE FRACTIONATION OF URINARY 17-KETOSTE-
ROIDS.....TAISUKE KURODA (3279)
- EFFECT OF ANTERIOR PITUITARY HORMONES ON FAT METABOLISM.....
.....HIROMI MATSUMOTO (3298)
- EFFECTS OF INTRAVENOUS INFUSION OF FAT ON WOUND HEALING.....
..... MASAHIKO KURATA (3313)
- ELECTRON MICROSCOPY OF THE PACINIAN CORPUSCLE IN THE CAT ME-
SENTRY, ESPECIALLY OF ITS DEVELOPMENTSHINZO HONDE (3330)
- THE CHANGES OF THE GASTROGRAMS AND THE GALVANIC SKIN REFLEXES
GSR BY PHOTIC AND ACOUSTIC STIMULATIONS IN CASES OF GASTRIC
DISEASES, ESPECIALLY OF GASTRIC ULCER AND CANCER.....CHIANG LIANG LIN (3348)
- EXPERIMENTAL AND CLINICAL OBSERVATIONS ON THE METHOD FOR RE-
PLACING THE ESOPHAGUS BY A REVERSED GASTRIC TUBE, WITH
SPECIAL REFERENCE TO THE SIGNIFICANCE OF SPLENECTOMY IN
THIS PROCEDURE YUTAKA MATSUI et al. (3376)
- STENOSIS OF THE AQUEDUCT OF SYLVIVUS DUE TO ITS DEVELOPMENTAL
ANOMALY: REPORT OF TWO CASES.....HIDENARI TAKASAN (3386)
- EPILEPSY WITH AN AURA OF ABDOMINAL PAIN, REPORT OF A CASE.....
.....TOKUJI NOGAWA (3391)
- FOUR CASES OF SO-CALLED MONDOR'S DISEASE.....SHINICHI MISE et al. (3395)
- INTESTINAL RUPTURE AND POSTOPERATIVE HYPOPROTEINEMIA.....TOKUJI NOGAWA (3399)
- A CAECAL NECROSIS DUE TO MESENTERIC ARTERY EMBOLUS REPORT
OF A CASE.....MITSUO TSUKUDA et al. (3401)
- NEUROHISTOLOGICAL STUDY ON NORMAL AND PATHOLOGICAL THYROID
GLANDS..... MASANOBU OKAMOTO (3411)
- THE EFFECTS OF INTERRUPTION OF THE HEPATIC ARTERY ON THE
OXYGEN CONTENT OF THE PORTAL BLOOD IN ASCITIC DOGS
..... KAZUYASU ADACHI (3430).
- A NEUROHISTOLOGICAL STUDY OF NORMAL AND PATHOLOGICAL ADRENAL
GLANDS..... TAKASHI AOKI (3449)
- A NEURO-HISTOLOGICAL AND NEURO-PATHOLOGICAL STUDY OF THE
PANCREAS..... HITOSHI OSHIMA (3471)
- THE TRANSPLANTATION OF AUERBACH'S PLEXUS IN THE SMALL INTESTINE
OF A DOG TO THE BLADDER WALL AND OVARY, AND A NEURO-
HISTOLOGICAL STUDY ON THE ATTITUDE OF THE TRANSPLANTED
GANGLION CELLS IN THE PLEXUSGENZO NOMURA (3488)
- CLINICAL AND EXPERIMENTAL STUDIES ON RECIPROCAL ACTIONS
BETWEEN ORGAN AND SKIN, ESPECIALLY FROM THE VIEWPOINTS

- OF ELECTRICAL SKIN RESISTANCE AND SKIN TEMPERATURE...SUSUMU NAKANO (3503)
- ELECTROMYOGRAPHIC STUDIES ON THE VISCERO-MOTOR REFLEXES.....SEIZO KOZAKO (3545)
- COMPARATIVE STUDY ON THE MORPHOLOGICAL STRUCTURE OF PERIPHERAL
NERVE FIBERS, WITH USE OF PHASE CONTRAST MICROSCOPE AND
WITH SILVER IMPREGNATION METHOD.....HIROSHI OKAWA (3564)
- NEUROHISTOLOGICAL STUDY OF BENIGN TUMORSTADASHI YOSHINO (3590)
- EXPERIMENTAL STUDIES ON LIVER FUNCTION AND HISTOCHEMICAL
CHANGES IN MICE WITH MAMMARY TUMORS.....HIROSHI HAYASHI (3613)
- ENDOCRINOLOGICAL STUDIES ON THE EXCRETION ON TOTAL 17-HYDROXY-
CORTICOIDS IN URINE OF THE PATIENT WITH NEOPLASTIC DISEASES
OF THE BREAST.....HITOSHI SOEJIMA (3633)
- THE END PLATE OF SKELETAL MUSCLES WITH SPECIAL REFERENCE TO
ITS NUCLEIKAKITU INOUE (3654)
- EXPERIMENTAL STUDIES ON REGENERATION OF MOTOR NERVE ENDINGS
IN SKELETAL MUSCLES.....KAKITU INOUE (3661)
- EXPERIMENTAL STUDY ON THE SIGNIFICANCE OF FLUCTUATION OF
ASCORBIC ACID SUBSEQUENT TO PARENTERAL ADMINISTRATION OF
FATCHI CHIEN HSU (3682)
- AN EXPERIMENTAL STUDY ON THE HEPATOGENIC REFLEXESJUN OKINO (3694)
- STUDIES ON HISTOLOGICAL APPEARANCE OF THE NEOPLASTIC DISEASES
OF THE BREAST WITH WHOLE-TISSUE SECTION.....TERUO SATO (3727)
- THE EXPERIMENTAL STUDY ON PREVENTION OF THE INTRA-PERITO-
NEAL ADHESIONTAKASHI MAKARI (3757)
- THE EXPERIMENTAL STUDY ON THE ABSORPTION IN INTESTINAL OBSTRU-
TION USING RADIOISOTOPESNOBORU MIYATA (3777)
- THE EXPERIMENTAL STUDY ON THE CONCENTRATION OF PLASMA
CATECHOLAMINE IN VARIOUS STATES BY WEIL-MALHERBE AND
BONE'S METHODAKIRA SUGITANI (3793)
- A CASE OF SIALOLITHIASIS.....ATSUSHI YOSHIKANE et al. (3808)
- CYSTOSARCOMA PHYLLODES MAMMAE, REPORT OF A CASE...SOICHIRO KINOSHITA et al. (3810)
- GIANT TUBERCULOMA OF LYMPH GLAND IN GREAT OMENTUM: REPORT OF
A CASE.....KENZO TAKEUCHI et al. (3816)
- VOLVULUS OF THE CECUM.....HIDEO KISHIMOTO et al. (3820)
- A CASE OF THE BILATERAL URETERO-ILEOCYSTOSTOMY BY THE FORET
METHOD.....SUSUMU OHMI et al. (3826)

INDEX OF VOLUME 28

A

abdomen, blood vessel	1560
Abe, K.	2462
aberrant accessory pancreas	2429
About-Rowson tube	1011
abortive fetus	1237
absorption of fat	2897
absorption of protein	205
Adachi, K.	3430
Adachi, M.	2442
adrenalectomy	1911
adrenal gland	3449
almina cream, experimental epilepsy	1047
alpha ketoglutaric acid	1631
Alveolarzellkrebs	2398
Amanuma, F.	285
amputatio recti	1035
anal sphincter	1035
anastomosis between lower thoracic and lumbar or sacral nerve	1734
anastomosis between vagus and facial nerve or hypoglossal nerve	904
anastomosis of severed vagus	3139
Ando, Kei.	3157
Ando, Kyo.	2381
aneurysma dissecans	676
anoxia upon brain	1991
anterior lobe of hypophysis	432
anterior pituitary	137, 721, 3298
antethoracic esophageal reconstruction	2222
antethoracic esophago-gastrostomy or-jejunostomy	1766
antibiotic on colon anastomosis	2050
antibiotic on interruption of intestinal arterial flow	2075
anticancer agent	2351
anular pancreas	294
Aoki, T.	3449
appendectomy	2452
appendicitis, perforated	1497
appendicitis, hyperaesthetic zone	1887, 2442
appendico-tubal fistula	2434
aqueduct of Sylvius, stenosis	3386
aqueductus mesencephali, experimental obstruction	2139
Arai, S.	294
arrest reaktion	1696
Argyll-Robertson pupil, experimental production	2128
aseptic bone necrosis	2375

ascites hepatoma	1313
ascorbic acid	3682
Auerbach's plexus, transplantation	3488
aura, abdominal pain	3391
auto-graft of hypophysis	2733
autonomic fiber in peripheral nerve	2314
autonomic nerve, skeletal muscle	2296
autonomic periphery innervation of proc. vermiformis	2258

B

benign tumor, neurohistology	3590
bile and bacterial infection, reflux esophagitis	2002
bile duct, congenital atresia	2876
biopsy, lung, left auricle	1435
bladder, regeneration	825, 1917
blood lipid component	920
blood liquor barrier	1292
blood transfusion	979
bösartiger Geschwulst	1580
brain, anoxia	1991
brain, cerebral palsy	248
brain, glioma	2381
brain, malformed fetus	1520
brain, tumor	2697
brain, tumor-tissue emulsion	1826
breast, cancer	2403
breast, neoplasm	1784, 2782, 2803, 3199, 3215, 3243, 3279, 3727
bronchogenic cyst	2394
Bürger's disease	649
burn	257, 614
butter yellow	560

C

caecal necrosis	3401
cancer of breast	2403
capitulum humeri, aseptic necrosis	2375
carcinoma, parotid gland	994
carcinoma, rectum	297, 301
cardiopericardiopexy	664
cardio-pneumonopexy	261
cardiovascular reflex	2498
catecholamine, in plasma	3793
catecholamine, in urine	2834
central gray matter, midbrain	1511
central nervous system, in concussion	2718
cerebral cortex	325
cerebral edema	3121

cerebral, hemisphere, cystic tumor	1264
cerebral, mortorcortex, removal	2687
cerebral, palsy	248
chest wall replacement	2560
chirrhosis of liver	1127, 1147
choleodochojejunostomy	759
cholesteatoma	645
cholesterol metabolism	1645
cholinesterase, in Pacinian corpuscle	2643
cholioepithelioma	680
chorionic gonadotropin	158
closed transventricular valvulotomy	670
collateral arterial circulation, hepatic artery	2964
colon anastomosis, antibiotic	2050
coma	1, 25
coma, induction	1511
concussion, central nervus system	2718
congenital atresia, bile duct	2876
congenital hydronephrosis	2886
consciousness	25
constrictive pericarditis	1666, 2527
convulsive drug	2687
coronary insufficiency	261, 736, 1067
cosmetic operation, breast	660
cutis adenoma	657
cystic tumor, in cerebral hemisphere	1264
cystosarcoma phyllodes	3810

D

Date, M.	1932
degenerating axon in central nervous system	855
depancreatized dog, completely	1613, 2992
diaphragmatic peritoneum	2920
diaphragmatic replacement	2778
diabetes, experimental	937, 2157
diencephalon, in brain tumor	2697
diencephalon, laminaria inserted	3097
Dogura, I.	1384, 1923, 1936, 1987
duodenal cancer	2429
duodenal diverticula	1487
duodenal stenosis, cause	1016
duodenal stenosis, superior arteriomesenterial	987
duodenal tuberculosis	1962
duodenal ulcer	1480
duodenal wall	1334
dura-skull-scalp defect	1923

E

electrical skin resistance	3503
----------------------------------	------

elective cardiac arrest	371
electrocardiogram	1447, 2527
electroencephalography after medullary pyramidotomy	2748
electromyographic study	2748, 2949, 3545
electron microscope, pro. vermiformis	2258
electron microscope, Pacinian corpuscle	3330
electron microscope, peripheral nerve	1396
electrophysiological connection, brain	325
Elsberg-Dyke's curve	1890
encephalomyelopathy	82
endocrine organ	113
endocrinological study, mammary tumor 3199, 3279, 3633	
endocrinological study, ovotestis	1029
enzymological study, polymyositis, polyosteomyelitis	1384
enzymology, polymyositis	2325
epilepsy	3391
Esa, K.	227, 1487
esophageal catheptase	2002
esophageal replacement	2246, 3376
estrone and estradiol, in urine	1784
exstrophy of bladder	700

F

fascia and skin free grafting	1923
fat	184, 835, 937, 3008, 3313, 3682
fat emulsion	1356, 1645
fat metabolism	1178, 1631, 1811, 2668, 2820, 2897, 3298
fatty acid in human and cow milk	1807
fatty acid paper chromatography	3043
fatty liver	1613, 2028
female hydrocele	702
filariasis	2889
fibromyoma, stomach	291, 1955
fibrosarkoma, fascia	1936
fluid distribution	3028
fluorimetric determination, catecholamine	2844
Foret method	3826
Fujii, K.	3073
Fujino, S.	2668
Fujita, H.	1826
Fujita, R.	877
Fujiwara, N.	2325

G

gallbladder	759
gallbladder, torsion	1495
galvanic skin reflex	3348
gas analysis, lipid intake	2653

gastrectomy	1011
gastric cancer	1334
gastric disease	3348
gastric juice	2582
gastric juice, protein	2603, 2621
gastric juice protein, ninhydrin reaktion	2868
gastric phlegmon	1470
gastro-enterostomy	467
gastrointestinal, hemorrhage	288
gastrointestinal, motility	2897
gastrointestinal, movement	205
gastrointestinal, surgery	2897
gastrogram	3348
glial anomaly	1221
glial cell	1237
glioma	1520, 2381
glomus tumor	2893
greater omentum	1966, 3816
granuloma, appendico-tubal fistula	2434
granuloma, in finger	2893

H

Hakoda, M.	345
Hanafusa S.	1356
Hand-Sehüller-Christian's disease	2872
Haneda, Y.	721
Harada, N.	825, 1917
Hashimoto, disease	280, 1932
Hashino, H.	1011
Hayashi, H.	3613
Hayashi, T.	394
head injury	56, 394, 877, 1278, 1719
hemophilic joint	317
hemorrhage, stomach	1006
hepatic artery, ligation	2964, 3430
hepato-enterostomy	777
hepatogenic reflex	3694
hepatoma	560
hepatorenal system-complex, infection	1751
hermaphroditism	1029
Iligasa, Y.	835
histochemical study	3259
homotransplantaion, of kidney	2844
Honde, S.	3330
Hori, S.	516
Horio, S.	697
Hosono, K.	1127
Hsu, Chi Chien	3682
17-hydroxycorticoid	3633
hyperaesthetic zone on appeudicitis	1887
hyperpyrexia	997
hypophysectomized rat	2733
hypophysis	113, 2733

hypoproteinemia, post operative	3399
---------------------------------------	------

I

I ¹³¹ labeled olive oil	2897
Ido, N.	416, 426
Iihara, K.	1091, 1099
Ikegami, K.	467, 657, 1023, 1443, 1951
ileocecal granuloma	1023
ileocecal lymphadenitis	3085
Imai, T.	113
immunogens	227
immunologic effect, Walker's tumor	1826
immunologic effect, Yoshida sarkoma	516
impedin phenomenon	560
inflammatory tumor, greater omentum	1966
infundibuloma	1903
inguinal hernia	306
inoculation tuberculosis	1987
Inoki, K.	560
Inoue, K.	3654
Inoue, M.	2193
Inoue, T.	1580
insulin	1613, 2028, 2992
intestinal arterial flow, interruption	2075
intestinal cystic emphysema	687
intestinal obstruction	3777
intestinal rupture	3399
interruption, arterial flow to liver	1112
intervertebral disc herniation	1429
intracranial calcification, traumatic	1443
intracranial metastatis, ascites hepatoma	1313
intraperitoneal adhesion	3757
invagination, in baby	1497
iodine contrast media, intrathecal injection	2761
iodized-oil-ventriculography	82
Irie, Y.	2398
irradiation	1221
Iseda, Y.	306, 1492
Ishiguro, M.	2964
Ishii, S.	1903
Itani, K.	291, 802, 1983
Ito, T.	645

J

jejunal intussusception	1011
jejunal reticulosarkom, perforation	2880

K

Takei, M.	2603, 2621
Kamiishi, H.	1925
Kanazawa, Y.	687

Kaneda, K.	1264
Kanomi, K.	3197
Kataoka, Z.	1751
Kawabata, S.	2498
Kawamura, Y.	2458
Keio University, spinal tumor.....	1456
kidney, homotransplantation.....	2844
Kikuchi, A.	1461, 1811
Kimura, C.	1911
Kimura, M.	2204
Kinoshita, S.	3810
Kinoshita, T.	2560, 2778
Kishimoto, H.	2417
kissing ulcer	1465
Kita, H.	855
Kitahaba, T.	1560, 2414
Kitajima, S.	2157
Kobayashi, Y.	2465
Kogame, K.	1696
Kojima, T.	82, 274
Kotera, T.	2314, 2375
Kozako, S.	3545
Kuma, T.	966
Kurata, M.	3313
Kurita, S.	1784, 2452
Kuroda, T.	3279

L

large blood vessel, innervation	1560
left auricle in mitral stenosis.....	1435
leiomyoma, stomach	1947
leucin	113
Lin, C. L.	3348
Lingula mansonii	2462
lipid intake, intravenous	2653
lipoprotein, serum	920
liquor fistula	1925
liver, interruption of arterial flow.....	1112
liver abscess	1980
liver adenoma	684
liver cancer	1980
liver cirrhosis.....	1976
liver function, constrictive pericarditis	1666
liver function, mammary tumor.....	3613
liver glycogen.....	2992, 3008
lobectomy.....	680
lower brain stem	25
lumbar sympathectomy	649
lumbar vertebral, separate neural arch.....	2465
lung abscess	285
lung, fat metabolism.....	1811
lung, hypertrophy of mamma.....	2403
lung, mitral stenosis	1435

luxatio coxae congenita	1899
-------------------------------	------

M

macula cribriformis	2920
Madlena's operation.....	1026
Maeda, T.	1197, 1973
Majima, M.	1766
Makari, T.	3757
Maki, F.	2920, 3085
Maki, Y.	3043
malformed brain	1221
malformed fetus	1237, 1520
malignant melanoma	638
malignant tumor	499, 2434
mamma, hypertrophy.....	2403
mammary cancer, mouse	1595
mammary tumor	721, 3197, 3259, 3613
Masuda, K.	2897
Matsuda, S.	3008
Matsui, A.	2803
Matsumoto, H.	3298
Matsumura, H.	56
Matsumura, M.	1
Matsuo, Y.	2002, 2246, 2438, 3376
Matsuoka, S.	2351
mediale scalene muscle, fibrosarcoma.....	1936
medico-legal autopsy	1278
medullary pyramidotomy	2748
meningeal iodine contrast media	2761
meningeal reflex	2181
meningo-ventricular system	1292
Menjo, T.	1666
mesencephalic central gray matter	325
mesenteric tumor	1973
mesenteric artery embolus	3401
Meissner's corpuscle, Pacinian corpuscle	3330
microglia	416, 426
microradioautography, breast.....	2782
mid brain, coma	1511
Mihara, J.	3243
Mise, S.	2782, 3395
Misho, M.	1501, 1966
mitral commissurotomy	997
mitral stenosis	607, 1435
mitral valve surgery	1447
Mitsuda, H.	2391
Miyata, N.	3777
Mondor's disease, so-called.....	3395
Mori, K.	1047
Moriyasu, H.	25
motor cortex after medullary pyramidotomy	2748
movable elongated sigmoid colon	987

mucoepidermoid carcinoma, parotid gland	994
multiple myeloma	1480
Murayama, Y.	2889
muscle, autonomic fiber	2314
muscle-spindle	2279
myelographic accuracy	1429
myocardial infarction	455, 664
myocardial histology	2527

N

Nagasaki, H.	2718
Naito, Y.	205
Nakamura, K.	736
Nakamura, T.	325, 638
Nakano, S.	3503
narcotic drug	2687
Nauta's selective silver impregnation	855, 2718
neoplastic disease, breast	1784, 2782, 2803
nervous tissue, iodine contrastmedia	2761
neuropathological study, Yoshida sarkoma	345
Neuropathologie, bösartiger Geschwulst	1580
neurosekretory response, to head injury	1719
neurosekretory study, on experimental diabetes	2157
nicotization, coma	1
ninhydrine reaction	2868
Nishibe, K.	3199
Nishida, S.	1026
Nishimoto, K.	301
Nishimura, Kaz.	1039, 1470, 1480
Nishimura, Kos.	2820
Noda, F.	2410, 2653
Nogawa, T.	2181, 3391, 3399
Nomura, G.	3488
Nonoyama, A.	1002, 2872
Numbu, M.	1719

O

Obayashi, K.	499
Occipital region, heteroplastic osteoma	2391
Ochi, Y.	2748
Oda, T.	1511, 2880
Ogata, T.	1447, 1947
Ogawa, M.	2876
Ogawa, S.	1991
Ogino, S.	261, 607
Ohmi, S.	1396, 2446, 2455, 3826
Okamoto, M.	3411
Okawa, H.	3564
Ogi, K.	288
Okino, J.	1887, 2434, 3694
Onishi, H.	920

Open heart surgery	371
Opsonin in blood	1811, 2820
Organaffinität, bösartiger Geschwulst	1580
Oshima, H.	3471
Oshitani, T.	2028
osteocondrosis cervicalis	3157
osteoma, heteroplastic	2391
Ota, G.	313, 1899
Otani, H.	1595
Otani, K.	2697
Otsu, Y.	2761
ovarial cyst	697
ovarian hemorrhage	2442
ovarian pregnancy	1026
ovotestis	1029
Oya, H.	257, 614

P

P ₃₂	966, 2668, 2782
Pacinian corpuscle	2643, 3330
pancreas, aberrant accessory	2429
pancreas, neurohistology, neuropathology	3471
pancreatectomy	2028
pancreatic cyst	1002
paper chromatography, fatty acid	1178, 1807
paraplegia	1734
parathyroid gland	2481
paraventricular nucleus	2157
parotid gland	994
pathologic fracture	706
Payr's disease	987
penicillin	227, 1987
penicillin shock	308, 1461
pericardium	2498
peripheral nerve, electron microscopy	1396
peripheral nerve, evolution	1178, 1807
peripheral nerve, innervating muscle	2314
peripheral vascular reflex	1743
peritoneal absorption of particular matter	802
peritoneal cavity, anticancer agent	2351
peritonitis fibrosa encapsulata	2417
phagocyte, brain	416, 426
phagocytosing carmin	416
phagocytosing fat	426
phase contrast microscope	3564
phytozoar	2414
pilonidal disease	2458
pineal body	432
pineal teratoma	2108
pinealoma	2108
plasmin	487
plasmocytoma	1480
plastic injection method	467

polarographic protein wave, gastric juice	2582
polydaktylism	1551
polymyositis	1197, 1384, 2325
polyosteomyelitis	1197, 1384
polyvinyl formal sponge	2246, 2560, 2778
pontine epilepsy	1047
portal blood	3430
posterior spinal caries	313
precocious puberty	158
primary aldosteronism	1911
proc. vermiformis, electron microscope	2258
pulmonary edema	2204
pulmonary gangren	1492
pulmonary stenosis	670
pyothorax	1492

R

radioactive iodocasein	205
radioactive phosphorus	966, 2668, 2782
radioisotope	3777
reciprocal action between organ and skin	3503
rectovesical fistula	2883
rectum, carcinoma	297
rectum, endothelioma	2438
reflux esophagitis	2002, 2087
renal calculi, bilateral giant	1039
renal hematuria	2446
reticulosarkoma, jejunum	2880
reticulosarkoma, stomach	1475
reticulosarkomatosis	1475
retroperitoneal hematoma	2452
retroperitoneal tumor	2421
reversed gastric tube	3376
rose	1020

S

Saito, R.	2527
salivary gland tumor	652
Sakamoto, K.	684
Sakurai, T.	2279
sarcoma, stomach	1951
Sasaki, Kaz.	690, 997
Sasaki, Kei.	2844, 2886
Sasaki, Koi.	3121
Sato, T.	660, 3727
Satomura, K.	937
Schloffer tumor	2455
Seike, S.	2883
Sekiya, S.	1495
sensory nerve, spleen	3073
separate neural arch, lumbar vertebrae	2465
Sera, T.	987, 2403

serum hepatitis	979
serum transaminase	455
sesame oil emulsion	3028
Seto, K.	1976
sexhormon, on maus mammary cancer	1595
sexual developement	3097
sexual hormon	3215, 3243
Shibagaki, S.	777
Shimada, Y.	1645
Shimizu, H.	1334
Shimizu, S.	1743
Shinohara, H.	2582
shock, head injury	394
sialolithiasis	3808
sigmoid colon	1501
silver impregnation method	3564
skeletal muscle, endplate	3654
skeletal muscle, innervation	2296
skeletal muscle, regeneration of endigung	3661
skin temperature	3503
smooth muscle, proc. vermiformis	2246
Soejima, H.	3633
somatosexual developement	877
spinal artery	274
spinal column, tumor	1456
spinal cord, anterior horn cell	1551
spinal cord lesion	1734
spinal neurinoma	1929
spleen, sensory nerve	3073
splenectomy	3376
stomach, acute hemorrhage	1006
stomach, cancer	1334
stomach, fibrom	1959
stomach, fibromyoma	291
stomach, leiomyom	1947
stomach, mucosal change	2582
stomach, penetrated	1002
stomach, perforation in infant	1955
stomach, polyp	1939
stomach, reticulosarkoma	1475
stomach, sarkom	1951
stomach wall, communication between	
duodenal wall	1334
Sugimoto, Y.	702, 1006, 1020, 2429
Sugitani, A.	2834, 3793
Sugiura, Yoshio	2481
Sugiura, Yoshinobu	680, 1929
sulfonamide	1292
Suzuki, K.	2643
Suzuki, S.	979, 2391

T

tabetic arthropathy	706
---------------------	-----

Tahara, H.	2893
Takagi, H.	487
Takahashi, T.	248
Takasan, H.	2108, 3386
Takatsuki, H.	2087
Takayama, B.	1867
Takayama, H.	676, 1035
Takeda, H.	1959
Takeda, J.	1029
Takei, R.	1456
Takeuchi, A.	664, 1067
Takeuchi, K.	3816
Taki, Y.	1278
Takuma, K.	1955
Takuma, T.	1734
Tamaki, A.	3028
Tan, N.	1178, 1807
Tanaka, M.	3097, 3139
testicular tumor	1983
testosterone, in cancer of breast	2410
thalamus	1696
thoracotomy	288
thyroid gland	3197, 3411
Tobe, T.	184
total excision of all pelvic viscera en masse	301
Totani, G.	3259
Tsai, T. L.	1313
Tsuchida, S.	1890
Tsuchiya, R.	1147
Tsuji, H.	1939
Tsukada, M.	2222, 3401
Tsukazaki, Y.	1016
Tsunekawa, K.	297, 652, 994, 2421, 2932, 2949
tuberculoma, greater omentum	3816
tumor, appendage	306
tumor, cauda equina	645
tumor, spinal column	1456
tumor-tissue emulsion	1867

U

Uchida, M.	1292
Uchida, Y.	1475
Ukeda, Y.	649
Umebayashi, T.	2050, 2075
Unimoto, S.	1465
unconsciousness, prolonged	2697
Urabe, H.	1112
uretero-ileccystostomy, bilateral	3826
urethane, malformation	1520
urinary estriol	2803
urinary 17-ketosteroid	3279
urinary pregnanediol	3199

urinary stone	2452
urine, catecholamine	2834

V

vagotomy, pulmonary edema	2204
vagus, severed	3139
varicocele, round ligament of uterus	306
vascular nerve, in diabetic rabbit	1091
vascular sensibility	2932
venous pressure, in constrictive pericarditis	1666
ventriculography, iodized oil	82
Verschluss der vorderen Spinalarterie	274
viscero-motor reflex	2949, 3545
vitamin B ₁ -deficiency theory, polymyositis	2325
volvulus, cecum	3820
volvulus, sigmoid colon	1501

W

Watanabe, S.	280
Walker's tumor	1826
Wallerian degeneration	1396
Well-Malherbe and Bone's method	3793
Wilm's tumor	690
wound healing	3313

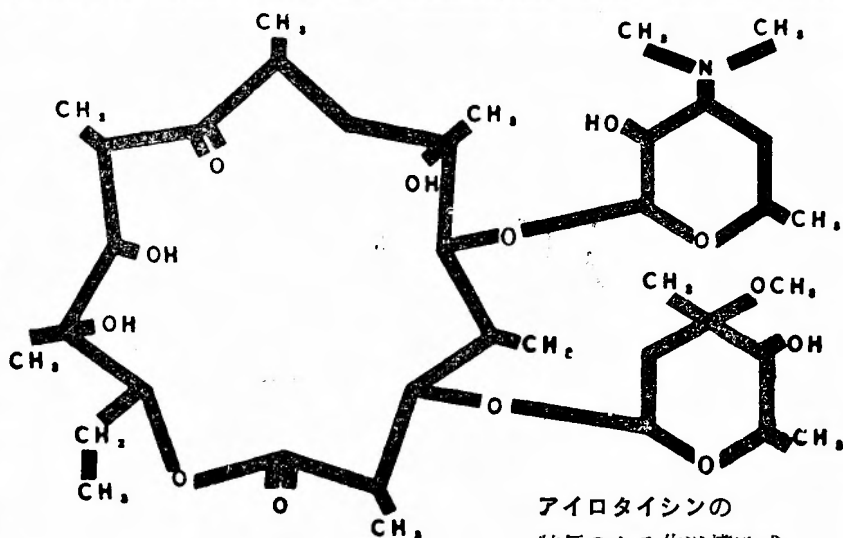
Y

Yamaki, R.	455, 1435
Yamamoto, R.	2687
Yamamoto, T.	2258
Yamamoto, Y.	1613
Yamazaki, N.	1520, 1551
Yamazoe, Y.	1221, 1237
Yanai, N.	2296
Yao, E.	2992
Yasui, M.	308
Yatabe, S.	706
Yokota, T.	432
Yokoyama, S.	3215
Yoshikawa, A.	2733, 3808
Yoshikawa, Shiyozi	158
Yoshikawa, Shigenobu	137, 700
Yoshida Sarcoma	345, 516
Yoshida, T.	759
Yoshimine, Y.	1429
Yoshino, T.	1497, 1962, 1980, 3590

Z

zinc metabolism, malignant tumor	499
--	-----

ILOTYCN



☆いわゆるbroad spectrum antibiotic の1ツで、種々の疾患に少量・短時間で奏効します。

☆特に、グラム陽性球菌（ブドウ球菌、レンサ球菌、肺炎球菌）には、他の抗生物質に見られない強い抗菌力を示します。

☆耐性菌が殆どなく、他剤に無効な場合にも著しい効果を示します。

☆ビタミン欠乏症、カンジダ症のおそれがなく、胃腸障害のような副作用も殆どない抗生物質です。

〔適応症〕 肺炎・気管支炎・扁桃腺炎・咽頭炎・百日咳・ジフテリア・猩紅熱・中耳炎・梅毒・淋疾・トラコーマ・皮膚化膿症・外科感染症など

〔剤 型〕 100mg錠（一般内服）懸濁用・点滴用（幼小児用甘味香料添加）静注用（緊急時）軟膏（皮膚科外用）眼科用軟膏・耳科用（ポリミキシンB配合）

耐性菌の少ない抗生物質

アイロタイシン

塩野義製薬株式会社



N° 9435

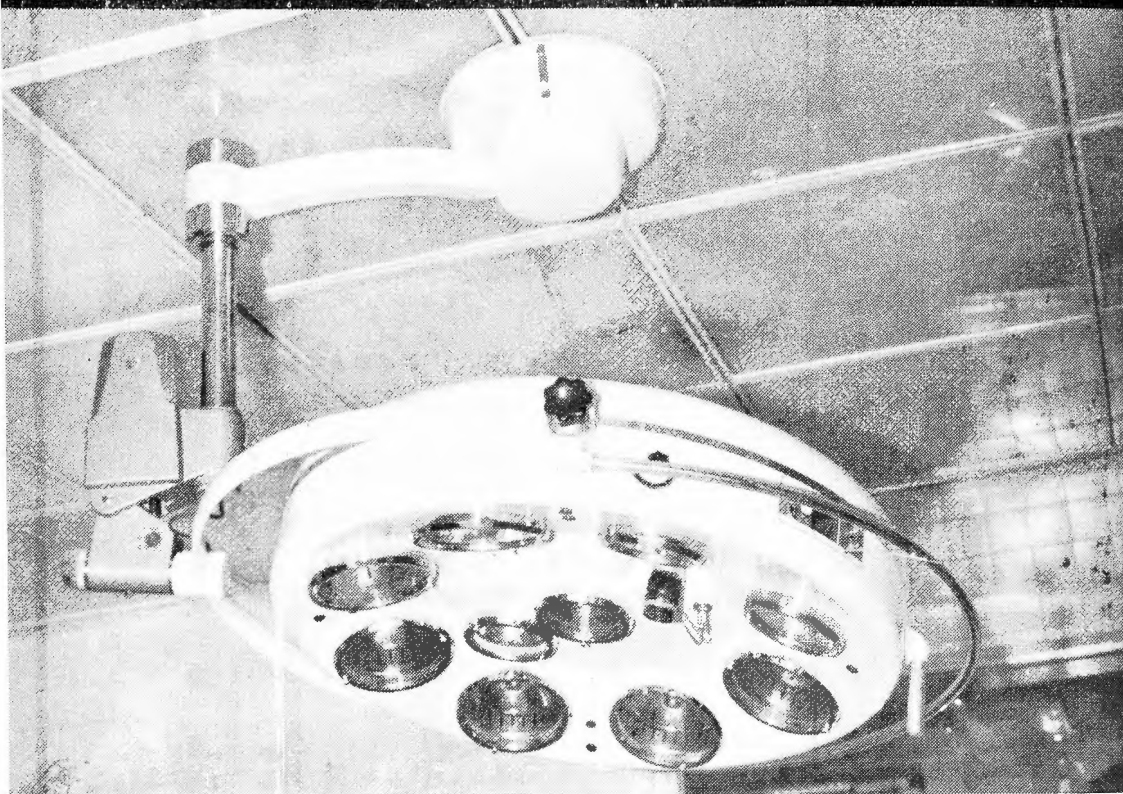
バランス オ マチック
BALANCE-O-MATIC
無影灯

CAMERA SKYLUX NECTAR

カメラ

スカイルックス

ネクター



バランス オ マチック
BALANCE-O-MATIC

(重錘無しの新型昇降装置及び操作機構)

を採用した、35^m/m写真撮影装置付、多灯式無影灯!!

- ① バランス オ マチックとは無影灯用の重錘無しの新型昇降装置と、新しい操作システムの事でスカイルックスネクターシリーズは全部此のシステムになって居ります。
- ② 灯部は、No. 935、カメラ スカイルックスと同様で、操作方法も変わりません。
- ③ ネクターの特徴は、バランス オ マチックである為、低天井の手術室に最適の大型無影灯である事です。
- ④ ネクターシリーズには、No. 941 灯径100cm, No. 941灯径90cm(以上九灯) No. 942 灯径70cm (7灯)があり、シネカメラ(16%)付No. 9416のシネスカイルックスネクターも製作して居ります。
- ⑤ スタイルは御存知の様なダイナミックなスマートさで、無影灯界のトップデザインです。

SKY
SHADOWLESS LAMP CO., LTD.

全国医科器械店取扱 カタログ拝見
山田 医療照明株式会社

東京都文京区湯島三組町24 TEL 83 5673・9635

肉芽創に……

新

健保適用

壊死組織融解剤

ナガーゼ

細菌・結晶プロテアーゼ製剤

- 枯草菌が生成する蛋白分解酵素である。
- 凡ゆる変性蛋白質を消化、溶解する。
- 確実な作用と優れた安定性に特長がある。

日本製造特許番号
210379

(作用) ①患部の化膿壊死組織の繊維素、表在性凝固物(痂皮)や凝血を速かに溶解するなどの化膿創の清浄作用。

②膿胸に於ける稠稠な粘液膿汁を液化して腔内を清浄にする。

その結果……③清浄な肉芽面や ④新鮮な肋膜面を露出して、その治療回復を促進する

(適応症) 一般外科、皮膚科…切断面、骨髄炎、空洞重傷、欠傷感染を伴う挫傷、骨折、血腫、疔、瘡等。
胸腔内領域…結核性膿胸、混合感染膿胸、手術後或は創傷後の血胸。

(包装) 1管中 10,000 P.U.N. 5管入(稀釈液 500 5管 添付)

文献贈呈

販売 長瀬産業株式会社医薬部 製造 帝国化学産業株式会社
大阪市西区立売堀南通一丁目七番地

各科領域で
賞用される

止血・血管強化—アドレノクローム剤

AC-17



田辺製薬

内因性出血の予防・治療

肺出血、胃腸出血、眼出血、痔出血、子宮出血
月経過多、歯槽出血

手術前後の出血及び溢血の予防・治療

アレルギー性疾患の予防・治療

疲労回復 凍瘡

[包装] 2cc (10mg) 10管・50管 [社会保健適用]
5cc (25mg) 静脈用10管・50管

アドナ(AC-17)

筋注用

アモバルビタルナトリウム

Isomyltal
M

健保新適用 筋注6点

イソミタルMは イソミタル
ソーダ（国民医薬品集アモバルビ
タルナトリウム）に特殊な水溶
剤を加えて安定とし かつ注射時
の疼痛をなくするため ベンジル
アルコールを加え無痛化した少容
量の筋注用製剤である。

〔適応症〕

各種原因の不眠症。神経衰弱。ヒステ
リー 緊張症 恐迫神経症。神経過敏症
興奮症。心的疲労復旧並びに気分転調。
手術後の不安・緊張・疼痛・苦悶。

〔包装〕

注射液 = (1 cc—0.1g) 5A, 10A, 50A

筋注用 催眠鎮静剤

イソミタルM注

日本新薬株式会社

京都市南区西九条八条下ル

東京・大阪・京都・札幌・名古屋・富山・福岡

・印刷と製本・

松崎印刷株式會社

京都市下京区油小路通松原上ル

電話 ⑤ 4717・4764 番

振替 京都 18747 番

投稿規定(昭.33.10.30改正)

○本誌は毎年1月, 3月, 5月, 7月, 9月及び11月の1日に発行する(年間6冊). 状況により臨時増刊を発行する.

○本誌予約購読者の原稿を掲載する.

○予約購読料は年額1,000円(送料を含む)とし, 分売は1冊200円とする.

○原稿の長さはおおよそ下記の限度とし, 和文原著には欧文表題, 欧文抄録, 欧文原著には和文表題及び和文抄録を添附されたい.

原著論文, 綜説, 臨床, 400字詰40枚以内(図表共)
症例報告, 研究速報, 400字詰15枚以内(図表共)

○原稿の当編輯室へ到達した日附を受付日とする.

○原稿の用語中, 固有名詞はすべて固有の文字を, 又数字はすべて算用数字を使用し, 日本語化した外国語は片かなでかく事. この際は「」不要.

○数量の単位は下記の例による

例, m, cm, mm, cc, kg, g, mg, °C, μ ,
%, pH, 等ピリオド不要

○原稿は横書とし新かなづかいを用いる事.

○欧文及び欧文抄録はタイプライターで記入され度
い.

○挿画, 曲線等は必ず白紙又は青線方眼紙に墨で清書し挿入位置を原稿に記入する事.

○図, 表, 写真等はすべて別紙に記入, 若しくは添附

し本文中には挿入個所のみ指定する事.

○原稿は完全なものとして御送附願いたい. 校正の際における加筆補正は認めない.

○引用文献は篇末に集め, 次の例による.

(氏名) (表題)
Beatson, G. T.: On the Treatment of Inoperable
(雑誌名)(巻)
Case of Carcinoma of the Mamma. Lancet, 2,
(頁)(年代)
104, 1896.

三宅 儀: 副腎皮質ホルモンの測定と臨床. 最新医学, 6, 766, 昭26.

○掲載料は実費として1頁1200円とし, 図表写真版等の費用は著者の実費負担とする. 但し症例報告に於ては3頁までは無料とし, 此れを越すものに対しては実費を徴収する. アート紙の使用, コロタイプ天然色図版の掲載等に関しても著者に於て実費を負担するものとする.

○症例に於て特に早く掲載を希望し掲載号を指定される方の掲載料は全額実費負担とする

○執筆者に於て別刷希望の方は, 寄稿と同時に希望数を附言せられたい別刷は実費を申し受ける.

○原稿は書留郵便で下記に送られたい.

京都市左京区聖護院川原町53

京都大学医学部附属病院外科学教室内

日本外科宝函編輯室宛

電 ⑦ $\left. \begin{array}{l} 4221 \\ 4111 \end{array} \right\}$ 構内 427の乙

昭和33年12月25日印刷

昭和34年1月1日発行

編輯兼発行者

京都市左京区聖護院川原町

青 柳 安 誠

印刷者

京都市下京区油小路松原上ル

松 崎 秀 雄

印刷所

京都市下京区油小路松原上ル

松崎印刷株式会社

京都大学医学部外科学教室

発行所

日本外科寶函編輯室

代表者

青 柳 安 誠

(振替口座京都3691番)

・ 印 刷 と 製 本 ・

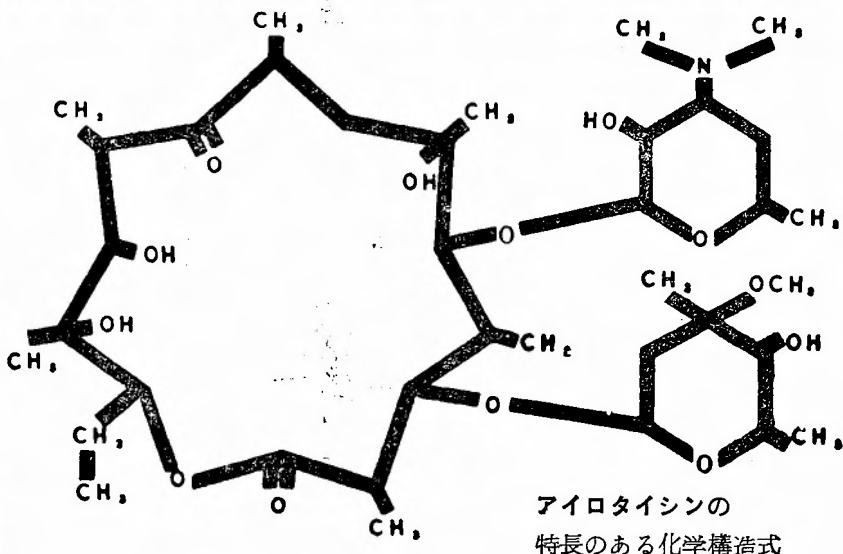
松 崎 印 刷 株 式 會 社

京都市下京区油小路通松原上ル

電 話 ⑤ 4 7 1 7 ・ 4 7 6 4 番

振 替 京 都 1 8 7 4 7 番

ILOTYCIN



☆いわゆるbroad spectrum antibiotic の 1 ツで、種々の疾患に少量・短時間で奏効します。

☆特に、グラム陽性球菌（ブドウ球菌、レンサ球菌、肺炎球菌）には、他の抗生物質に見られない強い抗菌力を示します。

☆耐性菌が殆どなく、他剤に無効な場合にも著しい効果を示します。

☆ビタミン欠乏症、カンジダ症のおそれがなく、胃腸障害のような副作用も殆どない抗生物質です。

〔適応症〕 肺炎・気管支炎・扁桃腺炎・咽頭炎・百日咳・ジフテリア・猩紅熱・中耳炎・梅毒・淋疾・トラコーマ・皮膚化膿症・外科感染症など

〔剤 型〕 100mg錠(一般内服)懸濁用・点滴用(幼小児用甘味香料添加) 静注用(緊急時)軟膏(皮膚科外用)眼科用軟膏・耳科用(ポリミキシンB配合)

耐性菌の少い抗生物質

アイロタイシン

塩野義製薬株式会社



No. 9435

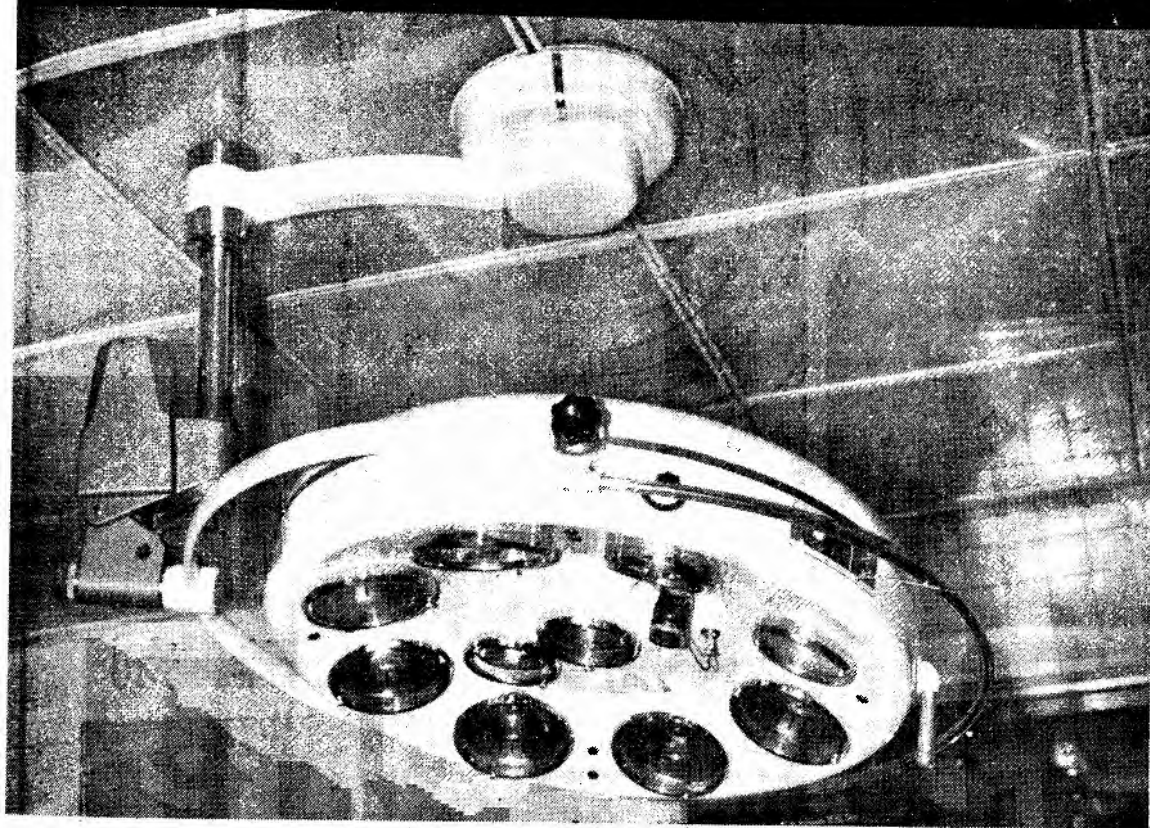
バランス オ マチック
BALANCE-O-MATIC
無影灯

CAMERA SKYLUX NECTAR

カメラ

スカイルックス

ネクター



バランス オ マチック
BALANCE-O-MATIC

(重錘無しの新型昇降装置及び操作機構)

を採用した、 $35m/m$ 写真撮影装置付、多灯式無影灯!!

- ① バランス オ マチックとは無影灯用の重錘無しの新型昇降装置と、新しい操作システムの事でスカイルックスネクターシリーズは全部此のシステムになって居ります。
- ② 灯部は、No. 935、カメラ スカイルックスと同様で、操作方法も変わりません。
- ③ ネクターの特徴は、バランス オ マチックである為、低天井の手術室に最適の大型無影灯である事です。
- ④ ネクターシリーズには、No.940 灯径100cm, No.941灯径90cm(以上九灯)No.942灯径70cm(7灯)があり、シネカメラ(16%)付No.9416のシネスカイルックスネクターも製作して居ります。
- ⑤ スタイルは御存知の様なダイナミックなスマートさで、無影灯界のトップデザインです。

TOKYO **SKY** JAPAN
SHADOWLESS LAMP CO., LTD.

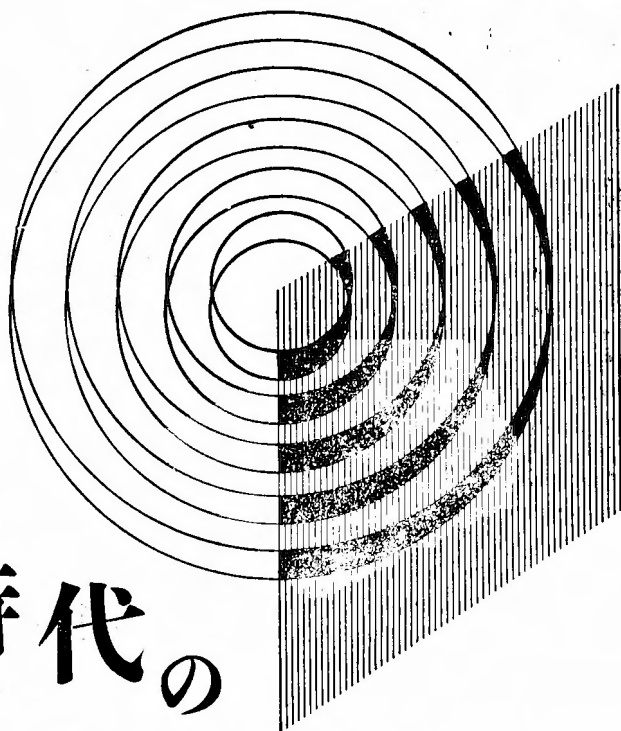
全国医科器械店取扱、カタログ拝呈
山田 医療照明株式会社

東京都文京区本郷三丁目24 TEL 83 5673・9635

X Y L O C A I N E



水登録商標スエーデン・アストラ社提携品



新時代の

局所麻酔剤

キシロカイン

【包 装】

キシロカイン注射液

20cc...0.5%, 1%, 2%

100cc...0.5%, 1%, 2%

脊髄麻酔用(高比重)キシロカイン注射液 (3%) 3.5cc×10

表面麻酔用キシロカイン液(4%)

20cc, 100cc

表面麻酔用キシロカインゼリー

30cc, 100cc

キシロカインは、優れた浸潤、伝達、表面麻酔作用をあらわし、新時代の局所麻酔剤として広く賞用されております。

特 長

- 作用発現が極めて速い。
- プロカインより少量で確実に奏効する
- 麻酔持続時間は、プロカインの2~4倍である。
- 副作用は殆んどなく、エピレナミンやプロカインのアレルギー患者にも使用できる。

〔適 応〕

外科、歯科、婦人科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、眼科、整形外科領域における浸潤・伝達表面及び仙骨麻酔

大阪東区道修町(東京・福岡・札幌・名古屋)

藤沢薬品工業株式会社

増強された効力...

水溶性が大きい...

副作用が少い...



見事な相乗効果を発揮した

神経痛、ロイマチス治療剤

アミピロ

注射 (5cc) 顆粒 錠剤

新化合物アミノプロピロンとアミノピリンの合剤アミピロは 各種疼痛性炎症性疾患の治療に各科に於て益々使用範囲を拡大しており、迅速な効果と安全性とで好評です。

〔健 保 適 用〕

日本新薬株式会社

京都市西大路八条



肉芽創に...

健 保 適 用

新 壊死組織融解剤

ナガーゼ

細菌・結晶プロテアーゼ製剤

- 枯草菌が生成する蛋白分解酵素である。
- 凡ゆる変性蛋白質を消化、溶解する。
- 確実な作用と優れた安定性に特長がある。

日本製造特許番号
210379

- (作用) ①患部の化膿壊死組織の繊維素、表在性凝固物(痂皮)や凝血を速かに溶解するなどの化膿創の清浄作用。
②膿胸に於ける稠稠な粘液膿汁を液化して腔内を清浄にする。
その結果.....①清浄な肉芽面や ②新鮮な肋膜面を露出して、その治療回復を促進する
- (適応症) 一般外科、皮膚科...切断面、骨髄 ③空洞重傷や傷感染を伴う挫傷、骨折、血腫、疔、瘡等。
胸腔内領域...結核性膿胸、混合感染膿胸、手術後或は創傷後の血胸。

(包装) 1管中 10.000 P.U.N. 5管入 (稀釈液 500 5管 添付)

文 献 贈 呈

販 売 長瀬産業株式会社医薬部 製造 帝国化学産業株式会社
大阪市西区立売堀南通一丁目七番地

投稿規定 (昭.33.10.30改正)

○本誌は毎年1月, 3月, 5月, 7月, 9月及び11月の1日に発行する (年間6冊). 状況により臨時増刊を発行する.

○本誌予約購読者の原稿を掲載する.

○予約購読料は年額1,000円 (送料を含む) とし, 分売は1冊200円とする.

○原稿の長さはおおよそ下記の限度とし, 和文原著には欧文表題, 欧文抄録, 欧文原著には和文表題及び和文抄録を添附されたい.

原著論文, 綜説, 臨床, 400字詰40枚以内 (図表共)

症例報告, 研究速報, 400字詰15枚以内 (図表共)

○原稿の当編輯室へ到達した日附を受付日とする.

○原稿の用語中, 固有名詞はすべて固有の文字を, 又数字はすべて算用数字を使用し, 日本語化した外国語は片かなでかく事. この際は「」不要.

○数量の単位は下記の例による

例, m, cm, mm, cc, kg, g, mg, °C, μ,

%, pH, 等ピリオド不要

○原稿は横書とし新かなづかいを用いる事.

○欧文及び欧文抄録はタイプライターで記入され度い.

○挿画, 曲線等は必ず白紙又は青線方眼紙に墨で清書し挿入位置を原稿に記入する事.

○図, 表, 写真等はすべて別紙に記入, 若しくは添附

し本文中には挿入箇所のみ指定する事.

○原稿は完全なものとして御送附願いたい. 校正の際における加筆補正は認めない.

○引用文献は篇末に集め, 次の例による.

(氏名)

(表題)

Beatson, G. T.: On the Treatment of Inoperable

(雑誌名)(巻)

Case of Carcinoma of the Mamma. Lancet, 2,

(頁)(年代)

104, 1896.

三宅 儀: 副腎皮質ホルモンの測定と臨床. 最新医学, 6, 766, 昭26.

○掲載料は実費として1頁1200円とし, 図表写真版等の費用は著者の実費負担とする. 但し症例報告に於ては3頁までは無料とし, 此れを越すものに対しては実費を徴収する. アート紙の使用, コロタイプ天然色図版の掲載等に関しても著者に於て実費を負担するものとする.

○症例に於て特に早く掲載を希望し掲載号を指定される方の掲載料は全額実費負担とする

○執筆者に於て別刷希望の方は, 寄稿と同時に希望数を附言せられたい別刷は実費を申し受ける.

○原稿は書留郵便で下記に送られたい.

京都市左京区聖護院川原町53

京都大学医学部附属病院外科学教室内

日本外科宝函編輯室宛

電 ⑦ 4221 } 構内 427の乙
4111 }

昭和34年2月21日印刷

昭和34年3月1日発行

編輯兼発行者

京都市左京区聖護院川原町

青 柳 安 誠

印刷者

京都市下京区油小路松原上ル

松 崎 秀 雄

印刷所

京都市下京区油小路松原上ル

松崎印刷株式会社

京都大学医学部外科学教室

発行所

日本外科宝函編輯室

代表者 青 柳 安 誠

(振替口座京都3691番)

シオノギの 安全性高級サルファ剤

スルフィソキサゾール

サルファジン

● 特 長

1. 抗菌スペクトラムが極めて広く、強い抗菌力を発揮します。
2. とくに 変形菌、大腸菌による疾患には First Choice Sulfa と呼ばれています。
3. 溶解度が他のサルファ剤に比べて極めて高く、尿中排泄が比較的早いので、腎障害のおそれがありません。
4. 通常胃腸障害も少く、アナフィラキシーなど重篤な副作用は皆無です。
5. 二次感染の予防には極めて適切です。

● 適 応 症

内科：感冒、流行性感冒、肺炎、気管支炎、扁桃腺炎、赤痢、疫痢下痢、胃腸炎、消化不良症など。

皮膚泌尿器：尿路感染症、淋疾、軟性下疳、膿皮症、鼠径淋巴肉芽腫症

眼科：結膜炎、トラコーマ、流行性角膜炎、角膜疾患。

その他：中耳炎、産褥熱、抜歯後感染症、虫垂炎、腹膜炎、骨髄炎術後感染症

● 剤 型

注射液—20% 1cc 10A, 5cc 5A 50A, 10cc 5A; 10% 2cc 10A 50A 5cc 10A 50A

内服—(0.5g錠) 10錠 20錠; 粉末 25g, 100g, 500g, 1kg

シロツプ—サルファジン(アセチル)を主剤とするシロツプ剤で1cc中サルファジンとして0.1gを含む 30cc 50cc

点 眼 液—1cc中サルファジン40mgおよびパラオキシ安息香酸ブチルを含む滅菌水溶液 100cc 500cc

大阪市東区道修町 塩野義製薬株式会社



シオノギ

No. 9435

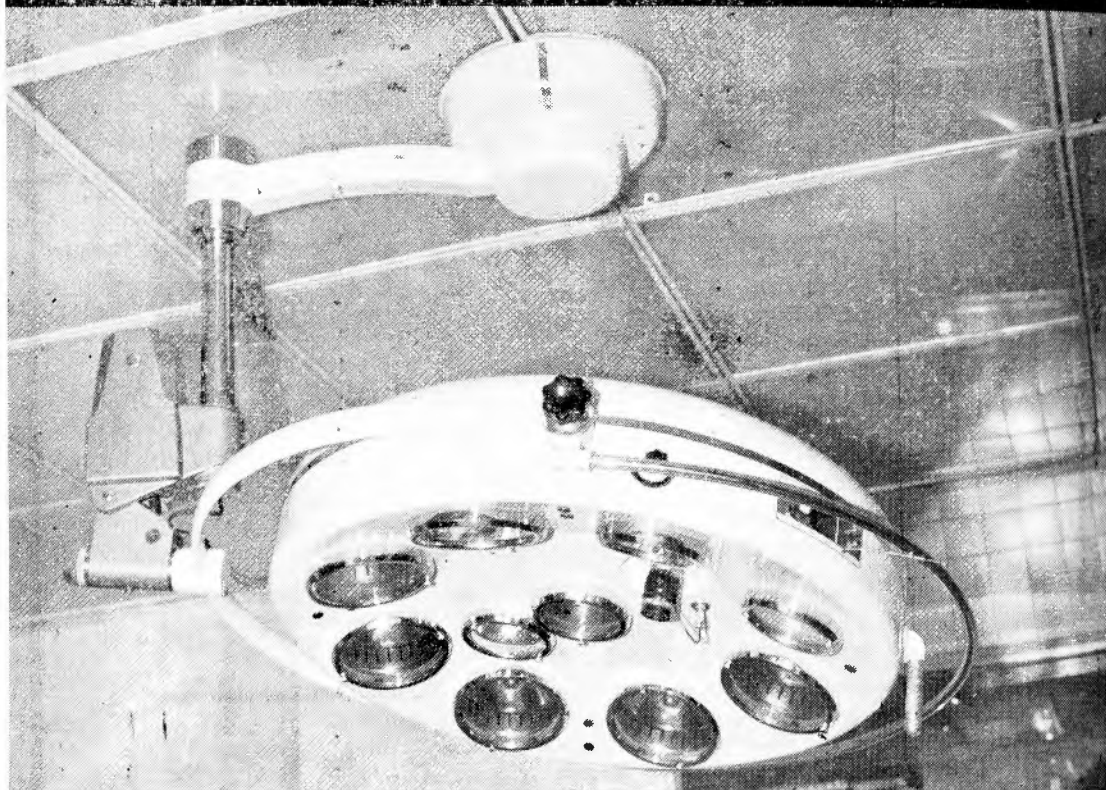
カメラ オ マチック
BALANCE-O-MATIC
無影灯

CAMERA SKYLUX NECTAR

カメラ

スカイルックス

ネクター



バランス オ マチック
BALANCE-O-MATIC

(重錘無しの新型昇降装置及び操作機構)

を採用した、35^m/m写真撮影装置付、多灯式無影灯!!

- ① バランス オ マチックとは無影灯用の重錘無しの新型昇降装置と、新しい操作システムの事でスカイルックスネクターシリーズは全部此のシステムになって居ります。
- ② 灯部は、No. 935、カメラ スカイルックスと同様、標準照度 30.000 ルクスで、照度調節・焦点調節其他の操作方法も変わりありません。
- ③ ネクターの特徴は、バランス オ マチックである為、低天井の手術室に最適の大型無影灯である事です。
- ④ ネクターシリーズには、No. 940 灯径100cm, No. 941 灯径90cm(以上九灯) No. 942 灯径70cm(7灯)があり、シネカメラ(16%)付 No. 9416 のシネスカイルックスネクターも製作して居ります。
- ⑤ スタイルは御存知の様なダイナミックなスマートさで、無影灯界のトップデザインです。

TOKYO **S.K.Y.** JAPAN
SHADOWLESS LAMP CO., LTD.

全国医科器械店取扱、カタログ拝呈

山田医療照明株式会社

東京都文京区湯島三軒町24 TEL 83 5673・9635

新 発 売

自律神経の総合的な遮断に

自 律 神 経 遮 断 カ ク テ ル 剤

カクテルリン-H

コントミン + ヒベルナ

クロルプロマジン（コントミン）の持つ強力な交感神経遮断作用とプロメタジン（ヒベルナ）の持つ副交感神経遮断作用、抗ヒスタミン作用及びその他の優れた薬理作用を、一管に収め各科領域に於ける御使用に便ならしめた。

☆ 適 応 症

内 科 領 域	悪心、嘔吐、吃逆、夜尿症、頑固な不眠症、掻癢、鎮痛、ショック・脳症状等の重篤な症状
小 児 科 領 域	
外 科 領 域	麻酔準備、強化麻酔、人工冬眠、ショックの予防治療、手術後の高熱症・疼痛・嘔吐及び吃逆、
精 神 科 領 域	躁病、うつ病、精神分裂症、老人性精神病、精神々経症、小児神経症、精神病の持続睡眠療法

〔包装〕 25mg (3cc) 10A, 50A; 50mg (5cc) 10A, 50A

胸 部 外 科 に は

カクテルリン-E

コントミン + エチレミン

コントミンに迷走神経遮断作用の著るしいエチレミンを配した製剤。この為、特に胸部外科領域に於ける応用に好適である。

〔包装〕 50mg (5cc) 10A, 50A

製造 吉富製薬株式会社
大阪市東区今橋4丁目1

販売 武田薬品工業株式会社
大阪市東区道修町2丁目27



麻

酔

異口同音ノ

安全で、品質効果が大変
優れている…とラボナールは有名
病院の先生方が御推奨になつています

本邦最初の Thiobarbital 系製剤である本剤は、イソヘキサビ
タルより調節性大なるため、完全域広く、各科領域大小手術
に賞用されている。

短時間麻酔に…子宮内膜搔爬術を始め外妊、卵管不妊術等の短
時間手術に完全な無痛効果を収めます。

長時間麻酔に…本剤は体内処理がはやく持続的分割注入により
麻酔時間を自由に延長し得るので、1~2時間に亘る大手術にも
安心して使用できます。

全 身 麻 酔 剤

〔健 保 適 用〕

— 包 装 —

0.3g 5A 50A

0.5g 5A 50A

(注射用蒸溜水添付)

ラボナール

RAVONAL



大阪市道修町

田 辺 製 薬 株 式 会 社

支店 東京・福岡

RA50

(10) 2年以上を経過せる肺葉切除患者284例
の遠隔成績について

岐阜市日野荘 小林 君美

(11) 胃切除後縫合絹絲に起因せる通過障害
の1例

大垣市西濃病院 坂口 昭五

投稿規定 (昭.33.10.30改正)

○本誌は毎年1月, 3月, 5月, 7月, 9月及び11月
の1日に発行する(年間6冊). 状況により臨時増
刊を発行する.

○本誌予約購読者の原稿を掲載する.

○予約購読料は年額1,000円(送料を含む)とし, 分売
は1冊200円とする.

○原稿の長さはおよそ下記の限度とし, 和文原著には
欧文表題, 欧文抄録, 欧文原著には和文表題及び和
文抄録を添附されたい.

原著論文, 綜説, 臨床, 400字詰40枚以内(図表共)

症例報告, 研究速報, 400字詰15枚以内(図表共)

○原稿の当編輯室へ到達した日附を受付日とする.

○原稿の用語中, 固有名詞はすべて固有の文字を, 又
数字はすべて算用数字を使用し, 日本語化した外国
語は片かなでかく事. この際は「」不要.

○数量の単位は下記の例による

例, m, cm, mm, cc, kg, g, mg, °C, μ,
%, pH, 等ピリオド不要

○原稿は横書とし新かなづかいを用いる事.

○欧文及び欧文抄録はタイプライターで記入され度
い.

○挿画, 曲線等は必ず白紙又は青線方眼紙に墨で清書
し挿入位置を原稿に記入する事.

○図, 表, 写真等はすべて別紙に記入, 若しくは添附

し本文中には挿入箇所のみ指定する事.

○原稿は完全なものとして御送附願いたい. 校正の際
における加筆補正は認めない.

○引用文献は篇末に集め, 次の例による.

(氏名) (表題)
Beatson, G. T.: On the Treatment of Inoperable

Case of Carcinoma of the Mamma. Lancet, 2,

(頁)(年代)
104, 1896.

三宅 儀: 副腎皮質ホルモンの測定と臨床. 最新医
学, 6, 766, 昭26.

○掲載料は実費として1頁1200円とし, 図表写真版等
の費用は著者の実費負担とする. 但し症例報告に於
ては3頁までは無料とし, 此れを越すものに対して
は実費を徴収する. アート紙の使用, コロタイプ天
然色図版の掲載等に関しても著者に於て実費を負担
するものとする.

○症例に於て特に早く掲載を希望し掲載号を指定され
る方の掲載料は全額実費負担とする

○執筆者に於て別刷希望の方は, 寄稿と同時に希望数
を附言せられたい別刷は実費を申し受ける.

○原稿は書留郵便で下記に送られたい.

京都市左京区聖護院川原町53

京都大学医学部附属病院外科学教室内

日本外科宝函編輯室宛

電 ⑦ 4221 } 構内 427の乙
4111 }

昭和34年3月21日印刷

昭和34年4月1日発行

編輯兼発行者

京都市左京区聖護院川原町

青 柳 安 誠

印刷者

京都市下京区油小路松原上ル

松 崎 秀 雄

印刷所

京都市下京区油小路松原上ル

松崎印刷株式会社

京都大学医学部外科学教室

発行所

日本外科寶函編輯室

代表者 青 柳 安 誠

(振替口座京都3691番)

投稿規定(昭.33.10.30改正)

○本誌は毎年1月, 3月, 5月, 7月, 9月及び11月の1日に発行する(年間6冊). 状況により臨時増刊を発行する.

○本誌予約購読者の原稿を掲載する.

○予約購読料は年額1,000円(送料を含む)とし, 分売は1冊200円とする.

○原稿の長さはおおよそ下記の限度とし, 和文原著には欧文表題, 欧文抄録, 欧文原著には和文表題及び和文抄録を添附されたい.

原著論文, 綜説, 臨床, 400字詰40枚以内(図表共)

症例報告, 研究速報, 400字詰15枚以内(図表共)

○原稿の当編輯室へ到達した日附を受付日とする.

○原稿の用語中, 固有名詞はすべて固有の文字を, 又数字はすべて算用数字を使用し, 日本語化した外国語は片かなでかく事. この際は「」不要.

○数量の単位は下記の例による

例, m, cm, mm, cc, kg, g, mg, °C, μ , %, pH, 等ビリオド不要

○原稿は横書とし新かなづかいを用いる事.

○欧文及び欧文抄録はタイプライターで記入され度い.

○挿画, 曲線等は必ず白紙又は青線方眼紙に墨で清書し挿入位置を原稿に記入する事.

○図, 表, 写真等はすべて別紙に記入, 若しくは添附

し本文中には挿入箇所のみ指定する事.

○原稿は完全なものとして御送附願いたい. 校正の際における加筆補正は認めない.

○引用文献は篇末に集め, 次の例による.

(氏名)

(表題)

Beatson, G. T.: On the Treatment of Inoperable

(雑誌名)(巻)

Case of Carcinoma of the Mamma. Lancet, 2,

(頁)(年代)

104, 1896.

三宅 儀: 副腎皮質ホルモンの測定と臨床. 最新医学, 6, 766, 昭26.

○掲載料は実費として1頁1200円とし, 図表写真版等の費用は著者の実費負担とする. 但し症例報告に於ては3頁までは無料とし, 此れを越すものに対しては実費を徴収する. アート紙の使用, コロタイプ天然色図版の掲載等に関しても著者に於て実費を負担するものとする.

○症例に於て特に早く掲載を希望し掲載号を指定される方の掲載料は全額実費負担とする

○執筆者に於て別刷希望の方は, 寄稿と同時に希望数を附言せられたい別刷は実費を申し受ける.

○原稿は書留郵便で下記に送られたい.

京都市左京区聖護院川原町53

京都大学医学部附属病院外科学教室内

日本外科室函編輯室宛

電 ⑦ 4221 } 構内 427の乙
4111 }

昭和34年4月21日印刷

昭和34年5月1日発行

編輯兼発行者

京都市左京区聖護院川原町

青 柳 安 誠

印刷者

京都市下京区油小路松原上ル

松 崎 秀 雄

印刷所

京都市下京区油小路松原上ル

松 崎 印 刷 株 式 会 社

京都大学医学部外科学教室

発行所

日本外科寶函編輯室

代表者 青 柳 安 誠

(振替口座京都3691番)

目 次

原 著

中脳中心灰白質の電気刺激及び化学刺激によつて痙攣を伴わない昏睡を来す可能性……	小 田 忠 良 (1511)
ウレタン処置畸形マウス脳の組織学的変化……	山 崎 徳 雄 (1520)
多趾症マウスの脊髄前角細胞の数的変化に就いて……	山 崎 徳 雄 (1551)
腹腔大血管の神経支配に関する組織学的研究……	喜 多 幅 知 郎 (1560)
悪性腫瘍の臓器親和性に関する神経病理学的研究……	井 上 俊 明 (1580)
体外培養マウス乳癌に対する性ホルモンの作用……	大 谷 博 (1595)
脾臓全剝後の後期脂肪肝に関する研究……	山 本 善 和 (1613)
α -ケトグルタル酸を中心としてみた生体内脂質代謝過程の実験的研究……	深 田 斉 迪 (1631)
栄養学的効果に及ぼす脂質の質的組成の影響に関する実験的並びに臨床的研究……	島 田 泰 男 (1645)
収縮性心膜炎に於ける実験的並びに臨床的研究……	毛 受 武 重 (1666)
視床及びその周辺より起る arrest reaction の実験的研究……	小 亀 清 孝 (1696)
頭部外傷後の視床下部下垂体神経分泌の消長に就て……	南 部 正 敏 (1719)
脊髄損傷による麻痺に対する治療法としての末梢神経縫合の実験的研究……	琢 磨 照 夫 (1734)
末梢動脈の内膜刺激によつて起る血管反射に関する実験的研究……	清 水 資 明 (1743)
感染性腎腎障害症の成因に関する実験的研究……	片 岡 善 一 (1751)
胸郭前食道・胃または食道・空腸吻合創の治療機転の研究……	間 嶋 正 徳 (1766)
乳腺腫瘍患者の尿中エストロン、エストラジオール分劃の消長について……	栗 田 昌 治 (1784)
脂酸ペーパークロマトグラフィーを以てした人乳中に牛乳の含有脂酸の分析結果 について……	丹 信 敏 他 (1807)
血中オプゾニン値の変動からみた肺臓の脂肪代謝機能に関する実験的研究……	菊 池 厚 (1811)
Walker 氏腫瘍生・煮両液の各種免疫作用に及ぼす影響に関する実験的研究……	藤 田 隼 夫 (1826)
腫瘍組織乳剤のモルモット脳通過時の反応に就て……	高 山 文 三 (1867)

臨 床 ・ 症 例 報 告

急性虫垂炎に於ける右側鼠蹊部知覚過敏帯に就て……	沖 野 純 他 (1887)
正常日本人 Elsberg-Dyke 曲線とその臨床的価値……	土 田 精 一 (1890)
乳児期先天股脱の治療成績に就て……	太 田 吾 朗 (1899)
インフンディブローマ……	石 井 昌 三 他 (1903)
Primary Aldosteronism の手術治験例……	木 村 忠 司 他 (1911)
膀胱全剝出後、膀胱の再生を認められた 1 例……	原 田 直 彦 他 (1917)
広汎な硬膜、頭蓋骨及び頭皮の全欠損に対する筋膜及び皮膚の遊離移植……	土 倉 一 郎 (1923)
脊髄液瘻の処置……	上 石 英 明 (1925)
脊髄神経鞘腫の 1 例……	杉 浦 純 宣 他 (1929)
橋本氏病の 1 例……	伊 達 政 照 他 (1932)
中斜角筋々膜から発生した線維肉腫の 1 例……	土 倉 一 郎 他 (1936)
胃ポリープの 4 手術例……	辻 秀 哉 他 (1939)
胃筋腫の 1 例……	緒 方 武 他 (1947)
胃細網肉腫の 1 例……	池 上 潔 他 (1951)
新生児胃穿孔の 1 手術例……	宅 間 皓 (1955)
胃線維腫の 1 例……	武 田 温 雄 他 (1959)
十二指腸結核症の 1 治験例……	吉 野 位 他 (1962)
大網の炎症性腫瘤について……	御 荘 基 信 他 (1966)
腸間膜腫瘤の 2 例……	前 田 敏 郎 他 (1973)
極めて複雑な経過を辿つた興味のある肝硬変症の 1 剖検例……	瀬 藤 晃 一 他 (1976)
肝臓膿瘍と誤認した興味ある原発性肝臓癌の 1 例……	吉 野 位 他 (1980)
睾丸腫瘍の 3 例……	井 谷 幹 一 他 (1983)
ペニシリン注射後に発生した接種結核の 1 例……	土 倉 一 郎 (1987)

目 次

原 著

酸素欠乏の家兎胎児脳及び成熟脳に及ぼす影響	小 川 省 吾 (1991)
逆流性食道炎の成因に関する実験的研究	松 尾 裕 (2002)
脾臓全切除後の早期脂肪肝	押 谷 貞 亮 (2028)
脾臓全切除後の抗利尿物質 (ADS) の変動	押 谷 貞 亮 (2042)
抗生剤の腸吻合に対する保護作用	梅 林 司 (2050)
腸管動脈遮断に於ける抗生剤の効果	梅 林 司 (2075)
逆流性食道炎の成因に関する実験的研究	高 槻 春 樹 (2087)
Pinealoma と Teratoma との関係に就て	高 三 秀 成 (2108)
Argyll-Robertson 瞳孔の実験的作成	島 川 勝 文 (2128)
実験的尿崩症の神経分泌的研究	北 島 伸 (2157)
脳膜性反射に関する実験的研究	野 川 徳 二 (2181)
合成樹脂液を浸した Gelatine Sponge による実験的中脳水道閉塞	井 上 昌 則 (2193)
急性肺水腫の発生と迷走神経切断との関係に関する実験的研究	木 村 正 也 (2204)
胸郭前食道再建術に関する研究	佃 光 雄 (2222)
人工食道による食道再建術に関する実験的研究	松 尾 裕 (2246)
虫様突起の平滑筋細胞とその支配自律神経末梢との関係についての 電子顕微鏡による追究	山 本 輝 雄 (2258)
筋紡錘の神経支配に関する実験的研究	桜 井 達 良 (2279)
骨格筋の神経支配に関する実験的研究	柳 井 悦 嘉 (2296)
下肢筋を支配する末梢神経に於ける自律神経線維に就いて	小 寺 寿 治, 他 (2314)
多発性筋炎の成因に関する実験的研究	藤 原 憲 和 (2325)
制癌剤による腹腔内吸収路の組織学的変化に関する実験的研究	松 岡 昇 三 (2351)

臨 床

上腕骨小頭核に見た無菌性骨壊死症のレ線学的追求所見	小 寺 寿 治, 他 (2375)
脳グリオームの手術成績	安 藤 協 三, 他 (2381)

症 例

頭部に於ける巨大な異所形成骨腫の1例	満田久和,他 (2391)
5才女児に見られた気管支性囊腫の切除治験例	鈴木昭二,他 (2394)
19才女子に見られたいわゆるAlveolarzellenkarzinomの1例	入江義明,他 (2398)
肺葉切除後,術側の乳房の肥大を来した2例	世良敏行,他 (2403)
晩期乳癌に対するテストステロン療法の1症例	野田文男 (2410)
柿胃石の1例	喜多幅知郎,他 (2414)
腸管膜様包裹の1例	岸本秀雄,他 (2417)
後腹膜腫瘍の4例	恒川謙吾,他 (2421)
穿孔を来たした迷入副睪に由来する原発性十二指腸乳頭下部癌の1剖検例	杉本雄三,他 (2429)
悪性腫瘍と合併した虫垂卵管瘻肉芽腫の1例	沖野純,他 (2434)
直腸内皮細胞腫の1例	松尾裕,他 (2438)
虫垂炎と誤られ易い卵巣出血について	足立道五郎,他 (2442)
長期大出血の続いた所謂持発性腎出血の検討	近江達,他 (2446)
虫垂手術後に於ける尿路結石の自然排出	栗田昌治,他 (2452)
腹壁腫瘤と誤られた卵管破裂による後腹膜血腫	近江達 (2455)
毛巣疾患 pilonidal disease について	河村雄一,他 (2458)
右大腿より発見された Manson 糸虫症の1例	阿部弘毅 (2462)
連続三椎に関節突起間分離をみた症例	小林祥悟 (2465)
京 都 集 談 会	(2469)
岐 阜 集 談 会	(2478)

還 曆 を お 祝 し て 本 誌 を
青 柳 安 誠 先 生 の 膝 下 に 捧 げ ま す

猪 子 ・ 伊 藤 記 念 会
門 下 生 一 同



青柳安誠

恩師 青柳安誠先生は本年5月23日めでたく満60才の誕生日を迎えられました。当日は遠く東北、四国、九州に及ぶ各地から多数の弟子達が馳せ参じまして門下生による記念講演会や祝賀の宴を催しましたが、何れも先生の御人柄を反映して終始和かな空気が流れておりました。

席上先生の感慨のこもった御懷想談を拝聴した一同は期せずして教室時代の若さに帰り、当時の先生や同僚の思い出話に花を咲かせたり、久しく会わなかつた友人の顔を見付けてお互の健康を祝し合うなど、うちとけた楽しい一日を送ることが出来ました。

巻頭に掲げられました先生の御近影は還暦などとは程遠い若々しい御姿であります。昭和12年5月磯部喜右衛門先生のあとを継がれた当時の少壮気鋭の面影はいつのまにか温容という言葉そのまゝの御風貌に変つておられます。先生は現在日本外科学界の重鎮であられるのみならず本学医学部に於ても最古参教授のお一人で文字通り大教授となられたのでありますから、それにふさわしく御変りになられたのも当然であります。過古20年余の先生の教授生活は恰も第2次大戦を頂点とする日本の苦難時代に当り、先生にとつてもある時は学問の坐を守るための殉教的な戦いであつたと申せましょう。

此の御写真は先生が茨の路を踏み越えて始めて到達された人間として、学者としての完成の境地を撮し出しているとも思われます。

最近の先生は益々御健康で学生の教育や患者の御診療に情熱を傾けておられます。他、胸部外科、免疫、癌、脂肪静注、内分泌自律神経等多方面にわたる研究を指導され、山積する論文の御検閲に日夜多忙を極めておられます。

先生と共に歩んで参りました日本外科宝函もその間大いに成長致しまして今や国際的にも紙価を高めるに到りました。私共門下生一同は本号を還暦祝賀記念号として先生に捧げますことを無上の喜びとするものであります。

昭和34年6月1日

門下生一同

投稿規定(昭.33.10.30改正)

○本誌は毎年1月, 3月, 5月, 7月, 9月及び11月の1日に発行する(年間6冊)。状況により臨時増刊を発行する。

○本誌予約購読者の原稿を掲載する。

○予約購読料は年額1,000円(送料を含む)とし, 分売は1冊200円とする。

○原稿の長さはおよそ下記の限度とし, 和文原著には欧文表題, 欧文抄録, 欧文原著には和文表題及び和文抄録を添附されたい。

原著論文, 綜説, 臨床, 400字詰40枚以内(図表共)

症例報告, 研究速報, 400字詰15枚以内(図表共)

○原稿の当編輯室へ到達した日附を受付日とする。

○原稿の用語中, 固有名詞はすべて固有の文字を, 又数字はすべて算用数字を使用し, 日本語化した外国語は片かなでかく事。この際は「」不要。

○数量の単位は下記の例による

例, m, cm, mm, cc, kg, g, mg, °C, μ ,

%, pH, 等ピリオド不要

○原稿は横書とし新かなづかいを用いる事。

○欧文及び欧文抄録はタイプライターで記入され度い。

○挿画, 曲線等は必ず白紙又は青線方眼紙に墨で清書し挿入位置を原稿に記入する事。

○図, 表, 写真等はすべて別紙に記入, 若しくは添附

し本文中には挿入箇所のみ指定する事。

○原稿は完全なものとして御送附願いたい。校正の際における加筆補正は認めない。

○引用文献は篇末に集め, 次の例による。

(氏名) (表題)
Beatson, G. T.: On the Treatment of Inoperable

(雑誌名)(巻)

Case of Carcinoma of the Mamma. Lancet, 2,

(頁)(年代)

104, 1896.

三宅 儀: 副腎皮質ホルモンの測定と臨床。最新医学, 6, 766, 昭26.

○掲載料は実費として1頁1200円とし, 図表写真版等の費用は著者の実費負担とする。但し症例報告に於ては3頁までは無料とし, 此れを越すものに対しては実費を徴収する。アート紙の使用, コロタイプ天然色図版の掲載等に関しても著者に於て実費を負担するものとする。

○症例に於て特に早く掲載を希望し掲載号を指定される方の掲載料は全額実費負担とする

○執筆者に於て別刷希望の方は, 寄稿と同時に希望数を附言せられたい別刷は実費を申し受ける。

○原稿は書留郵便で下記に送られたい。

京都市左京区聖護院川原町53

京都大学医学部附属病院外科学教室内

日本外科宝函編輯室宛

電 ⑦ 4221 } 構内 427の乙
4111 }

昭和34年5月21日印刷

昭和34年6月1日発行

編輯兼発行者

京都市左京区聖護院川原町

青 柳 安 誠

印刷者

京都市下京区油小路松原上ル

松 崎 秀 雄

印刷所

京都市下京区油小路松原上ル

松崎印刷株式会社

京都大学医学部外科学教室

発行所

日本外科宝函編輯室

代表者 青 柳 安 誠

(振替口座京都3691番)

麻

酔

異口同音！

安全で、品質効果が大変
優れている…とラボナールは有名
病院の先生方が御推奨になつています

本邦最初の Thiobarbital 系製剤である本剤は、イソヘキサビ
タルより調節性大なるため、完全域広く、各科領域大小手術
に賞用されている。

短時間麻酔に…子宮内膜搔爬術を始め外妊、卵管不妊術等の短
時間手術に完全な無痛効果を収めます。

長時間麻酔に…本剤は体内処理がはやく持続的分割注入により
麻酔時間を自由に延長し得るので、1~2時間に亘る大手術にも
安心して使用できます。

全 身 麻 酔 剤

〔健 保 適 用〕

— 包 装 —

0.3g 5A 50A

0.5g 5A 50A

(注射用蒸溜水添付)

ラボナール

RAVONAL



大阪市道修町 田辺製薬株式会社 支店 東京・福岡

RA50

増強された効力

水溶性が大きい

副作用が少い



見事な相乗効果を発揮した

神経痛、ロイマチス治療剤

アミピロ

注射 (5cc) 顆粒 錠剤

新化合物アミノプロピロンとアミノピリンの合剤アミピロは 各種疼痛性炎症性疾患の治療に各科に於て益々使用範囲を拡大しており、迅速な効果と安全性とで好評です。

【健保適用】

日本新薬株式会社

京都市西大路八条



健保適用

新 壊死組織融解剤

ナガーゼ

細菌・結晶プロテアーゼ製剤

- 枯草菌が生成する蛋白分解酵素である。
- 凡ゆる変性蛋白質を消化、溶解する。
- 確実な作用と優れた安定性に特長がある。

日本製造特許番号
210379

- (作用) ①患部の化膿壊死組織の繊維素、表在性凝固物(痂皮)や凝血を速かに溶解するなどの化膿創の清浄作用。
②膿胸に於ける稠稠な粘液膿汁を液化して腔内を清浄にする。
その結果……①清浄な肉芽面や ②新鮮な肋膜面を露出して、その治療回復を促進する
- (適應症) 一般外科、皮膚科…切断面、骨髓炎、空洞重傷欠傷感染を伴う挫傷、骨折、血腫、疔、瘡等。
胸腔内領域…結核性膿胸、混合感染膿胸、手術後或は創傷後の血胸。

(包装) 1管中 10.000 P.U.N. 5管入 (稀釈液 5cc 5管 添付)

文献贈呈

販売 長瀬産業株式会社医薬部 製造 帝国化学産業株式会社
大阪市西区立売堀南通一丁目七番地

投稿規定(昭.33.10.30改正)

- 本誌は毎年1月, 3月, 5月, 7月, 9月及び11月の1日に発行する(年間6冊). 状況により臨時増刊を発行する.
- 本誌予約購読者の原稿を掲載する.
- 予約購読料は年額1,000円(送料を含む)とし, 分売は1冊200円とする.
- 原稿の長さはおおよそ下記の限度とし, 和文原著には欧文表題, 欧文抄録, 欧文原著には和文表題及び和文抄録を添附されたい.
- 原著論文, 綜説, 臨床, 400字詰40枚以内(図表共)
症例報告, 研究速報, 400字詰15枚以内(図表共)
- 原稿の当編輯室へ到達した日附を受付日とする.
- 原稿の用語中, 固有名詞はすべて固有の文字を, 又数字はすべて算用数字を使用し, 日本語化した外国語は片かなでかく事. この際は「」不要.
- 数量の単位は下記の例による
例, m, cm, mm, cc, kg, g, mg, °C, μ,
%, pH, 等ビリオド不要
- 原稿は横書とし新かなづかいを用いる事.
- 欧文及び欧文抄録はタイプライターで記入され度い.
- 挿画, 曲線等は必ず白紙又は青線方眼紙に墨で清書し挿入位置を原稿に記入する事.
- 図, 表, 写真等はすべて別紙に記入, 若しくは添附

し本文中には挿入箇所のみ指定する事.

○原稿は完全なものとして御送附願いたい. 校正の際における加筆補正は認めない.

○引用文献は篇末に集め, 次の例による.

(氏名) (表題)
Beatson, G. T.: On the Treatment of Inoperable

(雑誌名)(巻)
Case of Carcinoma of the Mamma. Lancet, 2,

(頁)(年代)
104, 1896.

三宅 儀: 副腎皮質ホルモンの測定と臨床. 最新医学, 6, 766, 昭26.

○掲載料は実費として1頁1200円とし, 図表写真版等の費用は著者の実費負担とする. 但し症例報告に於ては3頁までは無料とし, 此れを越すものに対しては実費を徴収する. アート紙の使用, コロタイプ天然色図版の掲載等に関しても著者に於て実費を負担するものとする.

○症例に於て特に早く掲載を希望し掲載号を指定される方の掲載料は全額実費負担とする

○執筆者に於て別刷希望の方は, 寄稿と同時に希望数を附言せられたい別刷は実費を申し受ける.

○原稿は書留郵便で下記に送られたい.

京都市左京区聖護院川原町53

京都大学医学部附属病院外科学教室内

日本外科宝函編輯室宛

電 ⑦ ⁴²²¹/₄₁₁₁ 構内 427の乙

昭和34年6月21日印刷

昭和34年7月1日発行

編輯兼発行者

京都市左京区聖護院川原町

青 柳 安 誠

印刷者

京都市下京区油小路松原上ル

松 崎 秀 雄

印刷所

京都市下京区油小路松原上ル

松崎印刷株式会社

京都大学医学部外科学教室

発行所

日本外科宝函編輯室

代表者 青 柳 安 誠

(振替口座京都3691番)

投稿規定 (昭.33.10.30改正)

○本誌は毎年1月, 3月, 5月, 7月, 9月及び11月の1日に発行する(年間6冊). 状況により臨時増刊を発行する.

○本誌予約購読者の原稿を掲載する.

○予約購読料は年額1,000円(送料を含む)とし, 分売は1冊200円とする.

○原稿の長さはおおよそ下記の限度とし, 和文原著には欧文表題, 欧文抄録, 欧文原著には和文表題及び和文抄録を添附されたい.

原著論文, 総説, 臨床, 400字詰40枚以内(図表共)
症例報告, 研究速報, 400字詰15枚以内(図表共)

○原稿の当編輯室へ到達した日附を受付日とする.

○原稿の用語中, 固有名詞はすべて固有の文字を, 又数字はすべて算用数字を使用し, 日本語化した外国語は片かなでかく事. この際は「」不要.

○数量の単位は下記の例による

例, m, cm, mm, cc, kg, g, mg, °C, μ,
%, pH, 等ピリオド不要

○原稿は横書とし新かなづかいを用いる事.

○欧文及び欧文抄録はタイプライターで記入され度
い.

○挿画, 曲線等は必ず白紙又は青線方眼紙に墨で清書し挿入位置を原稿に記入する事.

○図, 表, 写真等はすべて別紙に記入, 若しくは添附

し本文中には挿入箇所のみ指定する事.

○原稿は完全なものとして御送附願いたい. 校正の際における加筆補正は認めない.

○引用文献は篇末に集め, 次の例による.

(氏名) (表題)
Beatson, G. T.: On the Treatment of Inoperable
(雑誌名)(巻)
Case of Carcinoma of the Mamma. Lancet, 2,

(頁)(年代)
104, 1896.

三宅 儀: 副腎皮質ホルモンの測定と臨床. 最新医学, 6, 766, 昭26.

○掲載料は実費として1頁1200円とし, 図表写真版等の費用は著者の実費負担とする. 但し症例報告に於ては3頁までは無料とし, 此れを越すものに対しては実費を徴収する. アート紙の使用, コロタイプ天然色図版の掲載等に関しても著者に於て実費を負担するものとする.

○症例に於て特に早く掲載を希望し掲載号を指定される方の掲載料は全額実費負担とする

○執筆者に於て別刷希望の方は, 寄稿と同時に希望数を附言せられたい別刷は実費を申し受ける.

○原稿は書留郵便で下記に送られたい.

京都市左京区聖護院川原町53

京都大学医学部附属病院外科学教室

日本外科宝函編輯室宛

電 ⑦ 4221 } 構内 427の乙
4111 }

昭和34年7月21日印刷

昭和34年8月1日発行

編輯兼発行者

京都市左京区聖護院川原町

青 柳 安 誠

印刷者

京都市下京区油小路松原上ル

松 崎 秀 雄

印刷所

京都市下京区油小路松原上ル

松崎印刷株式会社

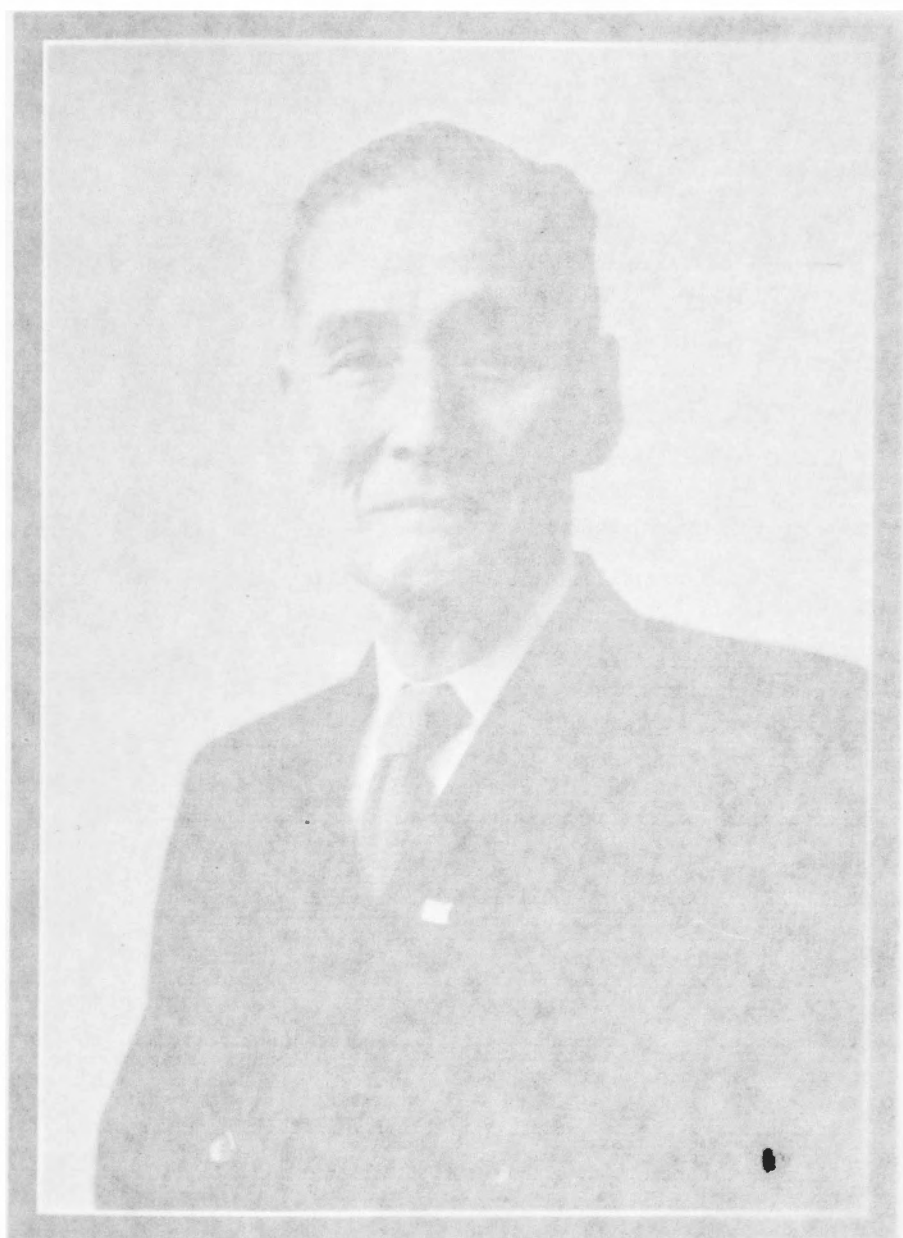
京都大学医学部外科学教室

発行所

日本外科宝函編輯室

代表者 青 柳 安 誠

(振替口座京都3691番)





磯部喜右衛門先生は脳出血を病まれ約一ヶ月の御臥床の後昭和34年7月1日午後7時静かに逝去されました。明治14年11月4日富山県新港市放生津に御生誕なされましたから、行年79歳であります。

7月4日に密葬を済ませ同12日午後1時から京大外科整形外科学講堂で外科整形外科学両教室の教室葬を以て、先生への告別式を行いました。その際最後に映写されました先生の最近の御姿に会葬者一同は今更ながら先生への想いを新たにいたしました次第でした。

先生は大正13年9月に長崎医大から伊藤隼三先生の後任として京大へ赴任されて外科学第二講座を担当され、爾来昭和13年4月御退官なさるまで研究に臨床に教室員を御指導なさつて倦むところ知らなかつたのでありますが、あの天衣無縫と申しあげてもよい穏かな御人柄に対しては母の乳房をしたう赤児のように人々は慕い寄つたものであります。

先生は日本外科宝函の創刊当時から御関係があつて、その成長、発展に就いては人一倍の御苦心を賜つたのであります。この度の戦争の余波を受けて、途中種々の困難にぶつつかつたとは申せ日本外科宝函も今や最初からの使命である international の研究発表誌として発育しえたことにつきましては、われわれは先生へも心から御礼を申しあげなければならないのであります。

先生の御冥福を祈つてやみません。

昭和34年9月1日

猪子・伊藤記念会
門下生一同

広範なる臨床応用

外科…強化麻酔・薬物冬眠・術後鎮痛催眠にピレチア・オピスタン・フェノバルビタールなどと併用されます。

内科…悪心・嘔吐・吃逆・夜尿症などに特有の制止作用を示します。また抗生物質・血清などとの併用により重症感染症(破傷風・脳炎など)の重篤症状を緩和します。頑固な疼痛にはセデスとの併用で約4倍の鎮痛効果を発揮します。

産婦人科…妊娠悪阻・子癇・痙攣・分娩時の激痛の緩和(無痛分娩)更年期障害・新生児障害

精神科…精神分裂症・神経症・躁病・うつ病・ヒステリーなどの薬物療法剤として画期的効果を示しております。



自律神経安定剤

ウインタミン

(クロルプロマジン製剤)

健保適用

大阪市東区道修町

塩野義製薬株式会社



シオノギ

No. 9435

バランス オ マチック
BALANCE-O-MATIC
無 影 灯

CAMERA SKYLUX NECTAR

カメラ

スカイルックス

ネクター



バランス オ マチック
BALANCE-O-MATIC

(重錘無しの新型昇降装置及び操作機構)

を採用した、35^m/m写真撮影装置付、多灯式无影灯!!

- ① バランスオマチックとは无影灯用の垂錘無しの新型昇降装置と、新しい操作システムの事でスカイルックスネクターシリーズは全部此のシステムになって居ります。
- ② 灯部はNo.940スカイルックスネクターと同じですが、カメラ装置の外に、特に設計されたA.Cストロボ2基を使用してありますから理想的な撮影効果が得られます。
- ③ ネクターの特徴は、バランスオマチックである為、低天井の手術室に最適の大型无影灯である事です。
- ④ ネクターシリーズには、No.940灯径100cm, No.941灯径90cm (以上9灯) No.942灯径70cm (7灯)があり、シネカメラ(16^{mm}/m)付No.9416のシネスカイルックスネクターも製作して居ります。
- ⑤ スタイルは御存知の様なダイナミックなスマートさで、无影灯界のトップデザインです。

TOKYO S.K.Y. JAPAN
SHADOWLESS LAMP CO., LTD.

全国医科器械店取扱、カタログ拝見
山田 医療照明株式会社

東京都文京区湯島三軒町24 TEL 83 5673・5685

安全域が拡大された……

新発売

簡易な使用法、容易な導入法、迅速な覚醒などの利点を有する静脈麻酔剤には、時として呼吸障害を起す欠点が見られたが、本剤は呼吸循環刺激剤アトムリンを専用溶解液にしているために、急速に注入しても、呼吸停止などの危険を防止しつつ麻酔効果を最も有効に発揮出来る。

(価格は従来 của ラボナールと同じ)

包装 0.3g 5 管 50 管

0.5g 5 管 50 管

共にラボナール専用溶解液添付

バルビツレートの通弊を予防する・・

ラボナール・A



製造発売元

田辺製薬株式会社

大阪市東区道修町

支店 東京・福岡



見事な相乗効果を發揮した
 増強された効力
 水溶性が大きい
 副作用が少い

神経痛、ロイマチス治療剤

アミピロ

注射 (5cc) 顆粒 錠剤

新化合物アミノプロピロンとアミノピリンの合剤アミピロは 各種疼痛性炎症性疾患の治療に各科に於て益々使用範囲を拡大しており、迅速な効果と安全性とで好評です。

【健 保 適 用】

日本新薬株式会社

京都市西大路八条



健 保 適 用

新 壊死組織融解剤

ナガーゼ

細菌・結晶プロテアーゼ製剤

- 枯草菌が生成する蛋白分解酵素である。
- 凡ゆる変性蛋白質を消化、溶解する。
- 確実な作用と優れた安定性に特長がある。

日本製造特許番号
210379

- (作用) ①患部の化膿膜死組織の繊維素、表在性凝固物(痂皮)や凝血を速かに溶解するなどの化膿創の清浄作用。
 ②膿胸に於ける稠稠な粘液膿汁を液化して腔内を清浄にする。
 その結果……①清浄な肉芽面や ②新鮮な肋膜面を露出して、その治療回復を促進する
- (適応症) 一般外科、皮膚科…切断面、骨髄、空洞重傷、欠傷感染を伴う挫傷、骨折、血腫、疔、瘡等。
 胸腔内領域…結核性膿胸、混合感染膿胸、手術後或は創傷後の血胸。

(包装) 1管中 10,000 P.U.N. 5管入(稀釈液 500 5管 添付)

文 献 贈 呈

販売 長瀬産業株式会社医薬部 製造 帝国化学産業株式会社
 大阪市西区立売堀南通一丁目七番地

投 稿 規 定 (昭.33.10.30改正)

○本誌は毎年1月, 3月, 5月, 7月, 9月及び11月の1日に発行する(年間6冊). 状況により臨時増刊を発行する.

○本誌予約購読者の原稿を掲載する.

○予約購読料は年額1,000円(送料を含む)とし, 分売は1冊200円とする.

○原稿の長さはおおよそ下記の限度とし, 和文原著には欧文表題, 欧文抄録, 欧文原著には和文表題及び和文抄録を添附されたい.

原著論文, 綜説, 臨床, 400字詰40枚以内(図表共)
症例報告, 研究速報, 400字詰15枚以内(図表共)

○原稿の当編輯室へ到達した日附を受付日とする.

○原稿の用語中, 固有名詞はすべて固有の文字を, 又数字はすべて算用数字を使用し, 日本語化した外国語は片かなでかく事. この際は「」不要.

○数量の単位は下記の例による

例, m, cm, mm, cc, kg, g, mg, °C, μ,
%, pH, 等ビリオド不要

○原稿は横書とし新かなづかいを用いる事.

○欧文及び欧文抄録はタイプライターで記入され度い.

○挿画, 曲線等は必ず白紙又は青線方眼紙に墨で清書し挿入位置を原稿に記入する事.

○図, 表, 写真等はすべて別紙に記入, 若しくは添附

し本文中には挿入箇所のみ指定する事.

○原稿は完全なものとして御送附願いたい. 校正の際における加筆補正は認めない.

○引用文献は篇末に集め, 次の例による.

(氏名) (表題)
Beatson, G. T.: On the Treatment of Inoperable
(雑誌名)(巻)
Case of Carcinoma of the Mamma. Lancet, 2,

(頁)(年代)
104, 1896.

三宅 儀: 副腎皮質ホルモンの測定と臨床. 最新医学, 6, 766, 昭26.

○掲載料は実費として1頁1200円とし, 図表写真版等の費用は著者の実費負担とする. 但し症例報告に於ては3頁までは無料とし, 此れを越すものに対しては実費を徴収する. アート紙の使用, コロタイプ天然色図版の掲載等に関しても著者に於て実費を負担するものとする.

○症例に於て特に早く掲載を希望し掲載号を指定される方の掲載料は全額実費負担とする

○執筆者に於て別刷希望の方は, 寄稿と同時に希望数を附言せられたい別刷は実費を申し受ける.

○原稿は書留郵便で下記に送られたい.

京都市左京区聖護院川原町53

京都大学医学部附属病院外科学教室内

日本外科宝函編輯室宛

電 ⑦ $\left. \begin{matrix} 4221 \\ 4111 \end{matrix} \right\}$ 構内 427の乙

昭和34年8月21日印刷

昭和34年9月1日発行

編輯兼発行者

京都市左京区聖護院川原町

青 柳 安 誠

印 刷 者

京都市下京区油小路松原上ル

松 崎 秀 雄

印 刷 所

京都市下京区油小路松原上ル

松 崎 印 刷 株 式 会 社

京都大学医学部外科学教室

発 行 所

日本外科寶函編輯室

代 表 者 青 柳 安 誠

(振替口座京都3691番)

シオノギの 安全性高級サルファ剤

スルフィソキサゾール

サルファジン

● 特 長

1. 抗菌スペクトラムが極めて広く、強い抗菌力を発揮します。
2. とくに 変形菌、大腸菌による疾患には First Choice Sulfa と呼ばれています。
3. 溶解度が他のサルファ剤に比べて極めて高く、尿中排泄が比較的早いので、腎障害のおそれがありません。
4. 通常胃腸障害も少く、アナフィラキシーなど重篤な副作用は皆無です。
5. 二次感染の予防には極めて適切です。

● 適 応 症

内科：感冒、流行性感冒、肺炎、気管支炎、扁桃腺炎、赤痢、疫痢、下痢、胃腸炎、消化不良症など。

皮膚泌尿器：尿路感染症、淋疾、軟性下疳、膿皮症、鼠径淋巴肉芽腫症

眼科：結膜炎、トラコーマ、流行性角膜炎、角膜疾患。

その他：中耳炎、産褥熱、抜歯後感染症、虫垂炎、腹膜炎、骨髓炎、術後感染症

● 剤 型

注射液—20% 1cc 10A, 5cc 5A 50A, 10cc 5A; 10% 2cc 10A 50A
5cc 10A 50A

内服—(0.5g錠) 10錠 20錠; 粉末 25g, 100g, 500g, 1kg

シロツプ—サルファジン(アセチル)を主剤とするシロツプ剤で1cc
中サルファジンとして0.1gを含む 30cc 50cc

点 眼 液—1cc中サルファジン40mgおよびパラオキシ安息香酸ブチルを含む滅菌水溶液 100cc 500cc

大阪市東区道修町

塩野義製薬株式会社



シオノギ

No. 9435

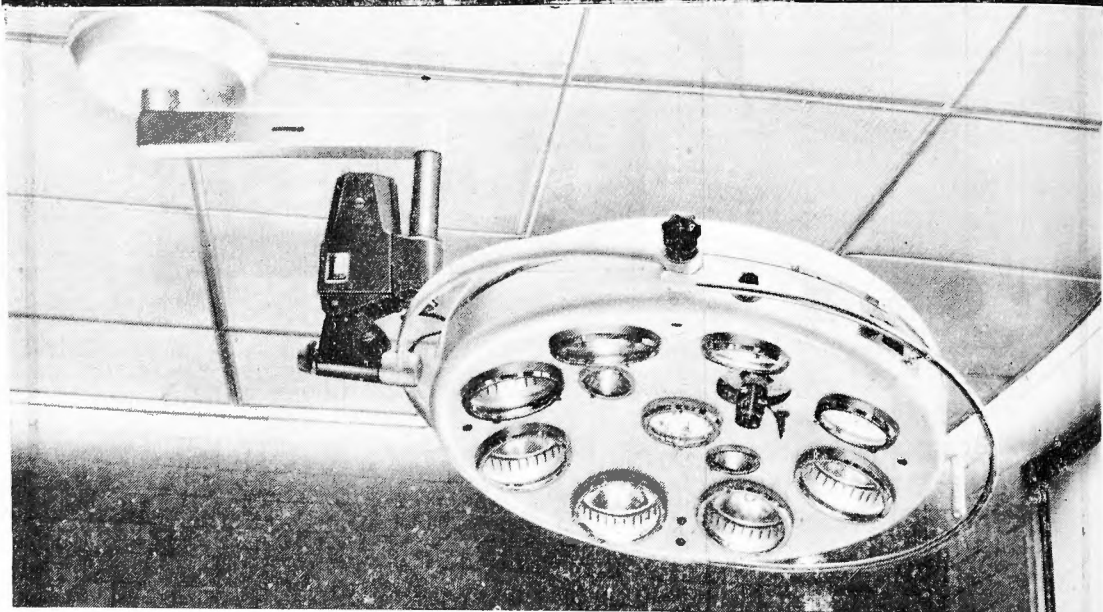
バランス オ マチック
BALANCE-O-MATIC
無影灯

CAMERA SKYLUX NECTAR

カメラ

スカイルックス

ネクター



バランス オ マチック
BALANCE O-MATIC

(重錘無しの新型昇降装置及び操作機構)

を採用した、35^m/_m写真撮影装置付、多灯式無影灯!!

- ① バランスオマチックとは無影灯用の垂錘無しの新型昇降装置と、新しい操作システムの事でスカイルックスネクターシリーズは全部此のシステムになって居ります。
- ② 灯部はNo.940スカイルックスネクターと同じですが、カメラ装置の外に、特に設計されたA.Cストロボ2基を使用しておりますから理想的な撮影効果が得られます。
- ③ ネクターの特徴は、バランスオマチックである為、低天井の手術室に最適の大型無影灯である事です。
- ④ ネクターシリーズには、No.940灯径100cm, No.941灯径90cm (以上9灯) No.942灯径70cm (7灯)があり、シネカメラ(16^{mm}/m)付No.9416のシネスカイルックスネクターも製作して居ります。
- ⑤ スタイルは御存知の様なダイナミックなスマートさで、無影灯界のトップデザインです。

TOKYO SKY JAPAN
SHADOWLESS LAMP CO., LTD.

全国医科器械店取扱、カタログ拝呈

山田医療照明株式会社

東京都文京区湯島三組 24 TEL 83 5673・9635

あらゆる出血の 予防・治療に



従来のアドレノクロム製剤に比し、実に50倍の溶解性をもつ画期的製剤であり、強力な血管強化作用を有し、しかも血圧、脈搏には変化を及ぼさない特徴を有する。

☆全身性止血効果

毛細血管の抵抗性を増し、透過性を減少すると共に血管因子に作用して、各種の病的出血に強力な止血作用を示す。

☆手術時の出血治療

全身性の血管強化並びに止血作用により流血が予想される汎ゆる手術の出血防止に卓効を示す。従つて清澄な手術面が得られると共に手術の進行を容易ならしめる。

☆高度の安全性

本剤は血圧、脈搏及び呼吸には殆んど影響なく更に血液凝固機構にも著しい影響を与えないので安心して大量投与できる。



☆止血・血管強化アドレノクロム製剤☆

アドナ (AC-17)

A D O N A (AC-17)

《健保適用》

注 2cc 5cc 10cc 散 10倍散 100倍散

増強された効力...

水溶性が大きい...

副作用が少い...

見事な相乗効果を発揮した



神経痛、ロイマチス治療剤

アミピロ

注射 (5cc) 顆粒 錠剤

新化合物アミノプロピロンとアミノピリンの合剤アミピロは 各種疼痛性炎症性疾患の治療に各科に於て益々使用範囲を拡大しており、迅速な効果と安全性とで好評です。

【健 保 適 用】

日本新薬株式会社

京都市西大路八条



健 保 適 用

新 壊死組織融解剤

ナガーゼ

細菌・結晶プロテアーゼ製剤

- 枯草菌が生成する蛋白分解酵素である。
- 凡ゆる変性蛋白質を消化、溶解する。
- 確実な作用と優れた安定性に特長がある。

日本製造特許番号
210379

- (作用) ①患部の化膿壊死組織の繊維素、表皮性凝固物(痂皮)や凝血を速かに溶解するなどの化膿創の清浄作用。
②膿胸に於ける稠稠な粘液膿汁を液化して腔内を清浄にする。
その結果.....①清浄な肉芽面や ②新鮮な肋膜面を露出して、その治療回復を促進する
- (適応症) 一般外科、皮膚科...切創面、骨髄炎、空洞重傷火傷感染を伴う挫傷、骨折、血腫、疔、等。
胸腔内領域...結核性膿胸、混合感染膿胸、手術後或は創傷後の血胸。
- (包装) 1管中 10,000 P.U.N. 5管入(稀釈液 5cc 5管 添付)

文 献 贈 呈

販 売 長瀬産業株式会社医薬部 製 造 帝国化学産業株式会社
大阪市西区立売堀南通一丁目七番地

投稿規定 (昭.33.10.30改正)

○本誌は毎年1月, 3月, 5月, 7月, 9月及び11月の1日に発行する(年間6冊)。状況により臨時増刊を発行する。

○本誌予約購読者の原稿を掲載する。

○予約購読料は年額1,000円(送料を含む)とし, 分売は1冊200円とする。

○原稿の長さはおよそ下記の限度とし, 和文原著には欧文表題, 欧文抄録, 欧文原著には和文表題及び和文抄録を添附されたい。

原著論文, 綜説, 臨床, 400字詰40枚以内(図表共)

症例報告, 研究速報, 400字詰15枚以内(図表共)

○原稿の当編輯室へ到達した日附を受付日とする。

○原稿の用語中, 固有名詞はすべて固有の文字を, 又数字はすべて算用数字を使用し, 日本語化した外国語は片かなでかく事。この際は「」不要。

○数量の単位は下記の例による

例, m, cm, mm, cc, kg, g, mg, °C, μ,

%, pH, 等ピリオド不要

○原稿は横書とし新かなづかいを用いる事。

○欧文及び欧文抄録はタイプライターで記入され度い。

○挿画, 曲線等は必ず白紙又は青線方眼紙に墨で清書し挿入位置を原稿に記入する事。

○図, 表, 写真等はすべて別紙に記入, 若しくは添附

し本文中には挿入箇所のみ指定する事。

○原稿は完全なものとして御送附願いたい。校正の際における加筆補正は認めない。

○引用文献は篇末に集め, 次の例による。

(氏名) (表題)

Beatson, G. T.: On the Treatment of Inoperable

(雑誌名)(巻)

Case of Carcinoma of the Mamma. Lancet, 2,

(頁)(年代)

104, 1896.

三宅 儀: 副腎皮質ホルモンの測定と臨床。最新医学, 6, 766, 昭26.

○掲載料は実費として1頁1200円とし, 図表写真版等の費用は著者の実費負担とする。但し症例報告に於ては3頁までは無料とし, 此れを越すものに対しては実費を徴収する。アート紙の使用, コロタイプ天然色図版の掲載等に関しても著者に於て実費を負担するものとする。

○症例に於て特に早く掲載を希望し掲載号を指定される方の掲載料は全額実費負担とする

○執筆者に於て別刷希望の方は, 寄稿と同時に希望数を附言せられたい別刷は実費を申し受ける。

○原稿は書留郵便で下記に送られたい。

京都市左京区聖護院川原町53

京都大学医学部附属病院外科学教室内

日本外科宝函編輯室宛

電 ⑦ $\left. \begin{array}{l} 4221 \\ 4111 \end{array} \right\}$ 構内 427の乙

昭和34年10月21日印刷

昭和34年11月1日発行

編輯兼発行者

京都市左京区聖護院川原町

青 柳 安 誠

印刷者

京都市下京区油小路松原上ル

松 崎 秀 雄

印刷所

京都市下京区油小路松原上ル

松崎印刷株式会社

京都大学医学部外科学教室

発行所

日本外科寶函編輯室

代表者 青 柳 安 誠

(振替口座京都3691番)